

この履修要項は、みなさんが学業を進めていくうえで必要不可欠な履修などに関する基本的な事項を収録したものであり、卒業時まで使用します。
なくさないように十分に注意してください。

2005

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

[南山大学授業科目履修規程](#)4

[南山大学試験規程](#)12

【名古屋キャンパス】

共通教育科目

[共通教育科目履修要項](#)19

人文学部

[人文学部履修要項](#)35

[キリスト教学科履修要項・カリキュラム表](#)37

[人類文化学科履修要項・カリキュラム表](#)45

[心理人間学科履修要項・カリキュラム表](#)53

[日本文化学科履修要項・カリキュラム表](#)60

外国語学部

[外国語学部履修要項](#)69

[英米学科履修要項・カリキュラム表](#)71

[スペイン・ラテンアメリカ学科履修要項・カリキュラム表](#) ...80

[フランス学科履修要項・カリキュラム表](#)88

[ドイツ学科履修要項・カリキュラム表](#)96

[アジア学科履修要項・カリキュラム表](#)104

経済学部

[経済学部履修要項・経済学部経済学科カリキュラム表](#) ...115

経営学部

[経営学部経営学科履修要項・カリキュラム表](#)129

法学部

[法学部履修要項・法学部法律学科カリキュラム表](#)145

【瀬戸キャンパス】

共通教育科目

共通教育科目履修要項	155
----------------------------------	-----

総合政策学部

総合政策学部総合政策学科履修要項～外国語科目「日本語・・・」を履修しない学生に適用～及びカリキュラム表	165
---	-----

総合政策学部総合政策学科履修要項～外国語科目「日本語・・・」を履修する学生に適用～及びカリキュラム表	177
--	-----

数理情報学部

数理情報学部履修要項	195
----------------------------------	-----

情報通信学科履修要項・カリキュラム表	196
--	-----

数理科学学科履修要項・カリキュラム表	204
--	-----

履修に関する取扱要領他

卒業論文等提出についての注意事項	215
--	-----

南山大学早期卒業規程	222
----------------------------------	-----

総合政策学部早期卒業に関する内規	223
--	-----

派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領 ...	224
--	-----

外国人留学生の授業科目履修に関する特例	225
---	-----

数理情報学部に在籍する外国人留学生の授業科目に関する細則 ...	227
--	-----

外国語検定試験による単位認定制度について	229
--	-----

愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について ...	231
---	-----

豊田工業大学との連携聴講生制度について	232
---	-----

名古屋 / 瀬戸キャンパス間登録履修について	234
--	-----

南山大学授業科目履修規程

第1章 総則

(この規程の趣旨)

第1条 南山大学学則第14条により、この規程を制定する。授業科目履修に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2章 授業科目

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、共通教育科目、学部共通科目および学科科目とし、ほかに外国人留学生のための日本語科目を開設する。

(共通教育科目)

第3条 共通教育科目は、宗教科目、体育科目、「人間の尊厳」科目、テーマ科目、分野科目、情報科目(アカデミックリテラシー科目)、インターンシップ科目および外国語科目とする。

前項の各科目は各学部・学科の定めるところにより、必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

(学部共通科目・学科科目)

第4条 学部共通科目・学科科目は、各学部・学科の定めるところにより、必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

第3章 履修単位および履修方法

(卒業の要件)

第5条 本大学を卒業するためには、本大学に4年以上在学し、次の各号に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

- 1 宗教科目 4単位
- 2 体育科目 2単位

- 3 「人間の尊厳」科目 4単位
- 4 テーマ科目 10単位
- 5 分野科目、情報科目、インターンシップ科目および外国語科目の単位については、各学部・学科の定めるところによる。
- 6 学科科目および学部共通科目の単位については、各学部・学科の定めるところによる。

前項の定めにかかわらず、在学期間については、早期卒業規程により短縮することができる。

外国人留学生の共通教育科目の履修に関しては、別に定める。

（単位数計算の基礎）

第6条 各授業科目の単位数計算の基礎は、次のとおりである。

- 1 講義による科目および演習は、毎週1時間15週をもって1単位とする。
- 2 外国語科目、体育科目は、毎週2時間15週をもって1単位とする。
- 3 実習、実験、音楽実技および美術実技は、毎週3時間15週をもって1単位とする。ただし、1時間の授業に対して教室外における2時間の準備のための学修を必要とする場合は、毎週1時間15週をもって1単位とする。

（自由科目の修得単位）

第7条 第3条第2項および第4条に定める自由科目の修得単位は、第5条第1項の卒業に必要な単位数のうちに算入しない。

（授業科目の履修年次）

第8条 共通教育科目の履修年次は、共通教育科目履修要項に従い、また学部共通科目および学科科目については、各学部・学科の定める年次にそれぞれ履修しなければならない。

（不合格授業科目の履修年次）

第9条 削除

（教職、博物館、司書および学校図書館司書教諭に関する科目）

第10条 教育職員免許状取得資格、博物館学芸員の資格、司書の資格および学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、当該授業科目履修要項に従って授業科目を履修しなければならない。

第4章 履修登録

(履修登録の手続)

第11条 単位を修得するためには、各学部・学科の定めるところに従い、次の各号の登録手続を行わなければならない。

- 1 「履修登録カード」の必要事項をマークして提出すること。
- 2 前号に定める履修登録カードに基づいて作成された「授業科目登録表」を受け取ること。
- 3 前号に定める授業科目登録表を確認した上で「登録確認書」を提出すること。

派遣留学生の履修登録は、「派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領」によるものとする。

(履修登録の無効)

第12条 同一時間に授業が行われる複数の授業科目を重複して登録してはならない。重複登録を行った場合には、いずれの授業科目の登録も無効とする。

(履修登録単位数の上限)

第13条 1年間に登録できる単位数の上限は、各学部・学科の定めるところによる。

(履修登録の期間)

第14条 履修登録は、本大学の定める期間中に行わなければならない。ただし、病気、休学などやむを得ない理由により所定期間中に履修登録が不可能な場合は、直ちにその旨を名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は教務係に届け出て指示を受けなければならない。学務部教務課または教務係に届け出ることなく履修登録を行わなかった場合は、特別の理由のない限り、その年度の履修登録を認めない。

(履修登録変更)

第15条 履修登録後は、所定の期間に限り、履修登録の変更を認める。それ以外の期間については、特別の理由のない限り、履修登録の変更は認めない。

第5章 出欠席

(欠席時数の限度)

第16条 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えるとときの、当該授業科目の成績評価について共通教育科目は共通教育委員会、学部共通科目および学科科目は各学部・学科の定めるところによる。

15分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。また、15分以内の遅刻または早退は、3回をもって1回の欠席とみなす。

第6章 履修成績および単位の授与

(単位の授与)

第17条 授業科目を履修した者に対しては、原則として、試験の上、成績を判定し、単位を与える。

(履修成績の判定)

第18条 履修成績は、南山大学試験規程により実施される定期試験または追試験・再試験の成績と平常の成績を考慮して定める。

(履修成績評価の基準)

第19条 履修成績の評価は次のように表す。合格の成績には、それぞれの授業科目に関し、所定の単位を与えるが、不合格の成績には単位を与えない。

優	}	A ⁺ (100点～90点)	}	合格
		A (89点～80点)		
良		B (79点～70点)		
可		C (69点～60点)		
不可		F (59点～0点)		不合格

ただし、かっこ内の点数は評価を100点満点の場合の得点として示したものである。

前項の定めにかかわらず履修成績の評価は、次のように表すことができる。

P (Pass)	合格
F (Failure)	不合格

本条第1項および第2項の履修成績F（不合格）以外に、次の各号のいずれかに該当する場合は、不合格とする。

- 1 試験欠席（「南山大学試験規程」により実施される定期試験、追試験、再試験またはそれらに準ずる試験に欠席した場合、X）
- 2 欠席過多（授業の欠席過多により当該授業科目の成績評価が不合格と判定された場合、S）

（欠席による不合格）

第20条 削除

（履修成績評価の疑問調査）

第21条 第19条における成績評価または不合格に対して疑問がある場合は、疑問調査を願い出ることができる。

疑問調査は、成績発表後1週間以内に名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は教務係に願い出るものとする。

（試験における不正行為）

第22条 試験において不正行為があった場合は、その学生の当該年度の履修科目の一部または全部の単位を与えない。

第7章 既修得単位等の認定

（他の大学または短期大学における修得単位）

第23条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

学生が外国の大学に留学する場合には、前項の規定を準用する。

学生が外国の大学において授業科目を履修し、制度上当該大学より単位を授与されない場合は、教授会の定めるところにより、本大学の単位を修得したものと認定することができる。

（大学以外の教育施設等における学修）

第23条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他

文部科学大臣が定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、教授会の定めるところにより単位を与えることができる。

前項により与えることができる単位数は、前条により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

本条に関する取扱いは、別に定める。

(編入学者および転入学者の既修得単位)

第24条 本大学を卒業し、改めて本大学に編入学した場合は、既修得単位の一部を入学後に修得したものと認定することができる。

学生が他の大学（外国の大学も含む。）を卒業または中途退学し、本大学に編入学または転入学した場合には、既修得単位の全部または一部を入学後に修得したものと認定することができる。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところによって試験を課すことがある。

本条に関する細則は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第25条 本大学は、教育上有益と認めるときは、次の各号に定める単位を、教授会の定めるところにより、入学後に修得したものと認定することができる。

- 1 本大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。
- 2 他の大学または短期大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところにより試験を課すことがある。
- 3 学生が入学する前に行った第23条の2第1項に規定する学修。

前項の各号により与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第23条および第23条の2第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

本条に関する細則は、別に定める。

(再入学者および転部・転科者の既修得単位)

第26条 再入学を許可された者の既修得単位は、入学後も引き続き有効とする。

転部・転科を許可された者の既修得単位は、転部・転科後も引き続き有効とする。

前項に関する細則は、別に定める。

第8章 退学

(修得単位不足等による退学)

第27条 在学7か年(休学期間は算入しない。)におよび、なお卒業に必要な単位を修得しない者その他成業の見込みのないものには、退学を命ずる。

入学後1年を経過してもなお修得単位数が16単位未満、2年を経過しても32単位未満、3年を経過しても48単位未満等の場合には、退学を命ずることがある。ただし、病気その他重大な事由による場合は、この限りでない。

正当の理由がなくて引き続き長期欠席した者には、退学を命ずることがある。

附 則

(施行期日)この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和49年4月1日から施行する

附 則

この規程の改正は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。
ただし、平成11年度までの入学生については従来どおりする。

附 則

この規程の改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2005年4月1日から施行する。

南山大学試験規程

第1章 総則

第1条 南山大学学則第17条にいう試験に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2条 試験は、南山大学学則第17条の定めるところにより、履修した授業科目に対してのみ行うものとする。

第3条 試験には定期試験、追試験および再試験がある。ただし、レポート等をもって試験に代える場合がある。その場合は、この規程に定める各条の適用を受けるものとする。

実技・実習科目および卒業論文科目については、実技・実習または卒業論文の提出をもって定期試験に代えることができる。

第4条 試験を受ける者は、次の条件を満たす者でなければならない。

- 1 削除
- 2 授業料その他を完納していること。

第5条 試験における不正行為に対する処置は、南山大学学生懲戒規程の定めるところによる。

第2章 定期試験

第6条 定期試験とは、学年暦に示される期間に行うものをいう。

第7条 定期試験は、春学期（前期）末および秋学期（後期）末に行う。

春学期（前期）開講科目、秋学期（後期）開講科目および通年開講科目以外の、集中講義等科目については、当該授業終了後に行うことができる。

通年開講科目のうち、共通教育科目は共通教育委員会の定めるところにより、また学部共通科目、学科科目、教職、博物館学芸員、司書および学校図書館司書教諭に関する科目は、学部教授会の定めるところにより、春学期（前期）試験を省くことができる。

第3章 追試験

第1節 通則

第8条 病気その他やむを得ない理由で定期試験に出席できない者に対して追試験を行う。

第9条 追試験の成績は、1割減点とする。

第10条 追試験を受験する者は、追試験受験手数料を納入しなければならない。その額については、別に定める。

第11条 教育実習、介護等体験およびインターンシップ研修のため定期試験に出席できない者に対する追試験には、第9条および第10条を適用しない。

第2節 追試験の実施

第12条 追試験は、第7条に定める試験の終了後一定の期日に行う。ただし、正当な理由があるときは、当該試験の終了後2か月以内に臨時に行うことがある。

第13条 追試験を受けるには、次に定める手続をとらなければならない。

- 1 名古屋キャンパスの学生は学務部教務課へ、瀬戸キャンパスの学生は教務係へ事前に追試験受験願を提出するものとする。この場合、医師の診断書その他欠席の理由を明らかにする証明書を添付しなければならない。
- 2 急病その他突発事故の生じた場合は、直ちに所属キャンパスの学務部教務課または教務係へ連絡し、前号に定める手続をとるものとする。なお、手続の最終期限は、定期試験については、試験期間の最終日の翌日から数えて3日目、第7条第2項の試験については、当該試験日の翌日から数えて3日目（いずれも日曜、祝日および事務休業日を除く。）とする。

第14条 追試験の受験許可は、教務委員会が行う。

第15条 第3条に定めるレポートを病気その他やむを得ない理由で所定の期限内に提出できない者は、第13条に定める手続をとるものとする。

第4章 再試験

第1節 通則

第16条 再試験は、卒業年次学生に対してのみ行うものとする。ただし、当該授業科目について南山大学授業科目履修規程第19条に定める試験欠席および欠席過多に該当する者に対しては行わない。

第17条 再試験受験者は、再試験受験手数料を納入しなければならない。その金額については、別に定める。

第18条 再試験の受験は、卒業に必要な所定単位に2科目以内の単位が不足する者または資格取得に2科目以内の単位が不足する者について、第2節に定める再試験科目のうち、その不足する科目・単位数を限度に認められる。

再試験科目は、2科目以内とし、南山大学授業科目履修規程第19条に定める「履修成績不可・F」に該当する科目に限る。

第2節 再試験科目

第19条 再試験は、卒業年次に履修した科目で、次のいずれかに該当するもののうち、学部教授会が認めたものについて行うことができる。ただし、共通教育科目のうち体育科目および外国語科目を除く。

- 1 卒業に必要な共通教育科目、学部共通科目および学科科目
- 2 教育職員免許状取得に必要な教職に関する科目および教科に関する科目
- 3 博物館学芸員の基礎資格として必要な科目
- 4 司書の基礎資格として必要な科目
- 5 学校図書館司書教諭の基礎資格として必要な科目

第3節 再試験の実施

第20条 再試験を行う時期は、学部教授会がこれを定める。

第21条 再試験の成績評価は、可（C - 合格）または不可（F - 不合格）とする。

第22条 再試験合格により卒業する者の卒業の時期は、3月31日あるいは9月15日(1999年度以前の入学生は9月30日)とする。

附 則

- 1 この規程は、昭和50年4月1日から施行する。
- 2 再試験に関する内規（昭和41年10月18日施行）
追試験に関する内規（昭和42年9月29日施行）
追試験に関する覚書（昭和42年9月29日施行）
は廃止する。

附 則

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2005年4月1日から施行する。

共通教育科目履修要項

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えるときの履修成績評価は、欠席過多（S）による不合格とする。

A 宗教科目履修要項

1. 卒業のためには、宗教科目を4単位履修しなければならない。
2. 宗教科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）
必修
宗 教 論（2） 1年次
キリスト教概論（2） 2年次（ただし、キリスト
教学科については1年次必修）

B 「人間の尊厳」科目履修要項

1. 卒業のためには、2科目4単位履修しなければならない。
2. 「人間の尊厳」科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）
選択必修
宗教に見る人間の尊厳（2） 哲学・倫理学における人間の尊厳（2）
思想史に学ぶ人間の尊厳（2） 政治・経済と人間の尊厳（2）
法と人間の尊厳（2） 性と生命における人間の尊厳（2）
教育・文化における人間の尊厳（2） 民族問題と人間の尊厳（2）
3. 履修年次は2・3・4年次とする。
4. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
5. 同一年度に登録できるのは、原則として2科目までとする。

C 外国語科目履修要項

1. 外国語科目の卒業のための要件は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 外国語科目は次のとおりである。
（1）外国語科目の履修年次及び履修方法

英語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期) (2年次春学期)
(2年次秋学期) とする。
- (2) 履修方法
- 、、、はこの順番で履修しなければならない。
 - 再履修者に限り、と、を同時に履修できる。

フランス語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期) を原則とする。
、以外は履修年次を指定しないが、、は初級、
は中級である。
- (2) 履修方法
- 1年次生は、、文法・講読と、会話・作文を同時に履修しなければならない。
 - 、と、を同時に履修できる。
 - 、は順番に履修しなくてもよい。

ドイツ語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期) を原則とする。
- (2) 履修方法
- 1年次生は、、文法・講読と、会話・作文を同時に履修しなければならない。
 - 、と、を同時に履修できる。
 - 、は順番に履修しなくてもよい。
 - 、以外はペアで履修しなくてもよい。

スペイン語・ポルトガル語

- (1) 履修年次
(1年次春学期) (1年次秋学期) (2年次春学期)
(2年次秋学期) とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、、 文法・講読と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. 、 と 、 を同時に履修できる。
- c. 、 は順番に履修しなければならない。
- d. と 、 と はペアで履修しなければならない。

中国語**(1) 履修年次**

(1年次春学期) (1年次秋学期)とする。、 は2年次以降の履修とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、、 語法と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. 、 と 、 を同時に履修できる。
- c. 、 は順番に履修しなくてもよい。

韓国朝鮮語**(1) 履修年次**

(1年次春学期) (1年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

1年次生は、、 文法・講読と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。

インドネシア語**(1) 履修年次**

(1年次春学期) (1年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

1年次生は、、 文法・講読と 、 会話・作文を同時に履修しなければならない。

ラテン語**(1) 履修年次**

(1年次春学期) (1年次秋学期) (2年次春学期)

(2年次秋学期)とする。

ただし、再履修者等には、秋学期に、春学期に を履修できる科目を2002年度より新規開設する。

(2)履修方法

- a. 1年次は と、 と の同時履修はできない。
- b. 、 と、 はそれぞれ順番に履修しなければならない。
- c. と、 と はそれぞれペアで履修しなければならない。

ギリシャ語

(1)履修年次

各年次履修できる。

(2)履修方法

- a. と とは順番に履修しなければならない。

日本語

日本語の履修は、別に定める「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」によるので、参照のこと。

(2) 外国語科目

必修外国語

(かっこ内の数字は単位数)

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
キリスト教学科(4)	ラテン語 文法(1) ラテン語 講読(1)	ラテン語 文法(1) ラテン語 講読(1)		
人間文化学科(4) 心理人間学科 日本文化学科	英語 初級 文法(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(1) 英語 リーディング(1)		
英米学科(8)	英語 初級 文法(A)(3) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(A)(3) 英語 リーディング(1)		
スペイン・ ラテンアメリカ 学科(14)	基礎スペイン語 文法(2) 基礎スペイン語 講読(1) 基礎スペイン語 作文(1) 英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	基礎スペイン語 文法(2) 基礎スペイン語 講読(1) 基礎スペイン語 作文(1) 英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1)	英語 初級 文法(B)(1)
フランス学科 (14)	基礎フランス語 A(1) 基礎フランス語 B(1) 基礎フランス語 C(1) 基礎フランス語 D(1) 英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	基礎フランス語 A(1) 基礎フランス語 B(1) 基礎フランス語 C(1) 基礎フランス語 D(1) 英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1)	英語 初級 文法(B)(1)
ドイツ学科 (14)	基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(2) 基礎ドイツ語 講読(1) 基礎ドイツ語 講読(1) 英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(1) 基礎ドイツ語 文法(2) 基礎ドイツ語 講読(1) 基礎ドイツ語 講読(1) 英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1)	英語 初級 文法(B)(1)
アジア学科 (18)	中国語 語法(1) 中国語 会話・作文(1) インドネシア語 文法・講読(1) インドネシア語 会話・作文(1) 英語 初級 文法(B)(1)	中国語 語法(1) 中国語 会話・作文(1) インドネシア語 文法・講読(1) インドネシア語 会話・作文(1) 英語 初級 文法(B)(1)		
経済学科(8)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)
経営学科(8)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 ライティング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 ライティング(1)
法律学科(4)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)	英語 初級 文法(B)(1) 英語 リーディング(1)		

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
経済学科(4)	* 1 カ国語を選択して4単位修得。			
	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)		
	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)		
	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)		
	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)		
	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)		
	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)		
	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)		
	ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)		
	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)		
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)		
	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)		
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)		
	インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)		
	インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)		
	ラテン語 文法(1)	ラテン語 文法(1)		
	ラテン語 講読(1)	ラテン語 講読(1)		
ギリシャ語 文法(1)	ギリシャ語 文法(1)			
ギリシャ語 講読(1)	ギリシャ語 講読(1)			
経営学科(4)	* 1 カ国語4単位を修得。			
	英語 音声表現(1)	英語 音声表現(1)	英語 総合(1)	英語 リーディング(1)
	英語 総合(1)	英語 総合(1)		英語 総合(1)
			3年次生	
			英語 リーディング(1)	
	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)		
	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)		
	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)		
	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)		
	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)		
	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)		
	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)		
	ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)		
	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)		
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)		
	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)		
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)		
インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)			
インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)			
ラテン語 文法(1)	ラテン語 文法(1)			
ラテン語 講読(1)	ラテン語 講読(1)			
ギリシャ語 文法(1)	ギリシャ語 文法(1)			
ギリシャ語 講読(1)	ギリシャ語 講読(1)			
法律学科(4)	* 1 カ国語4単位を修得。			
	英語 ライティング(1)	英語 ライティング(1)	英語 外国語Ⅱ(B)(1)	英語 外国語Ⅱ(B)(1)
	英語 音声表現(1)	英語 音声表現(1)	英語 リーディング(1)	英語 リーディング(1)
	英語 総合(1)	英語 総合(1)	英語 総合(1)	英語 総合(1)
	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)
	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)
	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)
	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)
	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)
	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)		
	ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)		
	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)	中国語 語法(1)
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)
	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)		
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)		

(3) 各学部・学科の外国語科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)

英語

英語	ホリスティックA	(3)	英語	ホリスティックA	(3)
英語	ホリスティックB	(1)	英語	ホリスティックB	(1)
英語	ホリスティックB	(1)	英語	ホリスティックB	(1)
英語	リーディング	(1)	英語	リーディング	(1)
英語	リーディング	(1)	英語	リーディング	(1)
英語	ライティング	(1)	英語	ライティング	(1)
英語	音声表現	(1)	英語	音声表現	(1)
英語	総合	(1)	英語	総合	(1)
英語	総合	(1)	英語	総合	(1)

フランス語

フランス語	文法・講読	(1)	フランス語	文法・講読	(1)
フランス語	文法・講読	(1)	フランス語	文法・講読	(1)
フランス語	会話・作文	(1)	フランス語	会話・作文	(1)
フランス語	会話・作文	(1)	フランス語	会話・作文	(1)
基礎フランス語	A	(1)	基礎フランス語	A	(1)
基礎フランス語	B	(1)	基礎フランス語	B	(1)
基礎フランス語	C	(1)	基礎フランス語	C	(1)
基礎フランス語	D	(1)	基礎フランス語	D	(1)

ドイツ語

ドイツ語	文法・講読	(1)	ドイツ語	文法・講読	(1)
ドイツ語	文法・講読	(1)	ドイツ語	文法・講読	(1)
ドイツ語	会話・作文	(1)	ドイツ語	会話・作文	(1)
ドイツ語	会話・作文	(1)	ドイツ語	会話・作文	(1)
基礎ドイツ語	文法	(1)	基礎ドイツ語	文法	(1)
基礎ドイツ語	コミュニケーション	(2)	基礎ドイツ語	コミュニケーション	(2)
基礎ドイツ語	講読	(1)	基礎ドイツ語	講読	(1)

スペイン語

スペイン語	文法・講読	(1)	スペイン語	文法・講読	(1)
スペイン語	文法・講読	(1)	スペイン語	文法・講読	(1)

スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
基礎スペイン語 文法(2)	基礎スペイン語 文法(2)
基礎スペイン語 講読(1)	基礎スペイン語 講読(1)
基礎スペイン語 作文(1)	基礎スペイン語 作文(1)

ポルトガル語

ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)
ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)

中国語

中国語 語法 (1)	中国語 語法 (1)
中国語 語法 (1)	中国語 語法 (1)
中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)
中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)

韓国朝鮮語

韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)
韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)

インドネシア語

インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)
インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)

ラテン語

ラテン語 文法 (1)	ラテン語 文法 (1)
ラテン語 文法 (1)	ラテン語 文法 (1)
ラテン語 講読 (1)	ラテン語 講読 (1)
ラテン語 講読 (1)	ラテン語 講読 (1)

ギリシャ語

ギリシャ語 文法 (1)	ギリシャ語 文法 (1)
ギリシャ語 講読 (1)	ギリシャ語 講読 (1)

日本語

日本語	(3)	日本語	(2)
日本語	(3)		
総合日本語 A	(2)	総合日本語 B	(2)

3. 選択必修科目として必要な単位数を超過して修得した単位数及び選択必修科目以外の外国語科目の単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

D 体育科目履修要項

1. 卒業のためには、体育科目を2単位履修しなければならない。
2. 体育科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
必修

基礎体育 A (1) 1年次(春学期)

基礎体育 B (1) 1年次(秋学期)

選択

スポーツ実技(個人スポーツ)(1) スポーツ実技(集団スポーツ)(1)

スポーツ実技(アウトドアスポーツ)(1) スポーツ実技(健康スポーツ)(1)

スポーツ実技(生涯スポーツ)(1) スポーツ実技(フィットネス)(1)

3. 基礎体育 A (春学期)、基礎体育 B (秋学期)ともに、各学期の第1週に履修方法についてのガイダンスを実施し、コースの選択をおこなう。
4. スポーツ実技の履修年次は、2・3・4年次とする。
5. スポーツ実技は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
6. 体育科目については、欠席時数が授業予定総時数の20%を超える場合、「欠席過多(S)」による不合格とする。

E テーマ科目履修要項

1. 卒業のためには、テーマ科目を10単位履修しなければならない。

2. テーマ科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)
選択必修

「異文化との出会い」(2)

文化の比較	異文化との接触
異文化の理解	日本との出会い
アジアとの出会い	イスラムとの出会い
ヨーロッパとの出会い	南北アメリカとの出会い

「生命と環境」(2)

生命と倫理問題	環境と倫理問題
人間と環境	生活環境と物質
自然環境と生物	生命観と環境観の変遷
社会システムと環境	生命と法律問題

「知識・言語と情報社会」(2)

こころとは	ことばとは
知識の探求	プライバシーと倫理
人間と機械	文化と情報
情報社会の構造	情報を読む

「モダンの系譜」(2)

思想・文化をめぐって	芸術をめぐって
歴史の諸相	文学をめぐって
社会の諸相	科学の諸相
人権をめぐって	政治・経済の諸相

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

(2) 「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4つの中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

3. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

F 分野科目履修要項

1. 分野科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 分野科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

選択

哲学A	(2)	哲学B	(2)
文学A	(2)	文学B	(2)
考古学A	(2)	考古学B	(2)
日本史A	(2)	日本史B	(2)
東洋史A	(2)	東洋史B	(2)
西洋史A	(2)	西洋史B	(2)
美術A	(2)	美術B	(2)
音楽A	(2)	音楽B	(2)
倫理学	(2)	人文地理学	(2)
自然地理学	(2)	地誌概論	(2)
世界史	(2)		
法学A	(2)	法学B	(2)
日本国憲法	(2)		
政治学A	(2)	政治学B	(2)
文化人類学A	(2)	文化人類学B	(2)
社会学A	(2)	社会学B	(2)
経済学A	(2)	経済学B	(2)
数学A	(2)	数学B	(2)
物理学A	(2)	物理学B	(2)
生命自然史	(2)	生命科学	(2)
基礎生物学セミナーA	(4)	基礎生物学セミナーB	(4)
化学	(2)		
心理学A	(2)	心理学B	(2)
科学技術論A	(2)	科学技術論B	(2)
地球科学A	(2)	地球科学B	(2)
スポーツ科学論	(2)	健康科学論	(2)
スポーツ科学演習A	(2)	スポーツ科学演習B	(2)

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

G 情報科目履修要項

1. 情報科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。

2. 情報科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
選択
 情報リテラシー (2) 情報機器の操作 (2)
 (1) 情報リテラシーの履修年次は、1・2年次とする。
 (2) 情報機器の操作の履修年次は、1～4年次とする。
3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. 情報科目は、人文学部・外国語学部・法学部の学生に限って登録ができる。
5. 情報科目は、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

H インターンシップ科目履修要項

1. インターンシップ科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. インターンシップ科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
選択
 インターンシップ研修 (2)
 (1) 履修年次は、3年次とする。
3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. インターンシップ研修は、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

人文学部履修要項

1. 人文学部生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目8単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項の 」を参照のこと）。
3. 学科科目は必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「各学科履修要項の ならびに 」を参照のこと）。
4. それぞれの科目の履修年次については別に定める（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと）。
5. 人文学部生は、下記の科目を卒業に必要な単位として算入することができる。
 - (1) 共通教育科目、学部共通科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位を越えて履修した選択必修科目ならびに選択科目。
 - (2) 他学科の学科科目（他学科生履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部、他学科生履修不可の科目を除く）。ただし、その際の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 人文学部生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には算入されない。
7. 人文学部生が学期ごとに登録を許される総単位数は自由科目を除き、24単位とする。ただし、学期をまたがる通年科目の単位数については、学期ごとにその単位数の2分の1と算定する。なお、自由科目については、学期ごとの登録

単位数の制限を設けない。

- 8 . 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。

キリスト教学科履修要項 ()内は単位数

キリスト教学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

・ 共通教育科目 (32)

キリスト教学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第 1 年次

宗 教 論 (2) キリスト教概論 (2)
基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

選択必修科目 (14)

第 1 年次以降

次のテーマ科目の中から、1 テーマを選択して 5 科目 10 単位修得。または 2 テーマを選択して 5 科目 10 単位修得すること。(ただし、1 テーマは 2 科目以上)

「異文化との出会い」 「生命と環境」
「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第 2 年次以降

「人間の尊厳」科目から 2 科目 4 単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

キリスト教学科学生は、ラテン語を含み 2 カ国語以上にわたって、各言語 4 単位以上を修得すること。なお、選択必修外国語科目については、1 ないし 2 カ国語 8 単位 (ただし、1 言語 4 単位以上) を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第 1 年次

ラテン語 文法 (1) ラテン語 文法 (1)
ラテン語 講読 (1) ラテン語 講読 (1)

選択必修外国語科目 (8)

第 1 年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。

人文学部 キリスト教学科

選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「 . 任意選択科目」の項を参照のこと。

. 学部共通科目（8）

キリスト教学科生は、学部共通科目として、以下の科目から4科目8単位以上を修得すること。

選択科目（8）

第2年次秋学期以降

キリスト教学入門（2） キリスト教文化入門（2）

他者と自己（2） コミュニケーションと言語（2）

自己と社会（2） パラダイム論（2）

キャリア発達論と自己理解（2） 日本語の多様性（2）

現代日本社会論（2） 現代日本社会論（2）
（自己発見と自己成長） （問題発見と問題解決）

宗教学概論（2） ジェンダー論（2）

福祉論（2） 青少年問題論（2）

子ども・学校論（2） 情報組織化論（2）

視聴覚メディア論（2） 生涯学習論（2）

. 学科科目（68）

キリスト教学科学生は、必修科目を24単位、選択必修科目を16単位以上、選択科目を28単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目（24）

第1年次（8）

旧約聖書入門（2） 新約聖書入門（2）

キリスト教学基礎演習（2） キリスト教学基礎演習（2）

第2年次(4)

キリスト教学基礎演習 (2) キリスト教学基礎演習 (2)

第3年次(4)

キリスト教学演習 (2) キリスト教学演習 (2)

第4年次(8)

キリスト教学演習 (2) キリスト教学演習 (2)

研究プロジェクト(4)

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目(16)

第2年次以降

以下の科目から、旧約聖書学から2単位、新約聖書学から2単位、組織神学から4単位、倫理神学から2単位、哲学関係から4単位、宗教学関係から2単位をそれぞれ修得すること。なお、所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

【旧約聖書学】(2)

旧約聖書学(モーセ五書A)(2) 旧約聖書学(モーセ五書B)(2)

旧約聖書学(預言書A)(2) 旧約聖書学(預言書B)(2)

【新約聖書学】(2)

新約聖書学(福音書・使徒言行録A)(2)

新約聖書学(福音書・使徒言行録B)(2)

新約聖書学(書簡A)(2) 新約聖書学(書簡B)(2)

【組織神学】(4)

組織神学(キリスト論A)(2) 組織神学(神学的人間論A)(2)

組織神学(終末論)(2) 組織神学(秘跡総論)(2)

組織神学(三位一体論)(2)

【倫理神学】(2)

キリスト教倫理学(基礎論A)(2) キリスト教倫理学(基礎論B)(2)

キリスト教倫理学(各論A)(2) キリスト教倫理学(各論B)(2)

【哲学関係】(4)

中世哲学史(2) 中世哲学史(2)

東方キリスト教思想A(2) 東方キリスト教思想B(2)

西方キリスト教思想A(2) 西方キリスト教思想B(2)

人文学部 キリスト教学科

【宗教学関係】(2)

宗 教 学 (2)	宗 教 社 会 学 (2)
宗 教 史 (2)	宗 教 史 (2)
宗 教 思 想 A (2)	宗 教 思 想 B (2)

選択科目 (28)

第1年次以降

旧約・新約時代史 (2)	新約聖書特殊講義 (2)
古代哲学史 (2)	古代哲学史 (2)
キリスト教芸術A(イコン) (2)	キリスト教芸術B(典礼音楽) (2)
認 識 論 (2)	自 然 神 学 (2)

第2年次以降

近世・現代哲学史 (2)	近世・現代哲学史 (2)
組織神学(キリスト論B) (2)	組織神学(神学の間論B) (2)
組織神学(神学の間論C) (2)	組織神学(秘跡各論) (2)
基礎神学(啓示論) (2)	基礎神学(教会論) (2)
キリスト教史(古代教会史) (2)	キリスト教史(中世教会史) (2)
キリスト教史(近世教会史) (2)	キリスト教史(現代教会史) (2)
日本キリスト教史 (2)	アジアとキリスト教 (2)
初期キリスト教思想史A(教父学A) (2)	
初期キリスト教思想史B(教父学B) (2)	
聖書ギリシャ語(初級) (2)	聖書ギリシャ語(初級) (2)
聖書ヘブライ語(初級) (2)	聖書ヘブライ語(初級) (2)

第3年次以降

聖書ギリシャ語(中級) (2)	聖書ギリシャ語(中級) (2)
聖書ヘブライ語(中級) (2)	聖書ヘブライ語(中級) (2)
カウンセリング指導法A (2)	カウンセリング指導法B (2)
典礼学(総論) (2)	典礼学(総論) (2)
典礼学(各論) (2)	典礼学(各論) (2)
実践神学(説教学総論) (2)	実践神学(説教学実践) (2)
司 牧 神 学 (2)	宣 教 学 (2)
教会法(入門) (2)	教会法(基本法) (2)
教会法(秘跡法) (2)	教会法(制裁・訴訟法) (2)

任意選択科目 (20)

キリスト教学科学生は、任意選択科目として20単位以上

を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (3) キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (4) 他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）
（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない。）

人文学部 キリスト教学科

人文学部キリスト教学科カリキュラム表

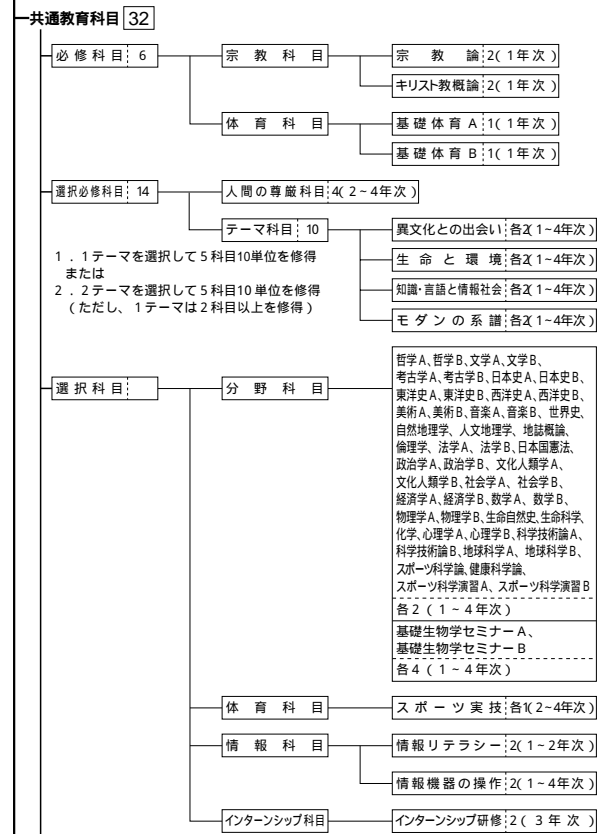
【人文学部 キリスト教学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択				8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修科目を24単位、選択必修科目を16単位以上、選択科目を28単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。					
	必修	24単位修得しなければならない。 旧約聖書入門(2) キリスト教学基礎演習(2) キリスト教学演習(2) キリスト教学演習(2) 新約聖書入門(2) キリスト教学基礎演習(2) キリスト教学演習(2) キリスト教学演習(2) キリスト教学基礎演習(2) キリスト教学演習(2) 研究プロジェクト(4) キリスト教学基礎演習(2)				
	選択必修	16単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
	選 択	28単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (3)キリスト教学科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				

卒業に必要な単位数

人文学部キリスト教学科

総単位数 **128**



人文学部

人文学部 キリスト教学科



人類文化学科履修要項 ()内は単位数

人類文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I . 共通教育科目 (32)

人類文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得。または、2テーマを選択して5科目10単位修得すること。(ただし、1テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

人類文化学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、英語以外は1言語4単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第1年次

英語 オーラルコミュニケーションB (1)

英語 オーラルコミュニケーションB (1)

人文学部 人類文化学科

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)
選択必修外国語科目 (8)

第 1 年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。
英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「 . 任意選択科目」の項を参照のこと。

. 学部共通科目 (8)

人類文化学科学生は、学部共通科目として、選択科目 8 単位以上を修得すること。

選択科目 (8)

第 2 年次秋学期以降

次の科目の中から、4 科目 8 単位以上を修得すること。

キリスト教学入門 (2) キリスト教文化入門 (2)

他 者 と 自 己 (2) コミュニケーションと言語 (2)

自 己 と 社 会 (2) パラダイム論 (2)

キャリア発達論と自己理解 (2) 日本語の多様性 (2)

現代日本社会論 (2) 現代日本社会論 (2)
(自己発見と自己成長) (問題発見と問題解決)

宗 教 学 概 論 (2) ジェンダー論 (2)

福 祉 論 (2) 青少年問題論 (2)

子ども・学校論 (2) 情報組織化論 (2)

視聴覚メディア論 (2) 生涯学習論 (2)

. 学科科目 (68)

人類文化学科学生は、必修科目を 24 単位、選択必修科目を 8 単位以上、選択科目を 36 単位以上、合計 68 単位以上

を修得すること。

必修科目（24）

第1年次

人類文化学基礎演習（2） 人類文化学基礎演習（2）

人類文化学基礎論A（2） 人類文化学基礎論B（2）

第2年次

人類文化学基礎演習（2） 人類文化学基礎演習（2）

第3年次

人類文化学演習（2） 人類文化学演習（2）

第4年次

人類文化学演習（2） 人類文化学演習（2）

研究プロジェクト（4）

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目（8）

第1～2年次

次の科目の中から、4科目8単位以上を修得すること。
なお所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

言語学概論A（2） 言語学概論B（2）

哲学概論A（2） 哲学概論B（2）

文化人類学概論A（2） 文化人類学概論B（2）

考古学概論A（2） 考古学概論B（2）

選択科目（36）

次の科目の中から、36単位以上を修得すること。

第2年次以降

現代の言語学A（2） 現代の言語学B（2）

現代の哲学A（2） 現代の哲学B（2）

現代の文化人類学A（2） 現代の文化人類学B（2）

現代の考古学A（2） 現代の考古学B（2）

統 語 論（2） 言 語 分 析（2）

意 味 論（2） 社 会 言 語 学（2）

日 本 語 音 韻 論（2） 論 理 学（2）

記 号 論（2） 認 識 の 枠 組 み（2）

人文学部 人類文化学科

知識と社会 (2)	
科学文化論 A (2)	科学文化論 B (2)
古代哲学史 (2)	古代哲学史 (2)
中世哲学史 (2)	中世哲学史 (2)
近世哲学史 (2)	近世哲学史 (2)
自然人類学 (2)	宗教人類学 (2)
社会人類学 (2)	
東アジア考古学 A (2)	東アジア考古学 B (2)
文化史 A (2)	文化史 B (2)
文化史 C (2)	
地域の文化と歴史 (2) (環太平洋 A)	地域の文化と歴史 (2) (環太平洋 B)
地域の文化と歴史 (2) (アジア A)	地域の文化と歴史 (2) (アジア B)
地域の文化と歴史 (2) (アジア C)	地域の文化と歴史 (2) (オセアニア)
地域の文化と歴史 (2) (アフリカ)	地域の文化と歴史 (2) (オリエント)
地域の文化と歴史 (2) (アメリカ大陸)	地域の文化と歴史 (2) (日本列島)
フィールドワーク (4) (文化人類学)	フィールドワーク (4) (文化人類学)
考古学実習 (2)	考古学実習 (2)
文献資料講読(日本) (2)	文献資料講読(日本) (2)
文献資料講読(中国) (2)	

第3年次以降

人類文化学特殊講義 (2) (統語分析)	人類文化学特殊講義 (2) (構造と意味)
人類文化学特殊講義 (2) (対照言語学)	人類文化学特殊講義 (2) (心理言語学)
人類文化学特殊講義 (2) (言語哲学)	人類文化学特殊講義 (2) (ドイツ哲学史 A)
人類文化学特殊講義 (2) (ドイツ哲学史 B)	人類文化学特殊講義 (2) (民族誌論)
人類文化学特殊講義 (2) (文化理論)	人類文化学特殊講義 (2) (社会理論)

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 人類文化学特殊講義（２）
（アフリカの社会人類学） | 人類文化学特殊講義（２）
（北米考古学概論） |
| 人類文化学特殊講義（２）
（アジアの社会人類学） | 人類文化学特殊講義（２）
（中国古代史研究） |
| 人類文化学特殊講義（２）
（縄紋文化論） | 人類文化学特殊講義（２）
（中国的世界の形成） |
| 人類文化学特殊講義（２）
（日本文化史） | |

・任意選択科目（20）

人類文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 人類文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）
- （なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない）

人文学部 人類文化学科

人文学部人類文化学科カリキュラム表

【人文学部 人類文化学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	
共通教育科目			32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択		8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
学 科	必 修	必修科目を24単位、選択必修科目を8単位以上、選択科目を36単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。					
		24単位修得しなければならない。					
		人類文化学基礎演習(2)	人類文化学基礎演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)
		人類文化学基礎演習(2)	人類文化学基礎演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)	人類文化学演習(2)	研究プロジェクト(4)
	選択必修	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
	選 択	36単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
	任意選択科目	20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目。 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3)人類文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)					

卒業に必要な単位数

人文学部人類文化学科

総単位数 128

共通教育科目 32

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2-4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い: 各2(1-4年次)

生命と環境: 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1-4年次)

モダンの系譜: 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー: 2(1-2年次)

情報機器の操作: 2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

人文学部 人類文化学科

1 2

外国語科目 12 外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目 4

英語 4

英語、オラルコミュニケーション 各1
英語、リーディング 各1

選択必修外国語科目 8

英語 1-4

英語、ライティング 各1
英語、音声表現 各1
英語、、、総合 各1
英語、オラルコミュニケーション 各1
英語、リーディング 各1

選択必修科目は、1ないし2カ国語で8単位(ただし、英語は1~4単位、英語以外は1言語4単位以上)を修得。

フランス語 4-8

フランス語、、、文法・講読 各1
フランス語、、、会話・作文 各1

ドイツ語 4-8

ドイツ語、、、文法・講読 各1
ドイツ語、、、会話・作文 各1

スペイン語 4-8

スペイン語、、、文法・講読 各1
スペイン語、、、会話・作文 各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語、文法・講読 各1
ポルトガル語、会話・作文 各1

中国語 4-8

中国語、、、語法 各1
中国語、、、会話・作文 各1

韓国朝鮮語 4

韓国朝鮮語、文法・講読 各1
韓国朝鮮語、会話・作文 各1

インドネシア語 4

インドネシア語、文法・講読 各1
インドネシア語、会話・作文 各1

ラテン語 4-8

ラテン語、、、文法 各1
ラテン語、、、講読 各1

ギリシャ語 4

ギリシャ語、文法 各1
ギリシャ語、講読 各1

学部共通科目 8

選択科目 8

学科科目 68

必修科目 24

選択必修科目 8

選択科目 36

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学科科目のうち、選択必修科目の8単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に算入される。

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・人類文化学科科目の内です定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

心理人間学科履修要項 ()内は単位数

心理人間学科学学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I . 共通教育科目 (32)

心理人間学科学学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得。または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること。(ただし、1テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

心理人間学科学学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、英語以外は1言語4単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第1年次

英語 オーラルコミュニケーションB (1)

英語 オーラルコミュニケーションB (1)

人文学部 心理人間学科

英語 リーディング（１） 英語 リーディング（１）
選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。
英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「任意選択科目」の項を参照のこと。

学部共通科目（８）

心理人間学科学学生は、学部共通科目として、選択科目を４科目８単位以上修得すること。

選択科目（８）

第２年次秋学期以降

キリスト教学入門（２）	キリスト教文化入門（２）
他者と自己（２）	コミュニケーションと言語（２）
自己と社会（２）	パラダイム論（２）
キャリア発達論と自己理解（２）	日本語の多様性（２）
現代日本社会論（２） （自己発見と自己成長）	現代日本社会論（２） （問題発見と問題解決）
宗教学概論（２）	ジェンダー論（２）
福祉論（２）	青少年問題論（２）
子ども・学校論（２）	情報組織化論（２）
視聴覚メディア論（２）	生涯学習論（２）

学科科目（68）

心理人間学科学学生は、必修科目を20単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を42単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目(20)

第1年次

心理人間学基礎演習 (2) 心理人間学基礎演習 (2)

第2年次

心理人間学基礎演習 (2) 心理人間学基礎演習 (2)

第3年次

心理人間学演習 (2) 心理人間学演習 (2)

第4年次

心理人間学演習 (2) 心理人間学演習 (2)

研究プロジェクト(4)

なお、「研究プロジェクト」の単位を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目(6)

第1年次以降

次の科目の中から、3科目6単位修得すること。その際、*印の科目から2科目、それ以外の科目から1科目、合計3科目6単位を修得すること。なお、所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

心理学概論(2) 教育心理学概論(2)

*教育学概論(2) *人間関係概論(2)

選択科目(42)

第2年次

人間関係フィールドワーク(4) 人間関係フィールドワーク(4)

心理学実験(2) 心理学実験(2)

第2年次以降

人間関係プロセス論(3) 人間関係プロセス論(3)
(グループプロセス) (コミュニケーションプロセス)

人間関係トレーニング(2) 創造性ワークショップ(2)

臨床教育学(2) 教育社会学(2)

比較教育学(2) 教育社会史(2)

教育思想(2) 教育課程論(2)

教育制度論(2) コミュニケーション論(2)

障害児教育論(2) 人格心理学(2)

人文学部 心理人間学科

人格心理学 (2)	発達心理学 (2)
学習心理学 (2)	認知心理学 (2)
社会心理学 (2)	心理療法論 (2)
心理検査法 (2)	人間関係原論 (2)
カウンセリング的対話 (3)	カウンセリング面接演習 (3)
ボディワーク (3)	ボディワーク (3)
人間性教育論 (3)	ホリスティック教育論 (2)
ホリスティック死生論 (3)	からだとことば (3)
地域開発と人間関係 (3)	自己分析 (2)
心理測定法 (2)	

第3年次以降

教育と文化 (2)	子ども・青年社会学 (2)
現代教育論 (2)	近代教育と子ども (2)
生涯発達心理学 (2)	乳幼児心理学 (2)
臨床心理学 (2)	精神保健学 (2)
ファシリテーター・トレーニング (2)	グループアプローチ (3)
ゲシュタルトアプローチ (2)	体験学習実践論 (3)
心理人間学文献講読 (2)	心理人間学文献講読 (2)
心理調査法 (2)	心理教育統計法 (2)
心理教育統計法 (2)	質的データ研究法 (2)

任意選択科目 (20)

心理人間学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 心理人間学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目 (他学部・他学科履修不可科目を除く)
- (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)

人文学部心理人間学科カリキュラム表

【人文学部 心理人間学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
学 科 目	必修	必修科目を20単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を42単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。				
	必修	20単位修得しなければならない。				
		心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)
	心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学基礎演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)	心理人間学演習 (2)	研究プロジェクト(4)
選択必修	6 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
選 択	42 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
任意選択科目	20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3) 心理人間学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)					

卒業に必要な単位数

人文学部心理人間学科

総単位数 128

共通教育科目 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科
学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2-4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

情報機器の操作 2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

1 2

外国語科目 12

外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目 4

英語 4

英語、オーラルコミュニケーションB	各1
英語、リーディング	各1

選択必修外国語科目 8

英語 1-4

英語、ライティング	各1
英語、音声表現	各1
英語、総合	各1
英語、オーラルコミュニケーションB	各1
英語、リーディング	各1

選択必修外国語は、1ないし2カ国語で8単位（ただし、英語は1～4単位、英語以外は1言語4単位以上）を修得。

フランス語 4-8

フランス語、文法・講読	各1
フランス語、会話・作文	各1

ドイツ語 4-8

ドイツ語、文法・講読	各1
ドイツ語、会話・作文	各1

スペイン語 4-8

スペイン語、文法・講読	各1
スペイン語、会話・作文	各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語、文法・講読	各1
ポルトガル語、会話・作文	各1

中国語 4-8

中国語、会話・作文	各1
中国語、語法	各1

韓国朝鮮語 4

韓国朝鮮語、文法・講読	各1
韓国朝鮮語、会話・作文	各1

インドネシア語 4

インドネシア語、文法・講読	各1
インドネシア語、会話・作文	各1

ラテン語 4-8

ラテン語、文法	各1
ラテン語、講読	各1

ギリシャ語 4

ギリシャ語、文法	各1
ギリシャ語、講読	各1

学部共通科目 8

選択科目 8

学科科目 68

必修科目 20

選択必修科目 6

選択科目 42

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学科科目のうち、選択必修科目の6単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に算入される。

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・心理人間学科科目の中で所定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない。）

日本文化学科履修要項 ()内は単位数

日本文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

・ 共通教育科目 (32)

日本文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第 1 年次

宗 教 論 (2)

基 礎 体 育 A (1) 基 礎 体 育 B (1)

第 2 年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第 1 年次以降

次のテーマ科目の中から、1 テーマを選択して 5 科目 10 単位修得。または、2 テーマを選択して 5 科目 10 単位修得。(ただし、1 テーマは 2 科目以上)

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第 2 年次以降

「人間の尊厳」科目から 2 科目 4 単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

日本文化学科学生は、2 カ国語にわたって、各言語を 4 単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1 ないし 2 カ国語 8 単位 (ただし、英語以外は 1 言語 4 単位以上) を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第 1 年次

英語 オールコミュニケーションB (1) 英語 オールコミュニケーションB (1)

英語 リーディング（１） 英語 リーディング（１）
 選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
 選択必修の単位に導入される外国語の具体的な科目名
 は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。
 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、
 中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ
 科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履
 修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として
 卒業に必要な単位に算入される。「任意選択科目」
 の項を参照のこと。

・学部共通科目（８）

日本文化学科学生は、学部共通科目として、以下の科目
 から４科目８単位以上を履修すること。

選択科目（８）

第２年次秋学期以降

キリスト教学入門（２）	キリスト教文化入門（２）
他者と自己（２）	コミュニケーションと言語（２）
自己と社会（２）	パラダイム論（２）
キャリア発達論と自己理解（２）	日本語の多様性（２）
現代日本社会論（２） （自己発見と自己成長）	現代日本社会論（２） （問題発見と問題解決）
宗教学概論（２）	ジェンダー論（２）
福祉論（２）	青少年問題論（２）
子ども・学校論（２）	情報組織化論（２）
視聴覚メディア論（２）	生涯学習論（２）

・学科科目（６８）

日本文化学科学生は、必修科目を２０単位、選択科目を４８
 単位以上、合計６８単位以上を修得すること。

必修科目（２０）

人文学部 日本文化学科

第1年次

日本文化学基礎演習 (2) 日本文化学基礎演習 (2)

第2年次

日本文化学基礎演習 (2) 日本文化学基礎演習 (2)

第3年次

日本文化学演習 (2) 日本文化学演習 (2)

第4年次

日本文化学演習 (2) 日本文化学演習 (2)

研究プロジェクト (4)

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択科目 (48)

次の科目の中から48以上単位を修得すること。

第1年次以降

日本文化学入門 (2) 対話的コミュニケーション (2)

からだことば (3) 文章表現法 (2)

日本文化史概説 (2) 日本文学史 A (2)

日本文学史 B (2) 日本文学史 C (2)

言語学概論 A (2) 言語学概論 B (2)

第2年次以降

日本文化史 A (2) 日本文化史 B (2)

日本文化史 C (2) 近現代日本とアジア (2)

日本民俗文化論 (2) 日本芸能史 (2)

宗教人類学 (2) 消費社会論 (2)

日本経済史 (2) 表象文化論 (2)

現代社会と人間 (3) 日本思想史 (2)

地域文化論 (2) 日本中世史 (2)

日本美術史 (2) 和歌文学研究 (2)

物語・日記文学研究 (2) 中世文学研究 (2)

王朝文学研究 (2) 近代文学研究 (2)

近世文学研究 (2) 近代小説研究 (2)

文学と歴史 (2) 近代女性作家研究 (2)

女性と古典文学 (2) 古典資料講読 (2)

唐宋文学研究 (2) 古文献入門 (2)

漢文学 (2)	漢文学 (2)
漢文学研究 (2)	漢文学研究 (2)
日本語史 (2)	日本語史 (2)
現代日本語の構造 (2)	言語分析 A (2)
言語分析 B (2)	日本語シタックス(2)
社会言語学(2)	日本語音声学(2)
日本語音韻論(2)	日本語研究史(2)
外国人による日本語研究(2)	日本語教授法 (2)
日本語教授法 (2)	第二言語習得研究(2)
日本語の教育と学習(2)	日本語教育文法(2)
日本語教育教材研究(2)	日本語の会話教育(2)
日本語の音声教育(2)	日本語能力評価法(2)

第3年次以降

現代日本語の構造 (2)	心理言語学(2)
コンピュータと言語学(2)	日本語の口頭能力研究(2)

第4年次

日本語教育実地研究(2)

任意選択科目(20)

日本文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 日本文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く)
- (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭」に関する科目)は含まれない)

人文学部 日本文化学科

人文学部日本文化学科カリキュラム表

【人文学部 日本文化学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	選 択		8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科		必修科目を20単位、選択科目を48単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。				
科 目	必 修	20単位修得しなければならない。				
		日本文学基礎演習 (2)	日本文学基礎演習 (2)	日本文学演習 (2)	日本文学演習 (2)	日本文学演習 (2)
目	選 択	48単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
		任意選択科目				
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3)日本文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				

卒業に必要な単位数

人文学部日本文化学科

総単位数 128

共通教育科目 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論;2(1年次)

キリスト教概論;2(2年次)

体育科目

基礎体育A;1(1年次)

基礎体育B;1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目;4(2~4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い;各2(1~4年次)

生命と環境;各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会;各2(1~4年次)

モダンの系譜;各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科
学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技;各1(2~4年次)

情報科目

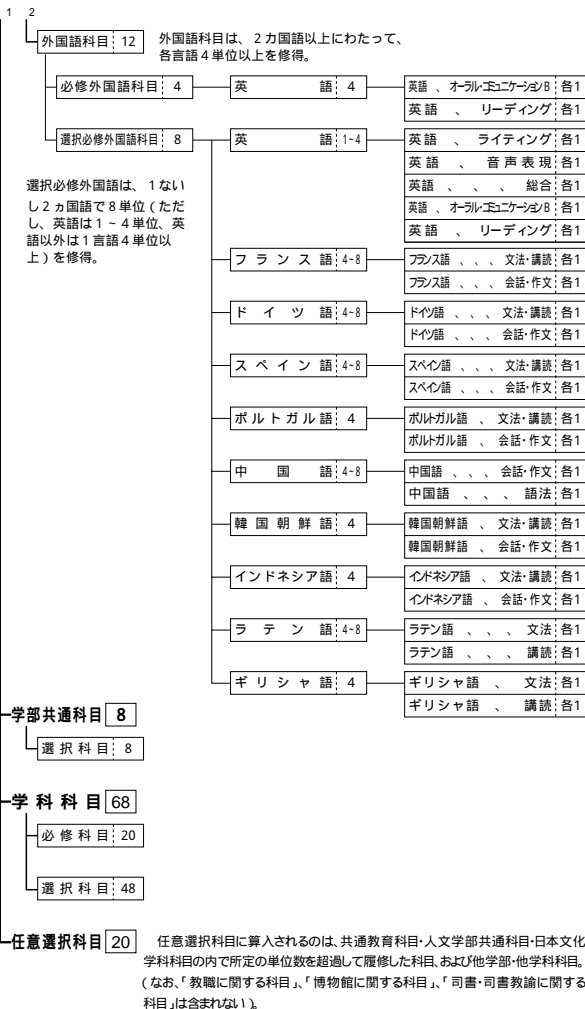
情報リテラシー;2(1~2年次)

情報機器の操作;2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修;2(3年次)

人文学部 日本文化学科



外国語学部履修要項

1. 外国語学部学生は、卒業のためには「共通教育科目」、「学科科目」、「外国語学部共通基礎科目」、「外国語学部共通専門科目」、「任意選択科目」を履修して128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める。（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと。）
3. 外国語学部学生は、外国語学部共通基礎科目を8単位以上、また外国語学部共通専門科目を10単位以上修得しなければならない。
4. 外国語学部学生は各自の所属する学科の必修科目、選択科目を、それぞれ所定の単位数修得しなければならない。この履修方法については別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
5. 外国語学部学生は、下記の科目を任意選択科目として卒業に必要な単位に算入できる。算入できる単位数は別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
 - (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
 - (2) 外国語学部他学科の学科の科目（他学科履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 外国語学部学生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位数には算入されない。
7. 外国語学部学生が1学期に履修登録を許される総単位数は自由科目を除き、22単位以内とする。なお、通年科目につ

いては、その単位数の2分の1ずつを各学期に含めるものとする。

8. 本学に設置していない科目を、留学先大学で修得した場合、教育上適切と認められれば、任意選択科目として認定することがある。
9. 特に必修外国語の能力があると認定された学生については、学生本人の申請に基づいて必修外国語科目(学科科目を含む)の履修を免除することがある。なお、この場合、免除された外国語科目と同じ単位数の科目(自由科目を除く)を履修しなければならない。

また、この場合、指定年次に達していない場合でも、免除された外国語科目の上級年次の外国語科目の履修を認めることがある。
10. 外国語学部学生は「演習IV」の単位を修得するには卒業論文を提出しなければならない。
11. 欠席時数が授業科目の授業予定数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績は原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

英米学科履修要項

・ 共通教育科目 (36)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(ただし、1テーマは2科目以上修得すること)

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

外国語科目 (16)

必修外国語科目 (8)

下記の4科目計8単位を第1年次に履修すること。

英語 オールコミュニケーションA (3) 英語 オールコミュニケーションA (3)

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)

選択必修外国語科目 (8)

次の外国語の中から、1または2言語8単位(ただし1言語は4単位以上)を履修すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、
韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

外国語科目については、共通教育科目履修要項を参照すること。

外国語学部 英米学科

・外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎（2） 言語研究の基礎（2）
（言葉の機能） （文法論）

言語研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（形態論） （小説）A

文学研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（小説）B （詩）

文学研究の基礎（2） 外国語教育の基礎（2）
（演劇）

コミュニケーション研究の基礎（2） コミュニケーション研究の基礎（2）
（人文的アプローチ） （社会心理的アプローチ）

思想研究の基礎（2） 政治研究の基礎（2）
（アメリカ）

政治研究の基礎（2） 社会学研究の基礎（2）
（ドイツ） （アメリカ）

社会学研究の基礎（2） 国際関係論の基礎（2）
（アジア） （日本とアメリカ）

国際関係論の基礎（2） 国際関係論の基礎（2）
（日本とアジア） （日本と中南米）

歴史研究の基礎（2） 歴史研究の基礎（2）
（アメリカ） （スペイン）

歴史研究の基礎（2） 経済研究の基礎（2）
（ドイツ） （ミクロ経済学）

経済研究の基礎（2）
（マクロ経済学）

学部共通専門科目（10）

A．選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

- | | |
|------------------|------------|
| 対照言語学(2) | 心理言語学(2) |
| 外国語教育論(2) | 第二言語習得論(2) |
| 異文化コミュニケーション論(2) | 文学理論(2) |
| 文学と社会(2) | 比較文化論(2) |
| 第三世界論(2) | 南北アメリカ論(2) |
| 国際関係論(2) | 国際経済学(2) |
| 開発経済学(2) | 比較社会論(2) |
| 国際企業論(2) | |

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

- | | |
|-------------|---------------|
| 日本経済史 A(2) | 日本経済史 B(2) |
| 西洋経済史 A(2) | 西洋経済史 B(2) |
| 国際金融論 A(2) | 国際金融論 B(2) |
| 社会保障論 A(2) | 社会保障論 B(2) |
| 憲法 A(人権)(4) | 憲法 B(統治機構)(2) |
| 国際法総論 A(2) | 国際法総論 B(2) |
| 国際法各論 A(2) | 国際法各論 B(2) |
| 行政法総論(4) | 行政法各論(2) |
| 国際私法 A(2) | 国際私法 B(2) |
| 日本法史(2) | 西洋法史 A(2) |
| 西洋法史 B(2) | 政治史(2) |
| 政治思想史 A(2) | 政治思想史 B(2) |
| 国際政治学 A(2) | 国際政治学 B(2) |
| 国際機構論(2) | |

学科科目(52)

必修科目(30)

下記の18科目計30単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

- | | |
|-------------|-------------|
| アメリカの文化 (2) | アメリカの文化 (2) |
|-------------|-------------|

外国語学部 英米学科

Writing in English (2)	Writing in English (2)
English Workshop (1)	English Workshop (1)
第 2 年次	
Writing in English (1)	Writing in English (1)
English Workshop (1)	English Workshop (1)
Communication in English (3)	Communication in English (3)
Reading in English (1)	Reading in English (1)
第 3 年次	
演 習 (2)	演 習 (2)
第 4 年次	
演 習 (2)	演 習 (2)

選択科目 (22)

下記の科目の中から計22単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

政治とコミュニケーション (2)	人間関係とコミュニケーション (2)
コミュニケーション特殊研究A (2)	コミュニケーション特殊研究B (2)
英語教育特殊研究 (2) (メディアの活用)	英語教育特殊研究 (2) (評価)
英語教育特殊研究 (2) (教材作成)	英語の構造 (2)
英語の構造 (2)	英文法論 (2)
英文法論 (2)	英語音声学 (2)
英語音声学 (2)	英語学特殊研究 (2) (テキスト言語学)
英語学特殊研究 (2) (理論言語学)	英語学特殊研究 (2) (応用言語学)
英語学特殊研究 (2) (意味論)	英語学特殊研究 (2) (統語論)
英語学特殊研究 (2) (対照言語学)	英語学特殊研究 (2) (音韻論)
英語学特殊研究 (2) (比較言語学)	英語学特殊研究 (2) (心理言語学)
イギリス文学史 (2)	イギリス文学史 (2)

アメリカ文学史 (2)	アメリカ文学史 (2)
英米の小説 (2)	英米の詩 (2)
英米の演劇 (2)	
英米文学特殊研究 (2) (小説)A	英米文学特殊研究 (2) (小説)B
英米文学特殊研究 (2) (詩)A	英米文学特殊研究 (2) (詩)B
英米文学特殊研究 (2) (演劇)A	英米文学特殊研究 (2) (演劇)B
作家作品研究 (2) (アメリカ文学)A	作家作品研究 (2) (アメリカ文学)B
作家作品研究 (2) (イギリス文学)A	作家作品研究 (2) (イギリス文学)B
アメリカの歴史 (2)	アメリカ史特殊研究A (2)
アメリカ史特殊研究B (2)	アメリカ史特殊研究C (2)
アメリカの政治 (2)	アメリカ政治特殊研究A (2)
アメリカ政治特殊研究B (2)	アメリカの社会 (2)
アメリカ社会特殊研究A (2)	アメリカ社会特殊研究B (2)
アメリカの外交 (2)	アメリカ外交特殊研究A (2)
アメリカ外交特殊研究B (2)	アメリカの経済 (2)
アメリカ経済特殊研究A (2)	アメリカ経済特殊研究B (2)
日米関係論 (2)	英米の思想 (2)
基礎英語通訳法 (2)	上級英語通訳法 (2)
マスメディアの英語 (2)	英語プレゼンテーション (2)
英語翻訳法 (2)	ビジネス・コミュニケーション (2)
クリエイティブ・ライティング (2)	
Special Topics in English: Issues in Society	(2)
Special Topics in English: Issues in the Humanities	(2)
Special Topics in English: Issues in Interdisciplinary Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in International Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in Cross-cultural Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in Language Studies	(2)

・任意選択科目 (22)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計22単位を履修

外国語学部 英米学科

すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目 B はすべて任意選択科目である。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部英米学科カリキュラム表

【外国語学部 英米学科】

区分		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		36単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	A 選択必修				10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。
	B 選 択	B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。			
学 科 目	必修科目を30単位、選択科目を22単位以上、合計52単位以上を修得しなければならない。				
	必 修	30単位修得しなければならない。			
		アメリカの文化 (2) アメリカの文化 (2) Writing in English (2) Writing in English (2) English Workshop (1) English Workshop (1)	Writing in English (1) Writing in English (1) English Workshop (1) English Workshop (1) Communication in English (3) Communication in English (3) Reading in English (1) Reading in English (1)	演習 (2) 演習 (2)	演習 (2) 演習 (2)
選 択	22単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		22単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

外国語学部

卒業に必要な単位数

外国語学部英米学科

総単位数 128

共通教育科目 36

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B、
世界史、自然地理学、人文地理学、
地誌概論、倫理学

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2-4年次)

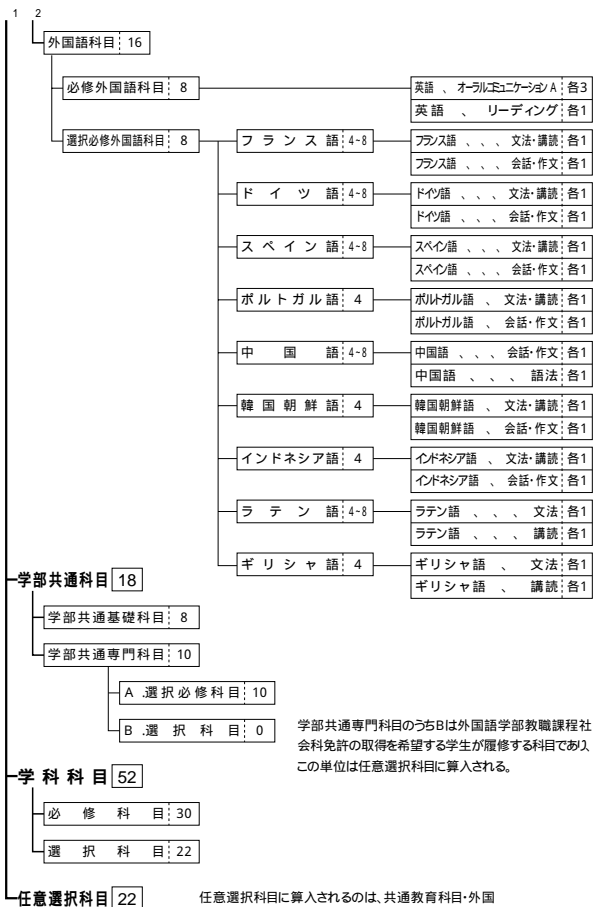
情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

情報機器の操作 2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)



スペイン・ラテンアメリカ学科履修要項

・ 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(ただし、1テーマは2科目以上修得すること)。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を履修すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の12科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (12)

基礎スペイン語 文法 (2) 基礎スペイン語 文法 (2)

基礎スペイン語 講読 (1) 基礎スペイン語 講読 (1)

基礎スペイン語 作文 (1) 基礎スペイン語 作文 (1)

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)

第2年次 (2)

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

・外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

選択必修科目

第1・2年次

言語研究の基礎（2） 言語研究の基礎（2）
（言葉の機能） （文法論）

言語研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（形態論） （小説）A

文学研究の基礎（2） 文学研究の基礎（2）
（小説）B （詩）

文学研究の基礎（2） 外国語教育の基礎（2）
（演劇）

コミュニケーション研究の基礎（2） コミュニケーション研究の基礎（2）
（人文的アプローチ） （社会心理的アプローチ）

思想研究の基礎（2） 政治研究の基礎（2）
（アメリカ）

政治研究の基礎（2） 社会学研究の基礎（2）
（ドイツ） （アメリカ）

社会学研究の基礎（2） 国際関係論の基礎（2）
（アジア） （日本とアメリカ）

国際関係論の基礎（2） 国際関係論の基礎（2）
（日本とアジア） （日本と中南米）

歴史研究の基礎（2） 歴史研究の基礎（2）
（アメリカ） （スペイン）

歴史研究の基礎（2） 経済研究の基礎（2）
（ドイツ） （ミクロ経済学）

経済研究の基礎（2）
（マクロ経済学）

学部共通専門科目（10）

A．選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2) 心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2) 第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2) 文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2) 比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2) 南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2) 国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2) 比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)

B . 選 択 科 目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日 本 経 済 史 A (2) 日 本 経 済 史 B (2)
西 洋 経 済 史 A (2) 西 洋 経 済 史 B (2)
国 際 金 融 論 A (2) 国 際 金 融 論 B (2)
社 会 保 障 論 A (2) 社 会 保 障 論 B (2)
憲 法 A (人 権) (4) 憲 法 B (統 治 機 構) (2)
国 際 法 総 論 A (2) 国 際 法 総 論 B (2)
国 際 法 各 論 A (2) 国 際 法 各 論 B (2)
行 政 法 総 論 (4) 行 政 法 各 論 (2)
国 際 私 法 A (2) 国 際 私 法 B (2)
日 本 法 史 (2) 西 洋 法 史 A (2)
西 洋 法 史 B (2) 政 治 史 (2)
政 治 思 想 史 A (2) 政 治 思 想 史 B (2)
国 際 政 治 学 A (2) 国 際 政 治 学 B (2)
国 際 機 構 論 (2)

. 学 科 科 目 (6 0)

必 修 科 目 (3 4)

下記の28科目計34単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第 1 年 次

ス ペ イ ン の 文 化 (2) ラ テ ン ア メ リ カ の 文 化 (2)

スペイン語 会話A (1)	スペイン語 会話A (1)
スペイン語 会話B (1)	スペイン語 会話B (1)
第2年次	
スペイン語 作文 (1)	スペイン語 作文 (1)
スペイン語 講読 (1)	スペイン語 講読 (1)
スペイン語 文法 (1)	スペイン語 文法 (1)
スペイン語 会話A (1)	スペイン語 会話A (1)
スペイン語 会話B (1)	スペイン語 会話B (1)
第3年次	
演 習 (2)	演 習 (2)
スペイン語 作文 (1)	スペイン語 作文 (1)
スペイン語 講読 (1)	スペイン語 講読 (1)
スペイン語 会話 (1)	スペイン語 会話 (1)
第4年次	
演 習 (2)	演 習 (2)
スペイン語 講読 (1)	スペイン語 講読 (1)

選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次以降

スペイン語実習 (4)

第2年次

ブラジル・ポルトガル語 (1) ブラジル・ポルトガル語 (1)

第3・4年次

ス ペ イ ン 史 (2) ラテンアメリカ史 A (2)

ラテンアメリカ史 B (2) スペイン文学 A (2)

スペイン文学 B (2) ラテンアメリカ文学 A (2)

ラテンアメリカ文学 B (2) スペイン思想史 (2)

ラテンアメリカの政治 (2) ラテンアメリカ経済史 (2)

ラテンアメリカの経済 (2) ラテンアメリカの経済政策 (2)

ス ペ イ ン 法 (2) スペイン語表現法 (2)

スペイン語表現法 (2) ポルトガル語比較文法 (2)

ブラジルポルトガル文化研究 (2) スペイン特殊研究 (2)

ラテンアメリカ特殊研究 (2) スペイン語学特殊研究 (2)

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科

スペイン文学特殊研究A (2)	スペイン文学特殊研究B (2)
スペイン語通訳法 (2)	スペイン語通訳法 (2)
時事スペイン語 (2)	時事スペイン語 (2)

・任意選択科目 (16)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計16単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目 (他学科履修不可の科目を除く)
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目 (他学部履修不可の科目を除く)

その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科カリキュラム表

【外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選 択 必 修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	A 選 択 必 修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
	B 選 択			B.選択科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。	
学 科 目	必修科目を34単位、選択科目を26単位以上、合計60単位以上を修得しなければならない。				
	必 修	34単位修得しなければならない。			
		スペインの文化(2) ラテンアメリカの文化(2) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1)	スペイン語 作文(1) スペイン語 作文(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 文法(1) スペイン語 文法(1) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1) スペイン語 会話A(1) スペイン語 会話B(1)	演習 (2) 演習 (2) スペイン語 作文(1) スペイン語 作文(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 講読(1) スペイン語 会話(1) スペイン語 会話(1)	演習 (2) 演習 (2) スペイン語 講読(1) スペイン語 講読(1)
選 択	26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		16単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 ただし学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2)外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3)他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科

総単位数 128

共通教育科目 34

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2-4年次)

情報科目

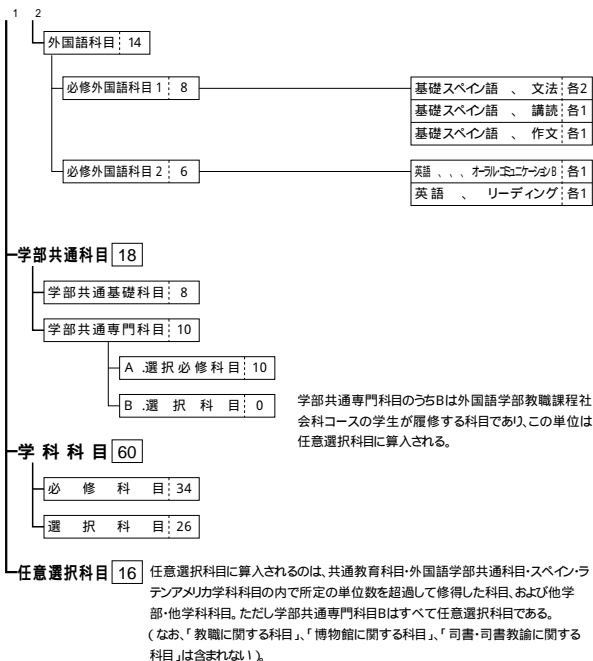
情報リテラシー 2(1-2年次)

情報機器の操作 2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科



フランス学科履修要項

・ 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(ただし、1テーマは2科目以上修得すること)。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を履修すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の12科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (12)

基礎フランス語 A (1) 基礎フランス語 A (1)

基礎フランス語 B (1) 基礎フランス語 B (1)

基礎フランス語 C (1) 基礎フランス語 C (1)

基礎フランス語 D (1) 基礎フランス語 D (1)

英語 オールコミュニケーションB (1) 英語 オールコミュニケーションB (1)

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)

第2年次 (2)

英語 オールコミュニケーションB (1) 英語 オールコミュニケーションB (1)

・ 外国語学部共通科目 (18)

学部共通基礎科目 (8)

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) (言葉の機能)	言語研究の基礎 (2) (文法論)
言語研究の基礎 (2) (形態論)	文学研究の基礎 (2) (小説)A
文学研究の基礎 (2) (小説)B	文学研究の基礎 (2) (詩)
文学研究の基礎 (2) (演劇)	外国語教育の基礎 (2)
コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

学部共通専門科目 (10)

A．選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

外国語学部 フランス学科

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2) 心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2) 第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2) 文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2) 比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2) 南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2) 国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2) 比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日 本 経 済 史 A (2) 日 本 経 済 史 B (2)
西 洋 経 済 史 A (2) 西 洋 経 済 史 B (2)
国 際 金 融 論 A (2) 国 際 金 融 論 B (2)
社 会 保 障 論 A (2) 社 会 保 障 論 B (2)
憲 法 A (人 権) (4) 憲 法 B (統 治 機 構) (2)
国 際 法 総 論 A (2) 国 際 法 総 論 B (2)
国 際 法 各 論 A (2) 国 際 法 各 論 B (2)
行 政 法 総 論 (4) 行 政 法 各 論 (2)
国 際 私 法 A (2) 国 際 私 法 B (2)
日 本 法 史 (2) 西 洋 法 史 A (2)
西 洋 法 史 B (2) 政 治 史 (2)
政 治 思 想 史 A (2) 政 治 思 想 史 B (2)
国 際 政 治 学 A (2) 国 際 政 治 学 B (2)
国 際 機 構 論 (2)

. 学科科目 (58)

必修科目 (32)

下記の24科目計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (8)

フランスの文化と社会 (2) フランスの文化と社会 (2)

総合フランス語 文法 (1)	総合フランス語 文法 (1)
総合フランス語 コミュニケーション (1)	総合フランス語 コミュニケーション (1)
第 2 年次 (14)	
フランスの文化と社会 (2)	論文作成法 (2)
総合フランス語 文法 (1)	総合フランス語 文法 (1)
総合フランス語 コミュニケーションA (1)	総合フランス語 コミュニケーションA (1)
総合フランス語 コミュニケーションB (1)	総合フランス語 コミュニケーションB (1)
総合フランス語 コミュニケーションC (1)	総合フランス語 コミュニケーションC (1)
中級フランス語講読 A (1)	中級フランス語講読 A (1)
第 3 年次	
上級フランス語 作文 (1)	上級フランス語 作文 (1)
演 習 (2)	演 習 (2)
第 4 年次	
演 習 (2)	演 習 (2)

選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第 1 年次

フランス語実習 (4)

第 2 年次

中級フランス語講読 B (1) 中級フランス語講読 B (1)

中級フランス語講読 C (1) 中級フランス語講読 C (1)

第 2 年次以降

フランス文学史 (2) フランスの歴史 (2)

フランス精神 (2) フランスの政治 (2)

第 3 ・ 4 年次

上級フランス語会話 A (1) 上級フランス語会話 A (1)

上級フランス語会話 B (1) 上級フランス語会話 B (1)

実用フランス語 (1) 実用フランス語 (1)

フランス語表現法 (2) フランス語翻訳法 (2)

フランス文法論 (2) フランス語学 (2)

フランス文学講読 (2) フランス文学研究 (2)

フランスの社会と文学 (2) フランスの文化 (2)

フランスの思想 (2) フランスの法制 (2)

外国語学部 フランス学科

フランスの外交（２） フランスの社会（２）
日仏交流史（２） 時事フランス語（２）
文献講読（２）

（注）一年次のフランス語科目（基礎フランス語 ・
A、B、C、Dおよび総合フランス語 ・ 文法、コ
ミュニケーション）の全科目の単位を完全に取得して
いない場合には、3、4年次の学科科目を登録するこ
とができない。

任意選択科目（18）

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から18単位を履修
すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学
部共通専門科目、フランス学科の学科科目の内、必
要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
ただし学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目で
ある。
- (2) 外国語学部他学科科目の学科科目（他学科履修不可
の科目を除く）。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可
の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、
学科において定められた履修年次を遵守しなければ
ならない。

外国語学部フランス学科カリキュラム表

【外国語学部 フランス学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選 択 必 修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学部共通専門科目	A 選 択 必 修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
	B 選 択			B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科学コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。	
学 科 必 修 科 目	必修科目を32単位、選択科目を26単位以上、合計58単位以上を修得しなければならない。				
		32単位修得しなければならない。			
		フランスの文化と社会 (2) フランスの文化と社会 (2) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 コミュニケーション(1) 総合フランス語 コミュニケーション(1)	フランスの文化と社会 (2) 論文作成法(2) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 文法(1) 総合フランス語 コミュニケーションA(1) 総合フランス語 コミュニケーションA(1) 総合フランス語 コミュニケーションB(1) 総合フランス語 コミュニケーションB(1) 総合フランス語 コミュニケーションC(1) 総合フランス語 コミュニケーションC(1) 中級フランス語講読A (1) 中級フランス語講読A (1)	上級フランス語 作文(1) 上級フランス語 作文(1) 演習 (2) 演習 (2)	演習 (2) 演習 (2)
目	選 択	26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目		18単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部フランス学科

総単位数 128

共通教育科目 34

必修科目 6

宗教科目

宗教論:2(1年次)

キリスト教概論:2(2年次)

体育科目

基礎体育A:1(1年次)

基礎体育B:1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目:4(2-4年次)

テーマ科目:10

異文化との出会い:各2(1-4年次)

生命と環境:各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会:各2(1-4年次)

モダンの系譜:各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技:各1(2-4年次)

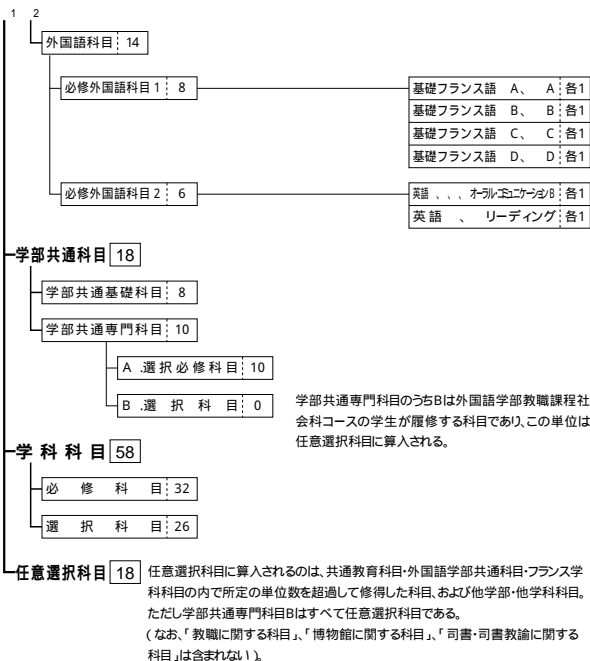
情報科目

情報リテラシー:2(1-2年次)

情報機器の操作:2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修:2(3年次)



ドイツ学科履修要項

・ 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(但し、1テーマは2科目以上修得すること)。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の12科目14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (12)

基礎ドイツ語 文法 (1) 基礎ドイツ語 文法 (1)

基礎ドイツ語 コミュニケーション (2) 基礎ドイツ語 コミュニケーション (2)

基礎ドイツ語 講読 (1) 基礎ドイツ語 講読 (1)

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)

第2年次 (2)

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

・ 外国語学部共通科目 (18)

学部共通基礎科目 (8)

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) 言語研究の基礎 (2)
(言葉の機能) (文法論)

言語研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(形態論) (小説)A

文学研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(小説)B (詩)

文学研究の基礎 (2) 外国語教育の基礎 (2)
(演劇)

コミュニケーション研究の基礎 (2) コミュニケーション研究の基礎 (2)
(人文的アプローチ) (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎 (2) 政治研究の基礎 (2)
(アメリカ)

政治研究の基礎 (2) 社会学研究の基礎 (2)
(ドイツ) (アメリカ)

社会学研究の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(アジア) (日本とアメリカ)

国際関係論の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(日本とアジア) (日本と中南米)

歴史研究の基礎 (2) 歴史研究の基礎 (2)
(アメリカ) (スペイン)

歴史研究の基礎 (2) 経済研究の基礎 (2)
(ドイツ) (ミクロ経済学)

経済研究の基礎 (2)
(マクロ経済学)

学部共通専門科目 (10)

A．選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

外国語学部 ドイツ学科

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2) 心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2) 第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2) 文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2) 比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2) 南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2) 国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2) 比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)

B . 選 択 科 目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日 本 経 済 史 A (2) 日 本 経 済 史 B (2)
西 洋 経 済 史 A (2) 西 洋 経 済 史 B (2)
国 際 金 融 論 A (2) 国 際 金 融 論 B (2)
社 会 保 障 論 A (2) 社 会 保 障 論 B (2)
憲 法 A (人 権) (4) 憲 法 B (統 治 機 構) (2)
国 際 法 総 論 A (2) 国 際 法 総 論 B (2)
国 際 法 各 論 A (2) 国 際 法 各 論 B (2)
行 政 法 総 論 (4) 行 政 法 各 論 (2)
国 際 私 法 A (2) 国 際 私 法 B (2)
日 本 法 史 (2) 西 洋 法 史 A (2)
西 洋 法 史 B (2) 政 治 史 (2)
政 治 思 想 史 A (2) 政 治 思 想 史 B (2)
国 際 政 治 学 A (2) 国 際 政 治 学 B (2)
国 際 機 構 論 (2)

. 学 科 科 目 (5 8)

必 修 科 目 (2 8)

下記の19科目計28単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第 1 年 次

ド イ ツ 研 究 入 門 (2) ド イ ツ 研 究 入 門 (2)

ドイツ語作文	(1)	ドイツ語作文	(1)
ドイツ語講読	(1)	ドイツ語講読	(1)
第2年次			
ドイツ研究入門	(2)	ドイツ語作文	(1)
ドイツ語作文	(1)	ドイツ語講読	(1)
ドイツ語講読	(1)	ドイツ語文法	(1)
ドイツ語文法	(1)	ドイツ語コミュニケーション	(2)
ドイツ語コミュニケーション	(2)		
第3年次			
演習	(2)	演習	(2)
第4年次			
演習	(2)	演習	(2)

選択必修科目(6)

下記の上級ドイツ語科目の中から2単位、応用ドイツ語科目から4単位を、第3年次以降に履修すること。ただし、それぞれ所定の単位数を超えて履修した選択必修の単位は選択科目に算入される。

【上級ドイツ語科目】(2)

上級ドイツ語会話	(1)	上級ドイツ語会話	(1)
上級ドイツ語作文	(1)	上級ドイツ語作文	(1)

【応用ドイツ語科目】(4)

作品講読 A	(2)	作品講読 B	(2)
文献講読 A	(2)	文献講読 B	(2)
時事ドイツ語	(2)		

選択科目(24)

下記の科目の中から計24単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次以降

ドイツ語演劇研究	(2)	ドイツ語演劇研究	(2)
ドイツ語演劇研究	(2)	ドイツ語演劇研究	(2)
ドイツ語演劇研究	(2)	ドイツ語演劇研究	(2)

第2年次

外国語学部 ドイツ学科

中級ドイツ語講読 (1) 中級ドイツ語講読 (1)

第2年次以降

ドイツの思想と文化 (2) ドイツの政治と社会 (2)

ドイツ中世史 (2) ドイツ近代史 (2)

ドイツ現代史 (2) ドイツ文学史 A (2)

ドイツ文学史 B (2) ドイツ哲学史 A (2)

ドイツ哲学史 B (2) 留学のためのドイツ語 A (1)

留学のためのドイツ語 B (1)

第3年次以降

ドイツの社会と文学 (2) ドイツの経済 (2)

ドイツの法制 (2) ドイツ文学研究 (2)

ドイツ語学研究 (2) ドイツ経済研究 (2)

ドイツ政治研究 (2)

(注) 演習 を登録するには、1年次のドイツ語科目10科目(基礎ドイツ語・文法、基礎ドイツ語・コミュニケーション、基礎ドイツ語・講読およびドイツ語作文・、ドイツ語講読・)の全科目の単位を完全に取得していなければならない。ただし、不足単位数が4単位以内の場合に限り、入学後の独検3級合格を条件に演習 の履修を認める。これに該当する者は、証明書を教務課窓口へ持参すること。

任意選択科目 (18)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計18単位を履修すること。

(1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目 B はすべて任意選択科目である。

(2) 外国語学部他学科の学科科目 (他学科履修不可の科目を除く)。

(3) 他学部の学部共通科目、学科科目 (他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部ドイツ学科カリキュラム表

【外国語学部 ドイツ学科】

区分		年次別		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。					
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
学部共通専門科目	A 選択必修					10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
	B 選 択					B. 選択科目は外国語学部教職課程社会 科コースの学生が履修する科目であり、 この単位は任意選択科目に算入される。	
学 科 目	必修科目を28単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を24単位以上、合計58単位以上を修得しなければならない。						
	必 修	28単位修得しなければならない。					
		ドイツ研究入門 (2)	ドイツ研究入門 (2)	演習 (2)	演習 (2)		
		ドイツ研究入門 (2)	ドイツ語作文 (1)	演習 (2)	演習 (2)		
	ドイツ語作文 (1)	ドイツ語作文 (1)					
	ドイツ語作文 (1)	ドイツ語講読 (1)					
	ドイツ語講読 (1)	ドイツ語講読 (1)					
	ドイツ語講読 (1)	ドイツ語文法 (1)					
		ドイツ語文法 (1)					
		ドイツ語					
		コミュニケーション (2)					
		ドイツ語					
		コミュニケーション (2)					
	選択必修	6単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
	選 択	24単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
	任意選択科目	18単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学 科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共 通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなけ ればならない。					

外国語学部

卒業に必要な単位数

外国語学部ドイツ学科

総単位数 128

共通教育科目 34

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2-4年次)

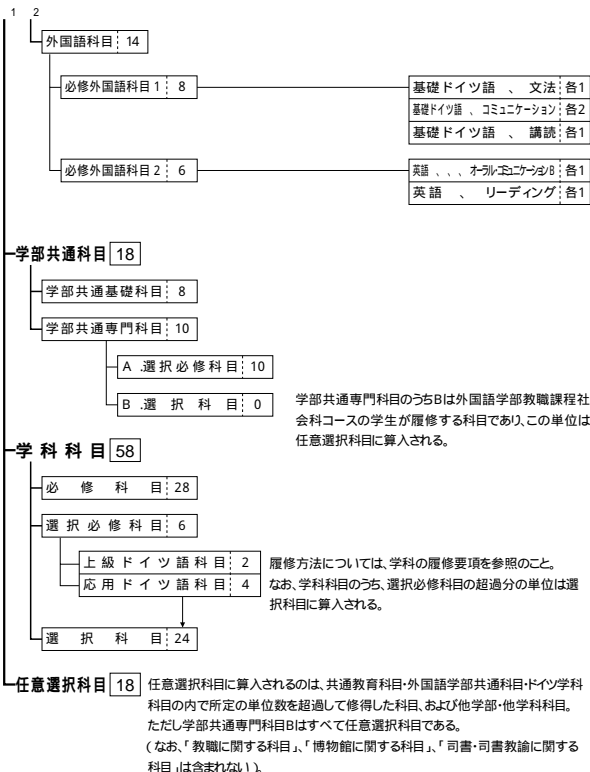
情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

情報機器の操作 2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)



アジア学科履修要項

・ 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること(ただし、1テーマは2科目以上修得すること)。

「異文化との出会い」

「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」

「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の14科目14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

中国語 会話・作文 (1) 中国語 会話・作文 (1)

中国語 語法 (1) 中国語 語法 (1)

インドネシア語 会話・作文 (1) インドネシア語 会話・作文 (1)

インドネシア語 文法・講読 (1) インドネシア語 文法・講読 (1)

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

第2年次

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)

・外国語学部共通科目（18）

学部共通基礎科目（8）

選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎（2） （言葉の機能）	言語研究の基礎（2） （文法論）
言語研究の基礎（2） （形態論）	文学研究の基礎（2） （小説）A
文学研究の基礎（2） （小説）B	文学研究の基礎（2） （詩）
文学研究の基礎（2） （演劇）	外国語教育の基礎（2）
コミュニケーション研究の基礎（2） （人文的アプローチ）	コミュニケーション研究の基礎（2） （社会心理的アプローチ）
思想研究の基礎（2）	政治研究の基礎（2） （アメリカ）
政治研究の基礎（2） （ドイツ）	社会学研究の基礎（2） （アメリカ）
社会学研究の基礎（2） （アジア）	国際関係論の基礎（2） （日本とアメリカ）
国際関係論の基礎（2） （日本とアジア）	国際関係論の基礎（2） （日本と中南米）
歴史研究の基礎（2） （アメリカ）	歴史研究の基礎（2） （スペイン）
歴史研究の基礎（2） （ドイツ）	経済研究の基礎（2） （ミクロ経済学）
経済研究の基礎（2） （マクロ経済学）	

学部共通専門科目（10）

A．選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

外国語学部 アジア学科

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2) 心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2) 第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2) 文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2) 比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2) 南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2) 国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2) 比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)

B . 選 択 科 目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日 本 経 済 史 A (2) 日 本 経 済 史 B (2)
西 洋 経 済 史 A (2) 西 洋 経 済 史 B (2)
国 際 金 融 論 A (2) 国 際 金 融 論 B (2)
社 会 保 障 論 A (2) 社 会 保 障 論 B (2)
憲 法 A (人 権) (4) 憲 法 B (統 治 機 構) (2)
国 際 法 総 論 A (2) 国 際 法 総 論 B (2)
国 際 法 各 論 A (2) 国 際 法 各 論 B (2)
行 政 法 総 論 (4) 行 政 法 各 論 (2)
国 際 私 法 A (2) 国 際 私 法 B (2)
日 本 法 史 (2) 西 洋 法 史 A (2)
西 洋 法 史 B (2) 政 治 史 (2)
政 治 思 想 史 A (2) 政 治 思 想 史 B (2)
国 際 政 治 学 A (2) 国 際 政 治 学 B (2)
国 際 機 構 論 (2)

. 学 科 科 目 (56)

必 修 科 目 (18)

下記の10科目計18単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

なお所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

第1年次

入門演習(2) 日本とアジア(2)

中国語発音・聴力(1) 中国語発音・聴力(1)

第2年次

基礎演習(2) 日本とアジア(2)

第3年次

演習(2) 演習(2)

第4年次

演習(2) 演習(2)

選択必修科目(6)

下記の科目の中から計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第2年次

中級中国語 会話(1) 中級中国語 会話(1)

中級中国語 語法(1) 中級中国語 語法(1)

中級中国語 読解(1) 中級中国語 読解(1)

中級インドネシア語 会話(1) 中級インドネシア語 会話(1)

中級インドネシア語 文法(1) 中級インドネシア語 文法(1)

中級インドネシア語 読解(1) 中級インドネシア語 読解(1)

選択科目(32)

下記の科目の中から計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第2年次

中国圏の文化と社会(2) 東南アジアの歴史と文化(2)

中国欧州交流史(2)

第3年次

中級中国語 会話(1) 中級中国語 会話(1)

中級中国語 読解(1) 中級中国語 読解(1)

中国語時事A(2) 中国語時事B(2)

中級インドネシア語 会話(1) 中級インドネシア語 会話(1)

中級インドネシア語 読解(1) 中級インドネシア語 読解(1)

インドネシア語時事A(2) インドネシア語時事B(2)

中国語作文A(2) 中国語作文B(2)

第4年次

上級中国語会話(1) 上級インドネシア語会話(1)

外国語学部 アジア学科

インドネシア語作文 A (2)	インドネシア語作文 B (2)
第 3 ・ 4 年次	
韓国・朝鮮の言語と文化 (2)	韓国・朝鮮の言語と文化 (2)
タイの言語と文化 (2)	タイの言語と文化 (2)
中国語学研究 (2)	中国古典文学研究 (2)
中国現代文学研究 (2)	中国古代史研究 (2)
インドネシア文学研究 (2)	タイ文化研究 (2)
インドネシア文化研究 (2)	ベトナム文化研究 (2)
中国社会研究 (2)	中国经济研究 (2)
イスラム社会研究 (2)	インドネシア社会研究 (2)
ベトナム社会研究 (2)	フィリピン社会研究 (2)
華人社会研究 (2)	華人経済研究 (2)
東アジア外交研究 (2)	アジア経済論 (2)
アジア経済論 (2)	漢文学 (2)
漢文学 (2)	中国近代史研究 (2)
中国現代史研究 (2)	アジア芸術研究 (2)
インドネシア宗教研究 (2)	インドネシア民族研究 (2)

・ 任意選択科目 (20)

下記の(1)~(3)に該当する科目の中から計20単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目 B はすべて任意選択科目である。
- (2) 外国語学部他学科科目の学科科目 (他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目 (他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部アジア学科カリキュラム表

【外国語学部 アジア学科】

区分		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	A 選択必修				10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。
学部共通専門科目	B 選 択	B.選択科目は外国語学部教職課程社会科学コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。			
	必修科目を18単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を32単位以上、合計56単位以上を修得しなければならない。				
学 科	必 修	18単位修得しなければならない。			
		入門演習(2) 日本とアジア (2) 中国語 発音・聴力(1) 中国語 発音・聴力(1)	基礎演習(2) 日本とアジア (2)	演習 (2) 演習 (2)	演習 (2) 演習 (2)
科 目	選択必修	6単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	選 択	32単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目		20単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。ただし学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2)外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3)他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部アジア学科

総単位数 128

共通教育科目 34

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2-4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1-4年次)

生命と環境 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1-4年次)

モダンの系譜 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1-4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2-4年次)

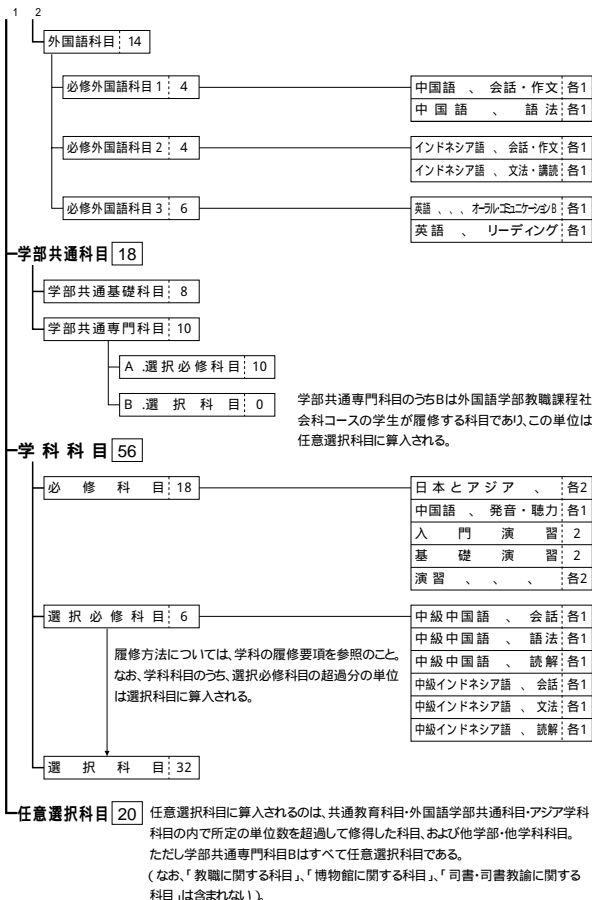
情報科目

情報リテラシー 2(1-2年次)

情報機器の操作 2(1-4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)



経済学部履修要項

. 科目履修上の一般要件

1. 経済学部の学生が卒業に必要な単位数は128単位である。この128単位のうち、共通教育科目を少なくとも32単位、経済学科科目を少なくとも88単位修得する必要がある。卒業に必要な残りの8単位については、共通教育科目、経済学科科目、他学科で開講される科目の中から任意に科目を選択して修得することができる。ただし科目の履修に際しては、この経済学部履修要項に定められた履修要件に従わなければならない。
2. 教員職員免許状取得資格を得ようとするものは、「教職課程履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
3. 博物館学芸員資格を得ようとするものは、「博物館に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
4. 司書および司書教諭の資格を得ようとするものは、「司書・司書教諭に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
5. 教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目は卒業にかかわらない自由科目であり、修得した単位は卒業に必要な単位に算入されない。
6. 卒業にかかわる授業科目については1学期に履修登録できる単位数の上限を24単位とする。通年4単位科目は1学期あたり2単位として計算する。自由科目の履修登録単位数については制限を設けない。
7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

. 共通教育科目の履修要件

1. 共通教育科目の履修については「共通教育科目履修要項」に従わなければならない。以下においては履修要件の要点を再掲するとともに、経済学部の決定に委ね

られている部分についての履修要件を定める。

2. 共通教育科目の中の、履修が必要な科目、必要単位数、履修年次は以下のとおりである。

宗教科目（4単位・必修）

第1年次

宗 教 論（2）

第2年次

キリスト教概論（2）

体育科目（2単位・必修）

第1年次

基礎体育 A（1） 基礎体育 B（1）

「人間の尊厳」科目（2科目4単位・選択必修）

第2年次以降

宗教に見る人間の尊厳（2） 哲学・倫理学における人間の尊厳（2）

思想史に学ぶ人間の尊厳（2） 政治・経済と人間の尊厳（2）

法と人間の尊厳（2） 性と生命における人間の尊厳（2）

教育・文化における人間の尊厳（2） 民族問題と人間の尊厳（2）

テーマ科目（5科目10単位・選択必修）

以下の4テーマの中から、(i) 1テーマを選択して5科目10単位を修得するか、(ii) 2テーマを選択して5科目10単位（ただし1テーマにつき2科目以上）を修得しなければならない。

第1年次以降

「異文化との出会い」（2） 「生命と環境」（2）

「知識・言語と情報社会」（2） 「モダンの系譜」（2）

分野科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位数に算入することができる。

情報科目

経済学部の学生は「情報リテラシー」および「情報機器の操作」を履修することはできない。

インターンシップ科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位数に算入することができる。履修年次は3年次とする。

外国語科目（8単位・必修 | 4単位・選択必修）

必修外国語は英語を8単位、選択必修外国語はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、の中から1言語を選択して4単位修得しなければならない。

それぞれの言語の科目指定と履修年次は下表のとおりである。

		1年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語 オールコミュニケーションB(1)	英語 オールコミュニケーションB(1)
		英語 リーディング(1)	英語 リーディング(1)
選択必修 外国語 (4単位)	フランス語	フランス語 文法・講読(1)	フランス語 文法・講読(1)
		フランス語 会話・作文(1)	フランス語 会話・作文(1)
	ドイツ語	ドイツ語 文法・講読(1)	ドイツ語 文法・講読(1)
		ドイツ語 会話・作文(1)	ドイツ語 会話・作文(1)
	スペイン語	スペイン語 文法・講読(1)	スペイン語 文法・講読(1)
		スペイン語 会話・作文(1)	スペイン語 会話・作文(1)
	ポルトガル語	ポルトガル語 文法・講読(1)	ポルトガル語 文法・講読(1)
		ポルトガル語 会話・作文(1)	ポルトガル語 会話・作文(1)
中国語	中国語 文法・講読(1)	中国語 文法・講読(1)	
	中国語 会話・作文(1)	中国語 会話・作文(1)	
韓国朝鮮語	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	韓国朝鮮語 文法・講読(1)	
	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	韓国朝鮮語 会話・作文(1)	
インドネシア語	インドネシア語 文法・講読(1)	インドネシア語 文法・講読(1)	
	インドネシア語 会話・作文(1)	インドネシア語 会話・作文(1)	
ラテン語	ラテン語 文法・講読(1)	ラテン語 文法・講読(1)	
	ラテン語 会話・作文(1)	ラテン語 会話・作文(1)	
ギリシャ語	ギリシャ語 文法・講読(1)	ギリシャ語 文法・講読(1)	
	ギリシャ語 会話・作文(1)	ギリシャ語 会話・作文(1)	
		2年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語 オールコミュニケーションB(1)	英語 オールコミュニケーションB(1)
		英語 音声表現(1)	英語 ライティング(1)

3. 宗教科目と体育科目の必修科目を除いて、最低必要単位数を越えて修得した共通教育科目の単位は、所定の範囲で卒業に必要な単位数に算入することができる。

経済学部 経済学科

・経済学科科目の履修要件

1. 経済学科科目については、以下に定める履修要件に従って必修科目を28単位、選択必修科目を少なくとも4単位、関連分野科目を除く選択科目を少なくとも44単位修得し、さらに経済学科科目全体で少なくとも88単位を修得しなければならない。
2. 経済学科の開設科目、必要単位数、履修年次は次のとおりである。

(1) 必修科目 (28単位)

〔演習科目〕

第1年次

経済演習 (4)

第2年次

経済演習 (4)

第3年次

経済演習 (4)

第4年次

経済演習 (4)

〔基礎科目〕

第1年次

ミクロ経済学 (4) マクロ経済学 (4)

データ処理入門 (2) 経済学のための数学 (2)

(2) 選択必修科目 (4単位)

〔入門科目〕

第1年次以降

現代経済入門 (2) 経済史入門 A (2)

経済史入門 B (2) 経済思想入門 (2)

経済統計入門 (2) 地域経済入門 (2)

生活経済入門 (2)

(3) 選択科目 (経済外国語科目と専攻分野科目で44単位)

〔経済外国語科目〕

第2年次以降

経済英語 (2) 経済英語 (2)

ビジネス英語 (2) ビジネス英語 (2)

時事英語 (2) 時事英語 (2)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(理論と情報) (理論と情報)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(政策) (政策)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(国際) (国際)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)
(歴史と思想) (歴史と思想)

〔専攻分野科目〕

第2年次以降

〔経済分析と情報〕

中級ミクロ経済学 A (2) 中級ミクロ経済学 B (2)

中級マクロ経済学 A (2) 中級マクロ経済学 B (2)

計量経済学 (2) 計量経済学 (2)

経済統計論 (2) 経済統計論 (2)

理論経済学 (2) 理論経済学 (2)

情報経済学 A (2) 情報経済学 B (2)

データ解析 A (2) データ解析 B (2)

特別テーマ講義 A (2) 特別テーマ講義 B (2)
(理論と情報) (理論と情報)

〔日本経済の分析と政策〕

経済政策論 A (2) 経済政策論 B (2)

経済変動論 A (2) 経済変動論 B (2)

日本経済論 A (2) 日本経済論 B (2)

財政学 (2) 財政学 (2)

金融論 (2) 金融論 (2)

労働経済学 A (2) 労働経済学 B (2)

公共経済学 (2) 公共経済学 (2)

産業組織論 A (2) 産業組織論 B (2)

社会保障論 A (2) 社会保障論 B (2)

特別テーマ講義 A (2) 特別テーマ講義 B (2)
(政策) (政策)

〔国際経済の分析と政策〕

国際経済学 (2) 国際経済学 (2)

開発経済学 (2) 開発経済学 (2)

経済学部 経済学科

国際金融論 A (2)	国際金融論 B (2)
国際経済政策論 A (2)	国際経済政策論 B (2)
農業経済論 A (2)	農業経済論 B (2)
アジア経済論 A (2)	アジア経済論 B (2)
アメリカ経済論 A (2)	アメリカ経済論 B (2)
特別テーマ講義 A (2) (国際)	特別テーマ講義 B (2) (国際)

〔経済の歴史と思想〕

西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
日本経済史 A (2)	日本経済史 B (2)
経済思想史 A (2)	経済思想史 B (2)
経済倫理学 A (2)	経済倫理学 B (2)
経済体制論 A (2)	経済体制論 B (2)
経済学史 (2)	経済学史 (2)
消費社会論 A (2)	消費社会論 B (2)
特別テーマ講義 A (2) (歴史と思想)	特別テーマ講義 B (2) (歴史と思想)

〔関連分野科目〕(最低必要単位数を定めない)

第1年次以降

会計原理 (2)	会計原理 (2)
----------	----------

第2年次以降

国際会計論 A (2)	国際会計論 B (2)
経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営財務論 A (2)	経営財務論 B (2)
マーケティング論 A (2)	マーケティング論 B (2)
法と経済学 (2)	
経営史 A (2)	経営史 B (2)
経営労務論 A (2)	経営労務論 B (2)
民法 (2)	民法 (2)
商法 (2)	商法 (2)

第3年次以降

職業指導 A (2)	職業指導 B (2)
------------	------------

オペレーションズ・リサーチA (2) オペレーションズ・リサーチB (2)
 現代産業論 (2) 現代産業論 (2)
 (総合商社論) (損害保険論)

現代産業論 (2) 現代産業論 (2)
 (都市銀行論) (電子・電機産業論)

現代産業論 (2) 現代産業論 (2)
 (自動車産業論) (ツーリズム概論)

経済法 A (2) 経済法 B (2)

労働法 A (2) 労働法 B (2)

行政法 (2) 行政法 (2)

3. 「経済演習」の単位を修得していなければ、「経済演習」を履修登録することはできない。また「経済演習」と「経済演習」は原則として同じ担当者の演習科目でなければならない。
4. 「経済演習」の単位修得のためには、「卒業論文」を提出して審査に合格することが必要である。
5. 「現代産業論」は、2科目4単位を上限として卒業に必要な単位数に算入することができる。これを超えて単位を修得した科目は自由科目とされ、卒業に必要な単位数に算入することができない。

・任意選択科目の履修要件

1. 任意選択科目 (8)

下記の(1)~(2)に該当する科目の中から計8単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、経済学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。ただし、履修の際は、該当学部・学科の履修要項に定められた要件に従わなければならない。

2. 下記の(1)~(2)に該当する科目は、任意選択科目とは認められない。

- (1) 前項の共通教育科目、他学部開講科目履修の際、経済学科科目と同一名称である科目。

- (2)「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、
「司書・司書教諭に関する科目」。

・その他の履修要件

1. 単位を修得した科目の重複履修はできない。
2. 科目名の末尾に「A」「B」のついた科目は、履修の順序を定めている積み上げ科目なので、「A」「B」を履修するためには、原則として「A」「B」のついた同じ名称の科目を履修していなければならない。科目名の末尾の「A」「B」だけが異なる科目は、履修の順序を定めていない独立した科目なので、それぞれ別個に履修することができる。
3. 海外留学中に履修した英語プログラムは、別に定める『英語プログラム』の単位認定について」の規程に従って単位を認定する。
4. 休学の後に復学した者は、原則としてそれまでの修業年数に応じた年次指定科目に限って履修登録することができる。

「英語プログラム」の単位認定について

経済学部では、海外留学を奨励するという趣旨に則り、留学先で修得した「英語プログラム」の単位認定を以下の方法により行う。

- ・「英語プログラム」の単位認定の手続きは正規の授業科目の単位認定に必要な申請手続きに準ずるものとし、以下の基準により単位を認定する。
 - (1) 認定単位数の計算は、「南山大学授業科目履修規程」にある外国語科目の単位数計算の基礎に基づいて行う。
 - (2) 「英語プログラム」により履修した科目は、経済学科科目の「経済英語 ・ Ⅰ」、「ビジネス英語 ・ Ⅰ」、「時事英語 ・ Ⅰ」、「外書講読（理論と情報）A・B」、「外書講読（政策）A・B」、「外書講読（国際）A・B」、「外書講読（歴史と思想）A・B」、または「経済演習」として認定する。
 - (3) 留学先で修得した正規の授業科目を含めた認定単位数が30単位を超える場合は、「英語プログラム」の方の認定単位を調整し、認定単位数を30単位以下におさえる。
- ・留学先大学から「英語プログラム」の成績が提出されないときは、以下の条件のいずれかが満たされた場合に、前条の(1)Ⅱ(2)Ⅲに従って認定する。
 - (1) 留学中あるいは帰国直後に受けたTOEFLの得点が500点以上ある場合。
 - (2) 前項(1)の得点が国際教育センター委員会の記録に記載された留学前のTOEFLの得点と比べて60点以上向上した場合。
- ・留学先大学で修得した英語以外の外国語の単位認定についても、上記の認定基準を適用する。

経済学部 経済学科

経済学部経済学科カリキュラム表

【経済学部 経済学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目(32)			詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 目	演習科目(16)	経済演習 (4)	経済演習 (4)	経済演習 (4)	経済演習 (4)	
	必修 基礎科目 (12)	ミクロ経済学(4) マクロ経済学(4) データ処理入門(2) 経済学のための数学 (2)				
	選択 必修 入門科目 (4)	現代経済入門(2)経済史入門A(2)経済史入門B(2)経済思想入門(2) 経済統計入門(2)地域経済入門(2)生活経済入門(2)より、4単位以上修 得しなければならない。				
	選 択 経済外国語科目		経済外国語科目と専攻分野科目で44単位以上修得しなければなら ない。			
	88) 専攻分野科目		詳細は、「履修要項」を参照。			
	44) 関連分野科目	最低必要単位数を定めない。				
12単位分は、		選択必修科目および関連分野科目を含む選択科目の中から任意に履修した科目の 単位で充当。				
任意選択科目(8)		卒業に必要な単位数は128単位なので、不足分8単位については、共通教育科目(必修 科目を除く)、経済学科科目(必修科目を除く)、他学科で開講される科目(履修不可科目を 除く)の中から任意に履修した科目の単位および本学の単位認定制度により、任意選択 科目として認められた単位で充当すること。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目、瀬戸キャンパス で開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)				

(注)記載された単位数は各科目分類別の最低必要単位数を示している。

卒業に必要な単位数

経済学部経済学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **32**

必修科目: **6**

宗教科目

宗教論:2(1年次)

キリスト教概論:2(2年次)

体育科目

基礎体育A:1(1年次)

基礎体育B:1(1年次)

選択必修科目: **14**

「人間の尊厳」科目:各2~4年次)

テーマ科目

異文化との出会い:各2~4年次)

生命と環境:各2~4年次)

知識・言語と情報社会:各2~4年次)

モダンの系譜:各2~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目: **0**

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、考古学A、
考古学B、日本史A、日本史B、東洋史A、
東洋史B、西洋史A、西洋史B、美術A、美術B、
音楽A、音楽B、倫理学、人文地理学、自然地理学、
地誌概論、世界史、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、経済学A、
経済学B、数学A、数学B、物理学A、物理学B、
生命自然史、生命科学、化学、心理学A、
心理学B、科学技術論A、科学技術論B、
地球科学A、地球科学B、スポーツ科学論、
健康科学論、スポーツ科学演習、
スポーツ科学演習

各2(1~4年次)
基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技:各1(2~4年次)

情報科目

注 経済学部経済学科の学生による「情報リテラシー(2)」および「情報機器の操作(2)」の履修登録は認められない。

インターンシップ科目

インターンシップ研修:2(3年次)

外国語科目: **12**

必修外国語科目: **8**

選択必修外国語科目: **4**

経済学部

経済学部 経済学科

		1年次		2年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修外国語科目 (8単位)	英語	英語 オーラル・コミュニケーションⅠ(1) 英語 リーディングⅠ(1)	英語 オーラル・コミュニケーションⅡ(1) 英語 リーディングⅡ(1)	英語 オーラル・コミュニケーションⅢ(1) 英語 音声表現Ⅰ(1)	英語 オーラル・コミュニケーションⅣ(1) 英語 ライティングⅠ(1)
選択必修外国語科目 (4単位)	フランス語	フランス語 文法・講読Ⅰ) フランス語 会話・作文Ⅰ)	フランス語 文法・講読Ⅰ) フランス語 会話・作文Ⅰ)		
	ドイツ語	ドイツ語 文法・講読Ⅰ) ドイツ語 会話・作文Ⅰ)	ドイツ語 文法・講読Ⅰ) ドイツ語 会話・作文Ⅰ)		
	スペイン語	スペイン語 文法・講読Ⅰ) スペイン語 会話・作文Ⅰ)	スペイン語 文法・講読Ⅰ) スペイン語 会話・作文Ⅰ)		
	ポルトガル語	ポルトガル語 文法・講読Ⅰ) ポルトガル語 会話・作文Ⅰ)	ポルトガル語 文法・講読Ⅰ) ポルトガル語 会話・作文Ⅰ)		
	中国語	中国語 語法Ⅰ) 中国語 会話・作文Ⅰ)	中国語 語法Ⅰ) 中国語 会話・作文Ⅰ)		
	韓国朝鮮語	韓国朝鮮語 文法・講読Ⅰ) 韓国朝鮮語 会話・作文Ⅰ)	韓国朝鮮語 文法・講読Ⅰ) 韓国朝鮮語 会話・作文Ⅰ)		
	インドネシア語	インドネシア語 文法・講読Ⅰ) インドネシア語 会話・作文Ⅰ)	インドネシア語 文法・講読Ⅰ) インドネシア語 会話・作文Ⅰ)		
	ラテン語	ラテン語 文法Ⅰ) ラテン語 講読Ⅰ)	ラテン語 文法Ⅰ) ラテン語 講読Ⅰ)		
ギリシャ語	ギリシャ語 文法Ⅰ) ギリシャ語 講読Ⅰ)	ギリシャ語 文法Ⅰ) ギリシャ語 講読Ⅰ)			

学科科目 88

必修科目 : 28	演習科目 : 16
	基礎科目 : 12
選択必修科目 : 4	入門科目
選択科目 : 44	経済外国語科目
	専攻分野科目
選択科目 : 0	関連分野科目

任意選択科目 8

- (注Ⅰ)記載された単位数は各科目分類の最低必要単位を示している。
- (2) 共通教育科目の32単位、経済学科科目の88単位を合計した120単位は、卒業に必要な総単位数の128単位に達していない。この不足分の8単位については、共通教育科目(必修科目を除く)、経済学科科目(必修科目を除く)および他学科で開講される科目(履修不可科目を除く)の中から任意に履修した科目の単位で充当することができる。また、大学の単位認定制度により、任意選択科目として認められた単位で充当することができる。
- (3) 経済学科科目の最低必要単位数は88単位であるが、必修科目の28単位、選択必修科目の4単位、関連分野科目を除く選択科目の44単位を合計した76単位では12単位不足している。この12単位分は、選択必修科目および関連分野科目を含む選択科目の中から任意に履修した科目の単位で充当する。

経営学部経営学科履修要項

1. 経営学部経営学科学生は共通教育科目32単位以上、経営学科科目70単位以上を含め、合計128単位以上を履修しなければならない。

なお、卒業に必要な単位数128単位のうち、上記の共通教育科目32単位および経営学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、経営学科科目、共通教育科目および他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい(ただし、自由科目を除く)。

2. 共通教育科目(32単位)の履修は次のとおりである。

- (1) 必修科目(6単位)を修得しなければならない。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

- (2) 選択必修科目(14単位)を次のとおり修得しなければならない。

第1年次以降

次のテーマの中から1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または2テーマを選択して5科目10単位修得すること(但し、1テーマ2科目以上)。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項」を参照すること。

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から、2科目4単位以上修得すること。

- (3) 外国語科目(12単位)を次のとおり修得しなければならない。

必修外国語科目(8)

第1年次

英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)

経営学部 経営学科

英語 リーディング (1) 英語 ライティング (1)
第 2 年次
英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)
英語 リーディング (1) 英語 ライティング (1)

選択必修外国語科目 (4)

次の外国語の中から 1 種類の外国語を選択して、4 単位修得すること。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項」を参照すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、英語

3. 経営学科に開設する学科科目およびその体系は次のとおりである。なお、各科目の講義内容その他の詳細は「授業科目履修案内 (講義概要) 経済・経営・法」を参照すること。

演習科目

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)
(情報基礎) (外書講読) A
基礎演習 (2) 基礎演習 (2)
(外書講読) B (プレゼミナール)
経営演習 (4) 経営演習 (4)

スキル科目

[ビジネス英語]

ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)
ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)
ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)
ビジネス英語 A (1) ビジネス英語 B (1)

[簿記]

商業簿記 (2) 商業簿記 (2)
工業簿記 (2) 工業簿記 (2)

[情報・解析]

経営数学 (2)	経営統計学 (2)
情報処理 A (2)	情報処理 B (2)
データ解析 (2) (組織・労務)	データ解析 (2) (財務)
データ解析 (2) (マーケティング)	データ解析 (2) (会計)
データ解析 (2) (企業)	

専門科目

[基礎科目]

経済原論 (2)	経済原論 (2)
数学 (2)	数学 (2)
統計学 (2)	統計学 (2)

[コア科目]

総論・組織・労務論

経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
経営労務論 A (2)	経営労務論 B (2)
労使関係論 A (2)	労使関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)

財務論

経営財務論 A (2)	経営財務論 B (2)
投資論 A (2)	投資論 B (2)
資本市場論 A (2)	資本市場論 B (2)
国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
金融派生商品論 (2)	

マーケティング論

マーケティング論 A (2)	マーケティング論 B (2)
マーケティング・マネジメント A (2)	マーケティング・マネジメント B (2)

経営学部 経営学科

市場調査論 A (2) 市場調査論 B (2)
流通論 A (2) 流通論 B (2)

会計学

会計原理 (2) 会計原理 (2)
財務会計論 A (2) 財務会計論 B (2)
株式会社会計論A (2) 株式会社会計論B (2)
原価計算論 A (2) 原価計算論 B (2)
管理会計論 A (2) 管理会計論 B (2)
国際会計論 A (2) 国際会計論 B (2)
監査論 A (2) 監査論 B (2)
経営分析論 A (2) 経営分析論 B (2)
税務会計論 A (2) 税務会計論 B (2)

[一般科目]

経営史 A (2) 経営史 B (2)
企業論 A (2) 企業論 B (2)
グローバルビジネス論A (2) グローバルビジネス論B (2)
経営管理論 A (2) 経営管理論 B (2)
経営戦略論 A (2) 経営戦略論 B (2)
経営環境論 A (2) 経営環境論 B (2)
国際比較経営論A (2) 国際比較経営論B (2)
オペレーションズ・リサーチA (2) オペレーションズ・リサーチB (2)
経営情報論 A (2) 経営情報論 B (2)
経営倫理 (2) 法と経済学 (2)
商法 (2) 商法 (2)
英語ビジネスディスカッションA (2) 英語ビジネスディスカッションB (2)
英語ビジネス論文作成法A (2) 英語ビジネス論文作成法B (2)
経営学特殊講義A (2) 経営学特殊講義B (2)

[関連科目]

金融論 (2) 金融論 (2)
産業組織論 A (2) 産業組織論 B (2)
労働経済学 A (2) 労働経済学 B (2)
国際経済学 (2) 国際経済学 (2)

民法	(2)	民法	(2)
労働法 A	(2)	労働法 B	(2)
経済法 A	(2)	経済法 B	(2)
行政法	(2)	行政法	(2)
現代産業論 (総合商社論)	(2)	現代産業論 (都市銀行論)	(2)
現代産業論 (損害保険論)	(2)	現代産業論 (電子・電機産業論)	(2)
現代産業論 (自動車産業論)	(2)	現代産業論 (起業論)	(2)
現代産業論 (ツーリズム概論)	(2)	現代産業論 (先輩経営者と語る)	(2)
職業指導 A	(2)	職業指導 B	(2)

[その他]

英語ビジネス論文作成指導 (2)

4. 経営学科科目の必修・選択必修・選択・任意選択・自由の指定、単位数および履修年次は次のとおりである(カッコ内の数字は単位数を示す)。

必修科目

演習科目(8単位)

第3年次

経営演習 (4)

第4年次

経営演習 (4)

選択必修科目

演習科目(6単位以上)

第1年次

基礎演習(2) (情報基礎)

基礎演習(2) (外書講読)A

第2年次

基礎演習(2) (外書講読)B

基礎演習(2) (プレゼミナル)

経営学部 経営学科

スキル科目（8単位以上）

第1年次

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

商業簿記（2） 商業簿記（2）

情報処理 A（2）

[注：春学期に「基礎演習(情報基礎)」を履修後に履修]

第2年次

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

ビジネス英語 A（1） ビジネス英語 B（1）

工業簿記（2） 工業簿記（2）

経営数学（2） 経営統計学（2）

情報処理 B（2）

第3年次以降

データ解析（2） データ解析（2）
（組織・労務） （財務）

データ解析（2） データ解析（2）
（マーケティング） （会計）

データ解析（2）
（企業）

選択必修専門科目（24単位以上）

第1年次

[基礎科目]

経済原論（2） 経済原論（2）

数学（2） 数学（2）

[コア科目]

経営学総論 A（2） 経営学総論 B（2）

会計原理（2） 会計原理（2）

第2年次

[基礎科目]

統計学（2） 統計学（2）

[コア科目]

経営労務論 A（2） 経営労務論 B（2）

経営財務論 A（2） 経営財務論 B（2）

マーケティング論 A（2） マーケティング論 B（2）

選択科目

選択専門科目（24単位以上）

第2年次以降

〔コア科目〕

経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
資本市場論 A (2)	資本市場論 B (2)
流通論 A (2)	流通論 B (2)
財務会計論 A (2)	財務会計論 B (2)
株式会社会計論 A (2)	株式会社会計論 B (2)
原価計算論 A (2)	原価計算論 B (2)
国際会計論 A (2)	国際会計論 B (2)

〔一般科目〕

経営史 A (2)	経営史 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営管理論 A (2)	経営管理論 B (2)
経営環境論 A (2)	経営環境論 B (2)
経営情報論 A (2)	経営情報論 B (2)
経営倫理 (2)	
商法 (2)	商法 (2)

〔関連科目〕

民法 (2)	民法 (2)
--------	--------

第3年次以降

〔コア科目〕

労使関係論 A (2)	労務関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)
投資論 A (2)	投資論 B (2)
国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
金融派生商品論 (2)	
マーケティング・マネジメント A (2)	マーケティング・マネジメント B (2)
市場調査論 A (2)	市場調査論 B (2)
管理会計論 A (2)	管理会計論 B (2)
監査論 A (2)	監査論 B (2)
経営分析論 A (2)	経営分析論 B (2)
税務会計論 A (2)	税務会計論 B (2)

経営学部 経営学科

[一般科目]

グローバルビジネス論A (2)	グローバルビジネス論B (2)
経営戦略論 A (2)	経営戦略論 B (2)
国際比較経営論A (2)	国際比較経営論B (2)
オペレーションズ・リサーチA (2)	オペレーションズ・リサーチB (2)
英語ビジネスディスカッションA (2)	英語ビジネスディスカッションB (2)
英語ビジネス論文作成法A (2)	英語ビジネス論文作成法B (2)
経営学特殊講義A (2)	経営学特殊講義B (2)

[関連科目]

金融論 (2)	金融論 (2)
産業組織論 A (2)	産業組織論 B (2)
労働経済学 A (2)	労働経済学 B (2)
国際経済学 (2)	国際経済学 (2)
労働法 A (2)	労働法 B (2)
経済法 A (2)	経済法 B (2)
行政法 (2)	行政法 (2)
現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (都市銀行論)
現代産業論 (2) (損害保険論)	現代産業論 (2) (電子・電機産業論)
現代産業論 (2) (自動車産業論)	現代産業論 (2) (起業論)
現代産業論 (2) (ツーリズム概論)	現代産業論 (2) (先輩経営者と語る)
職業指導 A (2)	職業指導 B (2)

任意選択科目 (0 単位以上)

- ・ 共通教育科目 (必修科目を除く)
- ・ 他学部・他学科に開講される科目 (他学部・他学科履修不可科目を除く)
(注意) 他学部・他学科に開設される学科科目・学部共通科目で履修を許可された科目の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
- ・ 大学の単位認定制度により、任意選択科目として認め

られたもの。

自由科目（卒業必要単位数に算入されない科目）

- ・第4年次秋学期
- 英語ビジネス論文作成指導（2）

5. 、 またはA、Bが付された科目の履修登録方法は下記のとおりとする。

(1) 授業科目に 、 が付されている科目は、原則として、 の履修後でなければ を履修登録することができない。 、 が付されている科目も同様とする。

(2) 授業科目にA、Bが付されている科目は、AまたはBのいずれか一つを履修登録することができる。ただし、止むを得ない場合を除いて、A、Bともに履修登録することが望ましい。

6. 演習科目を各履修年次の指導教員制クラスとする。従って、第2年次を修了するまでは、毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない。

なお、6単位を越えて単位を修得した基礎演習科目は選択専門科目に振り替えることができる。

7. 「経営演習」および「経営演習」を履修登録するためには、下記の条件を満たさなければならない。

(1) 「経営演習」を履修登録するためには、原則として、共通教育科目および経営学科科目の単位を合計44単位以上修得し、併せて選択必修専門科目の単位を12単位以上修得していなければならない。

(2) 「経営演習」は、「経営演習」の単位修得後でなければこれを履修登録することができない。

8. 「経営演習」を履修している年度の途中で海外の大学に留学する場合には、当該留学先大学で履修した科目の単位をもって「経営演習」の単位に読み替えることができる。

9. 「経営演習」の単位を修得するためには卒業論文を作成し、指定された期日までにこれを提出しなければならない。

なお、卒業論文が満たすべき要件、提出期日等については別に定める。

10. 「データ解析」および「現代産業論」は、以下に示す単位数を上限として卒業必要単位数に算入することができる。上限を越えて単位を修得した科目は自由科目とする。
 - (1) 「データ解析」は3科目6単位まで。
 - (2) 「現代産業論」は2科目4単位まで。
11. 24単位を越えて修得した選択必修専門科目の単位は、選択専門科目に振り替えることができる。
12. 経営学部経営学科の学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「図書館司書・図書館司書教諭に関する科目」を自由科目として履修登録することができる。
13. 瀬戸キャンパスで開講される科目の履修は2年次からとする。ただし、科目毎の年次制限が優先される。また、キャンパスが異なる場合は、学則上同一名称の科目で複数回履修することを妨げない。なお、瀬戸キャンパスで履修した科目（共通教育、学部・学科）は任意選択科目として認める。
14. 経営学部経営学科の学生が1学期に履修登録することが許される単位数は22単位までとする（自由科目は含まない）。
なお、スキル科目は、第1年次は1学期につき2単位、第2年次以降は1学期につき4単位を越えて履修登録することはできない。また、他学部、他学科に開講される科目は、1学期につき4単位を越えて履修登録することはできない。
15. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。

基礎演習(プレゼミナル)・一部のスキル科目・ 経営演習 の予備登録について

基礎演習(プレゼミナル)、ビジネス英語スキル科目および経営演習 を履修するためには、事前に予備登録を行なう必要がある。予備登録の説明会は、基礎演習(プレゼミナル)については毎年5月頃に、スキル科目については毎年12月頃に、経営演習 については毎年11月頃に実施する予定なので、掲示には十分注意すること。

松山大学経営学部との単位互換協定について

松山大学経営学部との単位互換協定による特別聴講生を希望する学生は秋頃に教務課窓口で説明を受けること。

経営学部経営学科カリキュラム表

【経営学部 経営学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学科科目 (70単位以上)	必修科目	演習科目			経営演習 (4)	経営演習 (4)
	選択必修科目	演習科目	6単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 [第2年次を修了するまでは毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない] [6単位を超えて単位を修得した基礎演習科目は、選択専門科目に振り替えることができる]			
	必修科目	スキル科目	8単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。			
	選択必修科目	選択必修専門科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 [24単位を超えて単位を修得した選択必修専門科目は、選択専門科目に振り替えることができる]			
	選択科目	選択専門科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。			
任意選択科目			0単位以上 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 共通教育科目(必修科目を除く) 他学部・他学科に開講される科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) 大学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。			
自由科目			英語ビジネス論文作成指導2) 教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目(卒業に必要な単位には算入されない。)			

選択必修科目の「データ解析」は、3科目6単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

選択科目の「現代産業論」は、2科目4単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

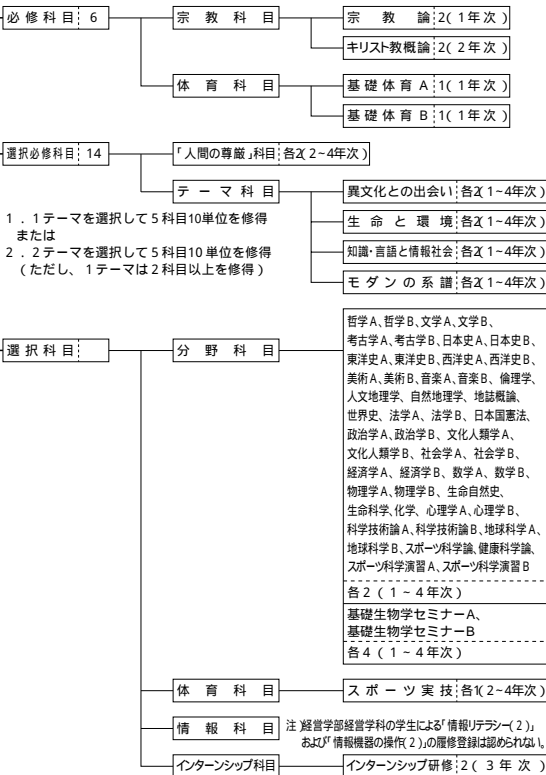
(注)卒業に必要な単位数128単位のうち、卒業に必要な共通教育科目32単位および卒業に必要な経営学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、経営学科科目、共通教育科目および他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい(ただし、自由科目を除く)。

卒業に必要な単位数

経営学部経営学科

総単位数 128

共通教育科目 32以上



経営学部

経営学部 経営学科

1 2

外国語科目 12

必修外国語科目 8

英語 8

英語、、、オラルコミュニケーション 各1
英語、リーディング 各1
英語、ライティング 各1

選択必修外国語科目 4

1 外国語 4 単位を修得すること。

フランス語 4

フランス語、文法・講読 各1
フランス語、会話・作文 各1

ドイツ語 4

ドイツ語、文法・講読 各1
ドイツ語、会話・作文 各1

スペイン語 4

スペイン語、文法・講読 各1
スペイン語、会話・作文 各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語、文法・講読 各1
ポルトガル語、会話・作文 各1

中国語 4

中国語、語法 各1
中国語、会話・作文 各1

韓国朝鮮語 4

韓国朝鮮語、文法・講読 各1
韓国朝鮮語、会話・作文 各1

インドネシア語 4

インドネシア語、文法・講読 各1
インドネシア語、会話・作文 各1

ラテン語 4

ラテン語、文法 各1
ラテン語、講読 各1

ギリシャ語 4

ギリシャ語、文法 各1
ギリシャ語、講読 各1

英語 4

英語、音声表現 各1
英語、、、総合 各1
英語、リーディング 各1

学科科目 70以上

必修科目 8

演習科目

経営演習、各4

選択必修科目 38

演習科目 6

基礎演習 各2

注) 6単位を超えて単位を修得した基礎演習科目は選択専門科目に振り替えることができる。

スキル科目 8

選択必修専門科目 24

注) 24単位を超えて修得した選択必修専門科目の単位は選択専門科目に振り替えることができる。

選択科目 24

選択専門科目 各2

任意選択科目 0以上

注) 卒業必要総単位数128単位のうち、卒業に必要な共通教育科目32単位および卒業に必要な学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、学科科目、共通教育科目および他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい。(ただし、自由科目を除く)。

法学部履修要項

1. 法学部学は、「共通教育科目」、「学科科目」および「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な132単位を履修しなければならない。このうち、共通教育科目については最低28単位、学科科目については最低92単位を履修しなければならない。卒業に必要な残り12単位については、学科科目、または、任意選択科目 共通教育科目のうち必修科目を除くすべての科目、他学部開講科目、および本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたものから、任意に科目を選んで履修して、単位を修得しなければならない。

2. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。
 - (1) 必修科目 (6単位)
 - 第1年次
 - 宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)
 - 基礎体育 B (1)
 - 第2年次
 - キリスト教概論 (2)
 - (2) 選択必修科目 (14単位)
 - 第1年次

下記のテーマから、1テーマを選択してその中から5科目10単位、または2テーマを選択してその中から5科目10単位(ただし、1テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」
 - 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から4単位以上

科目の詳細は、それぞれの要項を参照すること。
 - (3) 外国語科目 (8単位)
 - 必修科目 (4単位)
 - 英語 オラルコミュニケーションB (1) 英語 オラルコミュニケーションB (1)
 - 英語 リーディング (1) 英語 リーディング (1)
 - 選択必修科目 (4単位)

次の外国語の中から、一種類の外国語を選択して、4

法学部 法律学科

単位を修得すること（外国語科目の詳細については共通教育科目履修要項を参照すること）。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語

3. 共通教育科目の選択科目（分野科目、情報科目およびインターンシップ科目）で履修した単位は、日本国憲法（2）、法学A（2）、法学B（2）を除き、任意選択科目として12単位を限度に、卒業に必要な単位に算入される。
4. 法学部に開設する学科科目とその単位数および履修年次は次のとおりとする。（カッコ内の数字は単位数を示す）
A群（第1年次および第2年次以降配当科目）

第1年次

ベーシック演習（4）

憲法A（人権）（4） 憲法B（統治機構）（2）

民法総論（4） 刑法総論（4）

第2年次以降

ミドル演習（4） 行政法総論（4）

行政法各論（2） 行政救済法（2）

現代社会と刑法各論A（2） 現代社会と刑法各論B（2）

刑事訴訟法A（2） 刑事訴訟法B（2）

刑事政策（4）

国際法総論A（2） 国際法総論B（2）

物権法（4） 契約法（4）

不法行為法（2） 家族法（4）

企業法総論（2） 会社法（4）

民事訴訟法（2） 民事訴訟法（2）

労働法A（2） 労働法B（2）

国際私法A（2） 国際私法B（2）

法哲学A（2） 法哲学B（2）

法社会学（2） 日本法史（2）

西洋法史A（2） 西洋法史B（2）

英米法（2） ドイツ法（2）

フランス法 (2)	スペイン法 (2)
政治学原論 A (2)	政治学原論 B (2)
行政学 A (2)	行政学 B (2)
政治思想史 A (2)	政治思想史 B (2)
政治史 (2)	
国際政治学 A (2)	国際政治学 B (2)
国際機構論 (2)	
外書講読 A (2)	外書講読 B (2)
経済原論 A (2)	経済原論 B (2)

B群 (第3年次以降および第4年次配当科目)

第3年次以降

アドバンスト演習 (4)	税 財 政 法 (2)
環 境 法 (2)	情 報 法 (2)
国際法各論 A (2)	国際法各論 B (2)
国際経済組織法 (2)	
債 権 法 総 論 (2)	消 費 者 法 (2)
知的財産法 (2)	有 価 証 券 法 (4)
保 険 法 (2)	証 券 取 引 法 (2)
経 済 法 A (2)	経 済 法 B (2)
民事執行法 (2)	倒 産 法 (2)
国際取引法 (2)	社 会 保 障 法 (2)
企業法務 (2)	少 年 法 (2)
ジェンダーと法 (2)	法 と 経 済 学 (2)

第4年次

法学演習 A (2)	法学演習 B (2)
法学演習 C (2)	法学演習 D (2)
法学演習 E (2)	法学演習 F (2)
卒業論文演習 (2)	

5. 法学部学生は、A群で64単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な学科科目のうち、残り最低28単位については、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。

法学部 法律学科

6. 第1年次においてベーシック演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再履修することができない。
7. 第2年次においてミドル演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再履修することができない。
8. 科目名の末尾に「Ⅰ」「Ⅱ」のついた科目は、履修の順序を定めている積み上げ科目なので、「Ⅰ」を履修するためには、原則として「Ⅱ」のついた同じ名称の科目を履修しなければならない。科目名の末尾の「A」「B」だけが異なる科目は、履修の順序を定めていない独立した科目なので、それぞれ別個に履修することができる。
9. 法学演習（A、B、C、D、E、F）は、4年次において最大4単位まで履修することができる。
10. 法学部学生は、教職に関する科目、博物館に関する科目および司書・司書教諭に関する科目を自由科目として履修することができる（ただし、科目とも定められた履修年次を遵守しなければならない）。これらは、卒業に必要な単位に算入されない。
11. 第1・2・3年次生の履修可能単位数は春学期・秋学期それぞれ22単位（なお、2004年度以前の入学者は26単位）とし、第4年次以降の履修可能単位数は各期それぞれ30単位とする（なお通年科目の単位数については、各期ごとに単位数を割り振る。したがって、4単位の通年科目を登録した場合、その科目につき各期2単位を登録したものととして計算する）。ただし、自由科目（教職に関する科目、博物館に関する科目および司書・司書教諭に関する科目）については、上記の制限を受けずに履修することができる。

12. 欠席の時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

法学部 法律学科

法学部法律学科カリキュラム表

【法学部 法律学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			28単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 科 目 (92 単 位 以 上)	A 群		64単位以上修得しなければならない。 学科科目の卒業必要単位92単位のうち、上記64単位を差し引いた残り28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照			
	B 群		学科科目の卒業必要単位92単位のうち、A群で修得した64単位以上を差し引いた残り最大28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照			
任意選択科目			0～12単位 詳細は、「履修要項」を参照 共通教育科目のうち必修科目を除くすべての科目で、日本国憲法(2)、法学A(2)、法学B(2)以外の科目 他学部・他学科開講科目 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。			
自由科目			教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目			

卒業に必要な単位数

法学部法律学科

総単位数 132

共通教育科目 28以上

必修科目: 6

宗教科目

宗教論:2(1年次)

キリスト教概論:2(2年次)

体育科目

基礎体育A:1(1年次)

基礎体育B:1(1年次)

選択必修科目: 14

「人間の尊厳」科目:各2~4年次

テーマ科目

異文化との出会い:各2~4年次

生命と環境:各2~4年次

知識・言語と情報社会:各2~4年次

モダンの系譜:各2~4年次

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、倫理学、
人文地理学、自然地理学、地誌概論、
世界史、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技:各1(2~4年次)

情報科目

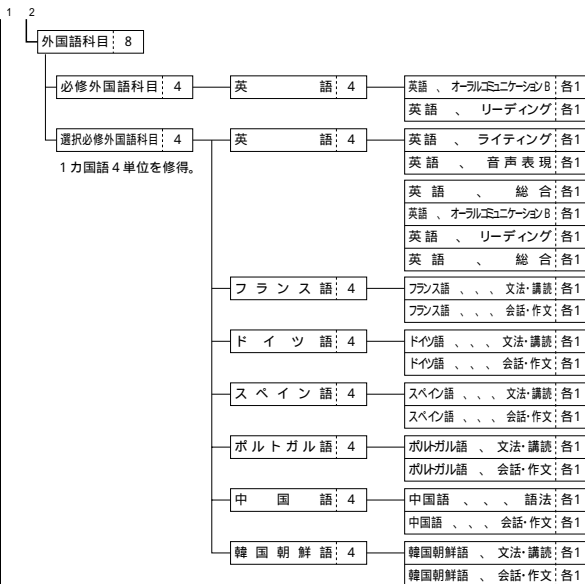
情報リテラシー:2(1~2年次)

情報機器の操作:2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修:2(3年次)

法学部 法律学科



学科科目 92以上

A 群	1・2～4年次	64単位以上
B 群	3～4年次	

任意選択科目（上記以外で卒業単位数に算入出来るもの） 0～12

- 共通教育科目のうち必修科目、日本国憲法、法学A、法学Bを除くすべての科目
- 他学部開講科目
- 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。

共通教育科目履修要項

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えると
きの履修成績評価は、「欠席過多(S)」による不合格とする。

日本語 ・ ・ ・ のうちのいずれかを履修する学生については、
履修年次は学科の指定によるものとする。

1. 宗教科目

(1) 卒業のためには、宗教科目4単位を修得しなければならない。

(2) つぎの宗教科目を開設する。

必修

第1年次

宗 教 論 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

2. 「人間の尊厳」科目

(1) 卒業のためには、「人間の尊厳」科目4単位以上を修得しなければならない。

ただし、4単位を超えて修得した「人間の尊厳」科目の
取り扱いについては、各学部・学科の履修要項に従う。

(2) つぎの「人間の尊厳」科目を開設する。

選択必修

第2年次以降

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(聖書の人間像) (哲学にみる生と死)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(国民国家の危機) (人権論の現在)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(キリスト教における人間観) (人間の尊厳の思想史)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(自然法思想における人間観) (少年保護と法的規制)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(文学と映画における人間の尊厳) (民族問題における人間の尊厳)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(選挙と民主主義) (近代教育の理念と現実)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(人間の成長発達と尊厳) (社会倫理における人間の尊厳: 戦争と平和)

人間の尊厳 (2) 人間の尊厳 (2)
(哲学・倫理学における人間の尊厳) (高齢期の生き方)

3. 外国語科目

(1) 外国語科目の修得については、各学部・学科の定めるところによる。

(2) 総合政策学部学生ならびに数理情報学部学生のために、つぎの外国語科目を開設する。

なお、日本語を外国語として履修する学生については、履修上の要件を別に定める。

総合政策学部学生のための外国語科目

必修 (数理情報学部学生は履修できない)

英語コミュニケーション A (3) 英語リーディング (1)

英語コミュニケーション A (3) 英語リーディング (1)

選択必修 (数理情報学部学生は、総合政策学部の許可を得て履修できる場合がある)

中国語 (4) フランス語 (4)

スペイン語 (4) ドイツ語 (4)

韓国朝鮮語 (4) 外国語 (1)

外国語 (5)

選択 (数理情報学部学生は、総合政策学部の許可を得て履修できる場合がある)

中国語 (2) フランス語 (2)

スペイン語 (2) ドイツ語 (2)

韓国朝鮮語 (2) 英語リーディング (2)

数理情報学部学生のための外国語科目

必修 (総合政策学部学生は履修できない)

英語コミュニケーション B (2) 英語リーディング (1)

英語コミュニケーション B (2) 英語リーディング (1)

英 語	A (1)	英 語	B (1)
英 語	A (1)	英 語	B (1)

瀬戸キャンパス学部学生のための外国語科目

選択

上 級 英 語 A (1)	上 級 英 語 B (1)
上 級 英 語 C (1)	上 級 英 語 D (1)
TOEIC対策英語 A (1)	TOEIC対策英語 B (1)
TOEIC対策英語 C (1)	TOEFL対策英語 A (1)
TOEFL対策英語 B (1)	上 級 中 国 語 A (1)
上 級 中 国 語 B (1)	上級フランス語 A (1)
上級フランス語 B (1)	上級スペイン語 A (1)
上級スペイン語 B (1)	上 級 ド イ ツ 語 A (1)
上 級 ド イ ツ 語 B (1)	上 級 韓 国 朝 鮮 語 A (1)
上 級 韓 国 朝 鮮 語 B (1)	

日本語を外国語として履修する学生のために開設する日本語科目

日本語 (文法 A) (6)	日本語 (文法 B) (4)
日本語 (運用) (2)	日本語 (読解) (4)
日本語 (表現技術) (4)	日本語 (総合) (2)
日本語 (読解) (2)	日本語 (表現技術 A) (2)
日本語 (表現技術 B) (2)	日本語 (総合) (2)

4 . 体育科目

(1) 卒業のためには、体育科目 2 単位以上を修得しなければならない。

ただし、体育科目のうちの選択科目を修得した場合の取り扱いについては、各学部・学科の履修要項に従う。

(2) つぎの体育科目を開設する。

必修

第 1 年次

基 礎 体 育 A (1)	基 礎 体 育 B (1)
-----------------	-----------------

選択

第 2 年次以降

ス ポ ー ツ 実 技 (1) (ヘルススポーツ)	ス ポ ー ツ 実 技 (1) (ウェルネススポーツ)
--------------------------------	----------------------------------

スポーツ実技(1) スポーツ実技(1)
(ライフロングスポーツ) (リフレッシュスポーツ)

スポーツ実技(1) スポーツ実技(1)
(アウトドアスポーツ) (レジャースポーツ)

スポーツ実技(2)
(マリンスポーツ)

- (3) 基礎体育A、基礎体育Bともに、各学期の第1週に履修方法についてのガイダンスを実施し、コースの選択を行う。
- (4) 体育科目については、欠席時数が授業予定時数の20%を超える場合には、「欠席過多(S)」による不合格とする。

5. テーマ科目

- (1) 卒業のためには、つぎのテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位以上を修得するか、または2テーマを選択して5科目10単位以上を修得することとする。ただし、後者の場合には、1テーマについて2科目以上を修得するものとする。ただし、日本語を外国語として履修する学生については、各学部・学科の履修要項に従う。また、超過して修得した単位の取り扱いについては、各学部学科の履修要項に従うものとする。

「異文化との出会い」 「生命と環境」
「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

- (2) テーマ科目として、つぎの科目を開設する。

選択必修

第1年次以降

「異文化との出会い」

異文化との出会い(2) 異文化との出会い(2)
(キリスト教との出会い) (文学にみる異文化受容)

異文化との出会い(2) 異文化との出会い(2)
(社会言語学から見た異文化) (南アフリカを知る)

異文化との出会い(2) 異文化との出会い(2)
(フランス語圏文化) (日本文化論)

異文化との出会い (2) 異文化との出会い (2)
(東南アジア文化論) (異文化体験から学ぶ)

異文化との出会い (2)
(企業と諸外国の異文化コミュニケーションの取り方)

「生命と環境」

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(環境倫理) (経済と環境問題)

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(地球環境のゆくえ) (自然環境と生物)

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(生命と法律問題) (生命倫理)

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(キリスト教と環境) (地域開発と環境保全)

生命と環境 (2)
(生命の科学)

「知識・言語と情報社会」

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(社会現象とOR) (情報倫理)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(知識と意識) (偶然の中の規則性)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(翻訳と理解) (言語と表現)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(情報社会とコンピュータネットワーク) (ライフプランニングと投資)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(情報社会におけるソフトウェアの役割) (ことばとは)

「モダンの系譜」

モダンの系譜 (2) モダンの系譜 (2)
(国民国家の諸問題) (近代女性思想)

モダンの系譜 (2) モダンの系譜 (2)
(近代科学史) (科学技術論)

モダンの系譜 (2) モダンの系譜 (2)
(社会科学のパラダイム) (労働観の変遷)

モダンの系譜 (2) モダンの系譜 (2)
(税金と社会) (現代社会の諸問題と心理)

モダンの系譜(2) モダンの系譜(2)
(モダンからポストモダンへ) (都市論)

6. 分野科目

(1) 分野科目の中から修得した単位の取り扱いは、各学部・学科の履修要項に従うものとする。

(2) 分野科目として、つぎの科目を開設する。

第1年次以降

選択科目

哲	学(2)	文	学(2)								
日	本	史(2)	美	術(2)							
音	楽(2)	法	学(2)								
政	治	学(2)	文	化	人	類	学(2)				
社	会	学(2)	経	済	学(2)						
数	学(2)	物	理	学(2)							
生	物	学(2)	化	学(2)							
心	理	学(2)	地	球	科	学(2)					
ス	ポ	ー	ツ	科	学	論(2)	健	康	科	学	論(2)

7. アカデミックリテラシー科目

(1) アカデミックリテラシー科目は、総合政策学部学生のみが履修できるものとする。

(2) アカデミックリテラシー科目として、つぎの科目を開設する。

必修(総合政策学部学生のみ適用)

第1年次

基 礎 演 習(2) コンピュータ基礎演習(1)
コンピュータ基礎演習(1)

8. インターンシップ科目

(1) インターンシップ科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。

(2) インターンシップ科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

選択

第3年次

インターンシップ研修 (2)

- (3) 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
- (4) インターンシップ研修は、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

総合政策学部総合政策学科履修要項

～外国語科目「日本語・・・」を履修しない学生に適用～

1. 総合政策学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」、「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な130単位を修得しなければならない。このうち、共通教育科目については38単位が、学科科目については80単位が含まれていなければならない。

この履修要項は外国語科目「日本語・・・」を履修しない学生に適用する。

2. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。(38単位)

(1) 必修科目(10単位)

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1) 基礎演習 (2)

第1年次春学期

コンピュータ基礎演習 (1)

第1年次秋学期

コンピュータ基礎演習 (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

(2) 選択必修科目(14単位)

第1年次以降

次のテーマの中から、1テーマを選択して5科目10単位を修得するか、または2テーマを選択して5科目10単位を修得すること。ただし、後者の場合には、1テーマは2科目以上とする。

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

総合政策学部 総合政策学科

(3) 外国語科目 (12単位)

必修科目 (8単位)

第1年次

英語コミュニケーション A (3) 英語リーディング (1)

英語コミュニケーション A (3) 英語リーディング (1)

選択必修科目 (4単位または6単位)

第2年次

中国語 (4) フランス語 (4)

スペイン語 (4) ドイツ語 (4)

韓国朝鮮語 (4) 外国語 (1)

外国語 (中国語) (5) 外国語 (韓国語) (5)

外国語 (マレー・インドネシア語) (5) 外国語 (ベトナム語) (5)

外国語 (フィリピン語) (5) 外国語 (タイ語) (5)

外国語 ・ は短期アジア留学プログラムとして開講し、外国語 は事前・事後指導、外国語 は海外における語学研修 (中国語、韓国語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、マレー・インドネシア語) とする。

また、外国語 ・ は分割して履修することはできない。

選択科目

第1年次

TOEIC対策英語 A (1) TOEIC対策英語 B (1)

TOEIC対策英語 C (1) TOEFL対策英語 A (1)

TOEFL対策英語 B (1)

第2年次

中国語 (2)* フランス語 (2)*

スペイン語 (2)* ドイツ語 (2)*

韓国朝鮮語 (2)* 英語リーディング (2)

第3年次

上級英語 A (1) 上級英語 B (1)

上級英語 C (1) 上級英語 D (1)

上級中国語 A (1) 上級中国語 B (1)

上級フランス語 A (1) 上級フランス語 B (1)

上級スペイン語 A (1) 上級スペイン語 B (1)

上級ドイツ語 A (1) 上級ドイツ語 B (1)

上級韓国朝鮮語 A (1) 上級韓国朝鮮語 B (1)

*の科目（中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、韓国朝鮮語）のいずれかを履修していないと、それぞれの言語の総合政策外国文献講読を履修することができない。ただし、外国語・（中国語）および（韓国語）を履修した場合には、総合政策外国文献講読のそれぞれ中国語セクション、および韓国朝鮮語のセクションを履修することができる。

（４）選択科目

第１年次以降

哲	学（２）	文	学（２）
日	本	史（２）	美
音	楽（２）	法	術（２）
政	治	学（２）	学（２）
社	会	学（２）	文化人類学（２）
数	学（２）	物	理
生	物	学（２）	学（２）
心	理	学（２）	化
ス	ポ	ー	ツ
科	学	論（２）	地
ス	ポ	ー	ツ
科	学	論（２）	理
ス	ポ	ー	ツ
科	学	論（２）	学
ス	ポ	ー	ツ
科	学	論（２）	論
ス	ポ	ー	ツ
科	学	論（２）	論

第２年次以降

ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）	ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）					
（	ヘル	ス	ス	ポ	ー	ツ	）	（	ウェ	ル	ネ	ス	ス	ポ	ー	ツ	）					
ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）	ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）					
（	ライ	フ	ロ	ン	グ	ス	ポ	ー	ツ	）	（	リ	フ	レ	ッ	シ	ユ	ス	ポ	ー	ツ	）
ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）	ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）					
（	アウト	ド	ア	ス	ポ	ー	ツ	）	（	レ	ジャ	ー	ス	ポ	ー	ツ	）					
ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	２	）	ス	ポ	ー	ツ	実	技	（	１	）					
（	マリ	ン	ス	ポ	ー	ツ	）	（	冬	季	の	ス	ポ	ー	ツ	）						

第３年次以降

インターンシップ研修（２）

なお、必要な単位を超えて修得した単位は共通教育科目または任意選択科目として卒業に必要な単位数に算入することができる。

総合政策学部 総合政策学科

3. 総合政策学部学生は、総合政策学科学科科目の中から、必修科目を12単位、
選択必修科目の〔基礎科目〕を10単位以上、
選択必修科目の〔方法論科目〕を4単位以上、
選択必修科目の〔文明論科目〕を12単位以上、
選択必修科目の〔総合政策科目〕を12単位以上、
選択科目を30単位以上修得し、合計で80単位を修得しなければならない。
ただし、ここでいう〔文明論科目〕には、必修科目の文明論概論は含まれない。
ただし、ここでいう〔総合政策科目〕には、必修科目の総合政策入門は含まれない。
4. 総合政策学部学生は、総合政策学科学科科目を、次に示した履修年次に従って、履修するものとする。

(1) 必修科目 (12単位)

第1年次

文明論概論 (2) 総合政策入門 (2)

第3年次

総合政策プロジェクト研究・ (各2)

第4年次

総合政策プロジェクト研究・ (各2)

(2) 選択必修科目 (38単位)

〔基礎科目〕(10単位)

第1年次以降

環境学概論 (2) マクロ経済学 (2)

ミクロ経済学 (2) 産業心理学 (2)

政治学概論 (2) 経営学 (2)

行政学 (2) 国際関係論 (2)

社会学概論 (2) 会計学 (2)

環境生物学 (2) 民法 (2)

憲法 (2) 簿記原理 (2)

行政法 (2)

第2年次

政策演習(2)

第2年次以降

統計学(2) OR 概論(2)

財政学(2)

統計解析履修のためには、統計学を履修することが必要である。

[方法論科目](4単位)

第2年次

統計解析(2)

ただし、統計解析を履修するためには統計学を履修していなければならない。

第3年次

総合政策数量的アプローチ(2)

ただし、総合政策数量的アプローチを履修するためには統計学を履修していなければならない。

総合政策外国文献講読(2)

ただし、英語以外のセクションを履修するためには次の要件を満たす必要がある。

中国語のセクションを履修するためには、中国語

・ を履修しているか、あるいは外国語 ・ で

中国語のセクションを履修していなければならない。

フランス語のセクションを履修するためには、フランス語 ・ を履修していなければならない。

スペイン語のセクションを履修するためには、スペイン語 ・ を履修してなければならない。

ドイツ語のセクションを履修するためには、ドイツ語 ・ を履修していなければならない。

韓国朝鮮語のセクションを履修するためには、韓国朝鮮語 ・ を履修しているか、あるいは外国語

・ で韓国語のセクションを履修していなければならない。

第3年次以降

空間情報分析法(2) 総合政策外国文献講読(2)

ただし、総合政策外国文献講読 履修登録のためには、総合政策外国文献講読 を履修することが必要

総合政策学部 総合政策学科

である。

[文明論科目] (12単位)

第1年次以降

近 現 代 史 (2)	地 域 文 明 論 A (2) (アジ ア)
地 域 文 明 論 B (2) (アジ ア)	地 域 文 明 論 C (2) (ヨー ロ ッ パ)
地 域 文 明 論 D (2) (ヨー ロ ッ パ)	地 域 文 明 論 E (2) (ア メ リ カ)
地 域 文 明 論 F (2) (ア メ リ カ)	地 域 文 明 論 G (2) (ア フ リ カ)
地 域 文 明 論 H (2) (アジ ア)	地 域 文 明 論 I (2) (ヨー ロ ッ パ)
地 域 文 明 論 J (2) (ア メ リ カ)	地 域 文 明 論 K (2) (中 東)
環 境 と 文 明 (2)	宗 教 と 文 明 (2)
ジェンダーと文明 (2)	産 業 文 明 論 (2)
比 較 社 会 論 (2)	エ コ シ ス テ ム 論 (2)
国 家 と 宗 教 (2)	政 策 倫 理 (2)

[総合政策科目] (12単位)

総合政策論 ・ ・ ・ から計12単位を修得すること。

第1年次以降

総 合 政 策 論 (2) (現 代 文 明 論)	総 合 政 策 論 (2) (現 代 国 家 論)
総 合 政 策 論 (2) (グローバルガバナンス)	

第2年次以降

総 合 政 策 論 (2) (現 代 企 業 論)	総 合 政 策 論 (2) (公 共 政 策 論)
総 合 政 策 論 (2) (環 境 政 策 論)	総 合 政 策 論 (2) (国 際 相 互 依 存 論)
総 合 政 策 論 (2) (人 的 資 源 論)	総 合 政 策 論 (2) (組 織 行 動 論)
総 合 政 策 論 (2) (公 衆 衛 生 論)	総 合 政 策 論 (2) (環 境 行 政 論)

第3年次以降

総合政策論 (2) 総合政策論 (2)
(総合政策原論) (先進国政治の課題)

総合政策論 (2) 総合政策論 (2)
(国際環境と日本) (労働問題と政策)

総合政策論 (2) 総合政策論 (2)
(政治構造と社会変動) (政治変動論)

(3) 選択科目 (30単位)

第1年次以降

総合政策学外体験プログラムA (国内) (2)

総合政策学外体験プログラムB (海外) (2)

第2年次以降

国際社会と法A (2) 国際社会と法B (2)

日本政治論 (2) 人権政策論 (2)

環境保全論 (2) 経済政策論 (2)

現代家族と法 (2) アメリカの外交 (2)

アメリカの経済 (2) アジア政治論 (2)

政治過程論 (2) 国際開発論 (2)

官僚機構論 (2) 労働経済論 (2)

政治行動論 (2) 公会計論 (2)

地球政治論 (2) 地方財政政策論 (2)

地方財政分析論 (2) 環境社会学 (2)

現代社会における共生と言語 (2)

第3年次

環境調査法 (2)

第3年次以降

国際政治行政論 (2) 国際貿易論 (2)

国際金融論 (2) 地域経済論 (2)

地域政治変動論 (2) 都市環境論 (2)

アジア国際関係論 (2) 法政策比較論 (2)

環境経済学 (2) 地球環境論 (2)

アジア移民論 (2) 日本経営論 (2)

中国政治論 (2) 環境法制論 (2)

経済政策のモデル解析 (2) 国際組織論 (2)

国際経営戦略論 (2) 国際財務論 (2)

総合政策学部 総合政策学科

立法過程論(2) 経営財務論(2)
非営利組織論(2) 地方自治論(2)
マーケティング論(2) 国際戦略論(2)
経済援助論(2) 監査論(2)
経営労務論(2) 開発政治論(2)
経営分析論(2) 環境会計論(2)
社会調査法(2) 環境衛生学(2)

5. 卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は任意選択科目の中から履修するものとする。
 - (1) 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて履修したものについては、任意選択科目に振り替える。
 - (2) 任意選択科目として、共通教育科目、学科科目、履修可能な瀬戸キャンパスの他学部・他学科開講科目、履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)を履修することができる。ただし、他学部・他学科開講科目の履修に際しては、該当学部・学科の履修年次を遵守しなければならない。
 - (3) 総合政策学部総合政策学科学生については、「履修可能な数理情報学部学部共通科目」、「履修可能な情報通信学科学科科目」、「履修可能な数理科学科学科科目」、「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」の中から8単位までを任意選択科目に含めることを認める。
6. 総合政策学部総合政策学科学生が履修登録できる単位数は、卒業に必要な単位数として算入されるものについては、学期あたり24単位までとする。
7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

8. 総合政策学科学生が総合政策プロジェクト研究 、 、 、 を履修するためには以下の条件を満たさなくてはならない。
- (1) 総合政策プロジェクト研究 を履修するためには、原則として、卒業に必要な単位数を50単位以上修得していなければならない。
 - (2) 総合政策プロジェクト研究 は総合政策プロジェクト研究 の単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究 は総合政策プロジェクト研究 の単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究 は総合政策プロジェクト研究 の単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究 と同一担当者のセクションに限り履修することができる。
9. 総合政策プロジェクト研究 の単位を修得するためには、卒業論文があるいはそれにかわるリサーチペーパー、調査報告書、プロジェクト計画書を提出して合格しなければならない。詳細は別途定める。
10. 総合政策学部総合政策学科学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には算入されない。

名古屋学院大学経済学部政策学科との単位互換協定について
本学総合政策学部と名古屋学院大学経済学部政策学科は単位互換協定を締結しています。総合政策学部の2年次生以上で、名古屋学院大学経済学部政策学科科目の聴講を希望する学生は、第2課(教務担当)窓口で説明を受けること。

総合政策学部総合政策学科カリキュラム表

【総合政策 学部 総合政策学科】

(日本語を履修しない学生)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		詳細は、「共通教育科目履修要項」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照				
学 科 目	必修科目	文明論概論(2) 総合政策入門(2)			総合政策プロジェクト 研究 ・ (各2)	総合政策プロジェクト 研究 ・ (各2)
	基 礎 科 目	10単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。				
	選 択 必 修 科 目	方法論 科 目	4単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	文 明 論 科 目	12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。				
	総 合 政 策 科 目	12単位以上を修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。				
選 択 科 目	30単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。					
任意選択科目		卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は、任意選択科目から修得するものとする。 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。 「履修可能な数理情報学部学部共通科目」「履修可能な情報通信学科科目」「履修可能な数理科学科科目」および「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」については、8単位まで任意選択科目の単位として認める。				
自由科目		「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」 (卒業に必要な単位には算入されない。)				

卒業に必要な単位数〔日本語を履修しない学生〕

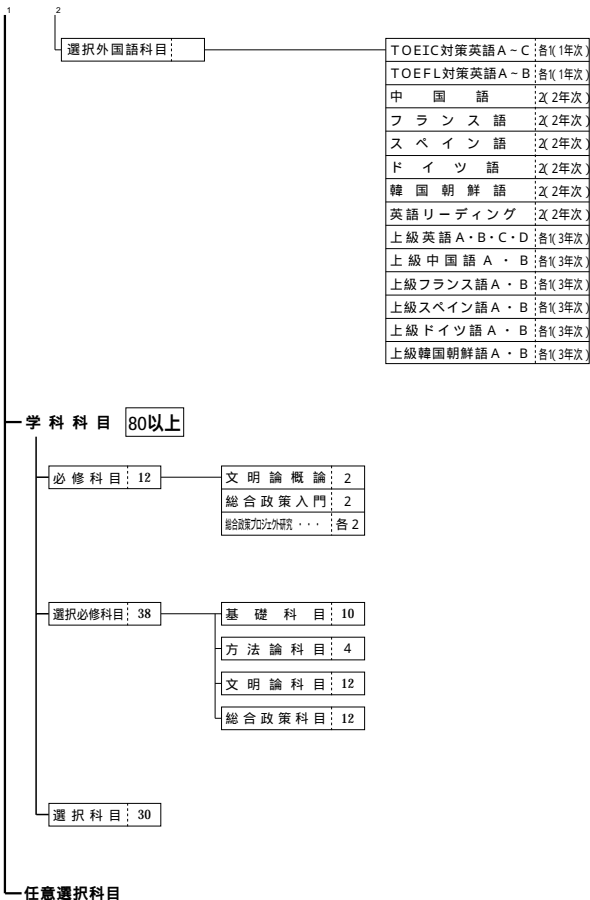
総合政策学部総合政策学科

総単位数 130

共通教育科目 38以上

必修科目 10	宗教科目	宗教論	2(1年次)
		キリスト教概論	2(2年次)
	体育科目	基礎体育A	1(1年次)
		基礎体育B	1(1年次)
	アカデミックリテラシー科目	基礎演習	2(1年次)
		コンピュータ基礎演習	1(1年次)
		コンピュータ基礎演習	1(1年次)
	選択必修科目 4	「人間の尊厳」科目 各2(2-4年次)	
	選択必修科目 10	テーマ科目	異文化との出会い
生命と環境			各2(1-4年次)
知識・言語と情報社会			各2(1-4年次)
モダンの系譜			各2(1-4年次)
1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得。 または 2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得。 (ただし、1テーマは2科目以上を修得)			
選択科目	分野科目	哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、政治学、文化人類学、社会学、経済学、数学、物理学、生物学、化学、心理学、地球科学、スポーツ科学論、健康科学論 各2(1-4年次)	
		体育科目	スポーツ実技 1,2(2-4年次)
	インターンシップ科目	インターンシップ研修 2(3年次)	
外国語科目 12または14			
必修外国語科目 8	英語 8	英語コミュニケーション A、A+	各2(1年次)
		英語リーディング	各1(1年次)
選択必修外国語科目 4または6		中国語	4(2年次)
		フランス語	4(2年次)
		スペイン語	4(2年次)
		ドイツ語	4(2年次)
		韓国朝鮮語	4(2年次)
		外国語	1,2(2年次)
外国語、の2科目6単位、または中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、韓国朝鮮語から1科目4単位を修得すること。			

総合政策学部 総合政策学科



総合政策学部総合政策学科履修要項

～外国語科目「日本語・・・」を履修する学生に適用～

1. 総合政策学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」、「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な130単位を修得しなければならない。
この履修要項は外国語科目「日本語・・・」のうちの一部またはすべてを履修する学生に適用する。
2. 日本語を外国語として履修する学生については、学習歴と日本語能力等を勘案して、日本語未修者、日本語中級者、日本語上級者のうちのいずれかに分類する。
日本語未修者については、共通教育科目を54単位、学科科目を76単位修得するものとする。
日本語中級者については、共通教育科目を44単位、学科科目を80単位、任意選択科目を6単位修得するものとする。
日本語上級者については、共通教育科目を38単位、学科科目を80単位、任意選択科目を12単位修得するものとする。

3. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。

(1) 必修科目 (10単位)

第1年次

宗 教 論 (2) キリスト教概論 (2)
 基礎体育 B (2) 基礎体育 B (2)
 コンピュータ基礎演習 (2) コンピュータ基礎演習 (2)
 基礎演習 (2)

(2) 選択必修科目 (日本語未修者の場合は12単位、日本語中級者・上級者の場合は14単位)

次のテーマの中から、1テーマを選択して5科目10単位修得 (日本語未修者の場合は4科目8単位) するか、または2テーマを選択して5科目10単位を修得 (日本語未修者の場合は4科目8単位) すること。ただし、後者の場合には、1テーマは2科目以上 (日本語未修者の場合は、この制限は設けない) とする。

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

(3) 外国語科目

日本語未修者の必修科目(32単位)

日本語(文法A)(6) 日本語(文法B)(4)
日本語(運用)(2) 日本語(読解)(4)
日本語(表現技術)(4) 日本語(総合)(2)
日本語(読解)(4) 日本語(表現技術A)(2)
日本語(表現技術B)(2) 日本語(総合)(2)

日本語中級者の必修科目(20単位)

日本語(読解)(4) 日本語(表現技術)(4)
日本語(総合)(2) 日本語(読解)(4)
日本語(表現技術A)(2) 日本語(表現技術B)(2)
日本語(総合)(2)

日本語上級者の必修科目(10単位)

日本語(読解)(4) 日本語(表現技術A)(2)
日本語(表現技術B)(2) 日本語(総合)(2)

日本語上級者の選択必修科目(2単位)

英語リーディング(1) 英語リーディング(1)
英語リーディング(2) 英語コミュニケーションA(3)
英語コミュニケーションA(3) 上級英語A(1)
上級英語B(1) 上級英語C(1)
上級英語D(1)

(4) 選択科目(日本語中級者と日本語上級者の場合)

哲 学(2) 文 学(2)
日 本 史(2) 美 術(2)
音 楽(2) 法 学(2)
政 治 学(2) 文 化 人 類 学(2)
社 会 学(2) 経 済 学(2)
数 学(2) 物 理 学(2)
生 物 学(2) 化 学(2)
心 理 学(2) 地 球 科 学(2)
ス ポ ー ツ 科 学 論(2) 健 康 化 学 論(2)

スポーツ実技(1) (ヘルススポーツ)	スポーツ実技(1) (ウェルネススポーツ)
スポーツ実技(1) (ライフロングスポーツ)	スポーツ実技(1) (リフレッシュスポーツ)
スポーツ実技(1) (アウトドアスポーツ)	スポーツ実技(1) (レジャースポーツ)
スポーツ実技(2) (マリンスポーツ)	スポーツ実技(1) (冬季のスポーツ)
インターンシップ研修(2)	

なお、必要な単位を超えて修得した単位は共通教育科目または任意選択科目として卒業に必要な単位数に算入することができる。

4. 総合政策学部学生は、総合政策学科学科科目を履修するものとする。

(1) 必修科目(12単位)

文明論概論(2) 総合政策入門(2)
総合政策プロジェクト研究 . . . (各2)

(2) 選択必修科目

[基礎科目](12または14単位)

日本語未修者は12単位を修得すること。日本語中級者・上級者は14単位を修得すること。

総合政策外国文献講読(2) 総合政策外国文献講読(2)
統計解析(2) 総合政策数量的アプローチ(2)

ただし、統計解析あるいは総合政策数量的アプローチを履修するためには、統計学を履修することが必要である。

また総合政策外国文献講読を履修するためには、総合政策外国文献講読を履修することが必要である。

統計学(2) 環境学概論(2)
マクロ経済学(2) ミクロ経済学(2)
産業心理学(2) 政治学概論(2)
経営学(2) 行政学(2)
国際関係論(2) 社会学概論(2)
会計学(2) 環境生物学(2)

総合政策学部 総合政策学科

民 法 (2)	憲 法 (2)
簿 記 原 理 (2)	行 政 法 (2)
政 策 演 習 (2)	O R 概 論 (2)
財 政 学 (2)	空間情報分析法 (2)

[文明論科目] (12単位)

近 現 代 史 (2)	地 域 文 明 論 A (2) (アジア)
地 域 文 明 論 B (2) (アジア)	地 域 文 明 論 C (2) (ヨーロッパ)
地 域 文 明 論 D (2) (ヨーロッパ)	地 域 文 明 論 E (2) (アメリカ)
地 域 文 明 論 F (2) (アメリカ)	地 域 文 明 論 G (2) (アフリカ)
地 域 文 明 論 H (2) (アジア)	地 域 文 明 論 (2) (ヨーロッパ)
地 域 文 明 論 J (2) (アメリカ)	地 域 文 明 論 K (2) (中東)
環 境 と 文 明 (2)	宗 教 と 文 明 (2)
ジェンダーと文明 (2)	産 業 文 明 論 (2)
比 較 社 会 論 (2)	エ コ シ ス テ ム 論 (2)
国 家 と 宗 教 (2)	政 策 倫 理 (2)

[総合政策科目] (12単位)

総 合 政 策 論 (2) (現 代 文 明 論)	総 合 政 策 論 (2) (現 代 国 家 論)
総 合 政 策 論 (2) (グローバルガバナンス)	総 合 政 策 論 (2) (現 代 企 業 論)
総 合 政 策 論 (2) (公 共 政 策 論)	総 合 政 策 論 (2) (環 境 政 策 論)
総 合 政 策 論 (2) (国 際 相 互 依 存 論)	総 合 政 策 論 (2) (人 的 資 源 論)
総 合 政 策 論 (2) (組 織 行 動 論)	総 合 政 策 論 (2) (公 衆 衛 生 論)
総 合 政 策 論 (2) (環 境 行 政 論)	総 合 政 策 論 (2) (総 合 政 策 原 論)

総合政策論 (2) 総合政策論 (2)
(先進国政治の課題) (国際環境と日本)

総合政策論 (2) 総合政策論 (2)
(労働問題と政策) (政治構造と社会変動)

総合政策論 (2)
(政治変動論)

(3) 選択科目(28または30単位)

日本語未修者は28単位。それ以外は30単位。

総合政策学外体験プログラムA(国内)(2)

総合政策学外体験プログラムB(海外)(2)

国際社会と法A(2) 国際社会と法B(2)

日本政治論(2) 人権政策論(2)

環境保全論(2) 経済政策論(2)

現代家族と法(2) アメリカの外交(2)

アメリカの経済(2) アジア政治論(2)

政治過程論(2) 国際開発論(2)

官僚機構論(2) 労働経済論(2)

政治行動論(2) 公会計論(2)

地球政治論(2) 地方財政政策論(2)

地方財政分析論(2) 環境社会学(2)

現代社会における共生と言語(2) 環境調査法(2)

国際政治行政論(2) 国際貿易論(2)

国際金融論(2) 地域経済論(2)

地域政治変動論(2) 都市環境論(2)

アジア国際関係論(2) 法政策比較論(2)

環境経済学(2) 地球環境論(2)

アジア移民論(2) 日本経営論(2)

中国政治論(2) 環境法制論(2)

経済政策のモデル解析(2) 国際組織論(2)

国際経営戦略論(2) 国際財務論(2)

立法過程論(2) 経営財務論(2)

非営利組織論(2) 地方自治論(2)

マーケティング論(2) 国際戦略論(2)

経済援助論(2) 監査論(2)

経営労務論(2) 開発政治論(2)

総合政策学部 総合政策学科

経営分析論(2) 環境会計論(2)
社会調査法(2) 環境衛生学(2)

5. 卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は任意選択科目の中から履修するものとする。
 - (1) 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて履修したものについては、任意選択科目に振り替える。
 - (2) 任意選択科目として、共通教育科目、学科科目、履修可能な瀬戸キャンパスの他学部・他学科開講科目、履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)を履修することができる。ただし、他学部・他学科開講科目の履修に際しては、該当学部・学科の履修年次を遵守しなければならない。
 - (3) 総合政策学部総合政策学科学生については、「履修可能な数理情報学部学部共通科目」、「履修可能な情報通信学科学科科目」、「履修可能な数理科学科学科科目」、「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」の中から8単位までを任意選択科目に含めることを認める。
6. 総合政策学部総合政策学科学生が履修登録できる総単位数は、卒業に必要な単位数として算入できるものについては、学期あたり24単位までとする。
7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。
8. 総合政策学科学生が総合政策プロジェクト研究、
を履修するためには以下の条件を満たさなくてはならない。
 - (1) 総合政策プロジェクト研究 を履修するためには、原則として、卒業に必要な単位数を50単位以上修得していなければならない。50単位の中には、外国語科目8単位以上(日本語(読解))が含まれていなければならない。

- (2) 総合政策プロジェクト研究 は総合政策プロジェクト研究 の単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究 は総合政策プロジェクト研究 の単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究 は総合政策プロジェクト研究 の単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究 と同一担当者のセクションに限り履修することができる。
9. 総合政策プロジェクト研究 の単位を修得するためには、卒業論文かあるいはそれにかわるリサーチペーパー、調査報告書、プロジェクト計画書を提出して合格しなければならない。詳細は別途定める。
10. 総合政策学部総合政策学科学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位数には算入されない。

名古屋学院大学経済学部政策学科との単位互換協定について
本学総合政策学部と名古屋学院大学経済学部政策学科は単位互換協定を締結しています。総合政策学部の2年次生以上で、名古屋学院大学経済学部政策学科科目の聴講を希望する学生は、第2課(教務担当)窓口で説明を受けること。

総合政策学部 総合政策学科

付表：総合政策学部外国人留学生の卒業要件

		卒業必要単位			
		日本語未修者	日本語中級者	日本語上級者	
共通教育科目	宗教科目	4	4	4	
	「人間の尊厳」科目	4	4	4	
	外国語科目	日本語 32	日本語 20	日本語10 英語2	
	体育科目	2	2	2	
	テーマ科目	8	10	10	
	アカデミックリテラシー科目	4	4	4	
	科目区分を定めない	0	0	2	
学科科目	必修科目	文明論概論	2	2	2
		総合政策入門	2	2	2
		総合政策プロジェクト研究、、、	8	8	8
	選択必修科目	基礎科目	12	14	14
		文明論科目	12	12	12
		総合政策科目	12	12	12
	選択科目	政策と社会環境科目	28	30	30
政策と組織行動科目					
任意選択科目		0	6	12	
合 計		130	130	130	

総合政策学部 総合政策学科カリキュラム表

【総合政策学部 総合政策学科】

(日本語未修者)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			詳細は、「共通教育科目履修要項」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 目	必修科目		文明論概論(2) 総合政策入門(4)		総合政策プロジェクト研究・(各2) 総合政策プロジェクト研究・(各2)	
	基礎科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	文明論科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	総合政策科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	選択科目		28単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
任意選択科目			卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は、任意選択科目の中から履修するものとする。 「履修可能な数理情報学部学部共通科目」「履修可能な情報通信学科学科科目」「履修可能な数理科学科科目」「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」については、8単位までを任意選択科目の単位として認める。			
自由科目			「教職に関する科目」「博物館に関する科目」「司書・司書教諭に関する科目」(卒業に必要な単位には算入されない。)			

総合政策学部 総合政策学科

【総合政策 学部 総合政策 学科】

(日本語中級者・上級者)

区分		年次別			
		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		詳細は、「共通教育科目履修要項」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 目	必修科目	文明論概論(2) 総合政策入門(4)		総合政策プロジェクト研究 ・ (各2) 総合政策プロジェクト研究 ・ (各2)	
	選択必修科目	14単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	基礎科目	12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	総合政策科目	12単位を修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	選択科目	30単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
任意選択科目		卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は、任意選択科目の中から履修するものとする。 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて修得した単位は、任意選択科目に振り替えることができる。 「履修可能な数理情報学部学部共通科目」「履修可能な情報通信学科科目」「履修可能な数理科学科科目」「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」については、8単位までを任意選択科目の単位として認める。			
自由科目		「教職に関する科目」「博物館に関する科目」「司書・司書教諭に関する科目」 (卒業に必要な単位には算入されない。)			

卒業に必要な単位数〔日本語未修者〕

総合政策学部総合政策学科

総単位数 130

共通教育科目 54以上

必修科目 10

宗教科目

宗 教 論 2

キリスト教概論 2

体育科目

基礎体育A 1

基礎体育B 1

アカデミックリテラシー科目

基礎演習 2

コンピュータ基礎演習 1

コンピュータ基礎演習 1

選択必修科目 4

「人間の尊厳」科目 各2

選択必修科目 8

テーマ科目

異文化との出会い 各2

生命と環境 各2

知識・言語と情報社会 各2

モダンの系譜 各2

1. 1テーマを選択して4科目8単位を修得。
または
2. 2テーマを選択して4科目8単位を修得。

外国語科目 32

必修外国語科目 32

日 本 語 32

日本語（文法A） 6

日本語（文法B） 4

日本語（運用） 2

日本語（読解） 4

日本語（表現技術） 4

日本語（総合） 2

日本語（読解） 4

日本語（表現技術A） 2

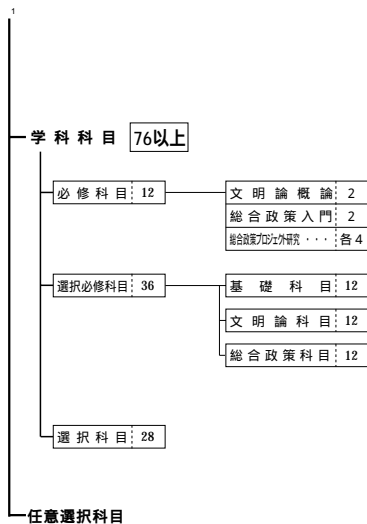
日本語（表現技術B） 2

日本語（総合） 2

総合政策学部

〔日本語履修者〕

総合政策学部 総合政策学科



卒業に必要な単位数〔日本語中級者〕

総合政策学部総合政策学科

総単位数 **130**

共通教育科目 **44以上**

必修科目 10

宗教科目

宗教論	2
キリスト教概論	2

体育科目

基礎体育 A	1
基礎体育 B	1

アカデミックリテラシー科目

基礎演習	2
コンピュータ基礎演習	1
コンピュータ基礎演習	1

選択必修科目 4

「人間の尊厳」科目 各2

選択必修科目 10

テーマ科目

異文化との出会い	各2
生命と環境	各2
知識・言語と情報社会	各2
モダンの系譜	各2

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得。
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得。
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、政治学、文化人類学、社会学、経済学、数学、物理学、生物学、化学、心理学、地球科学、スポーツ科学論、健康科学論	各2
---	----

体育科目

スポーツ実技	各1
--------	----

インターンシップ科目

インターンシップ研修	2
------------	---

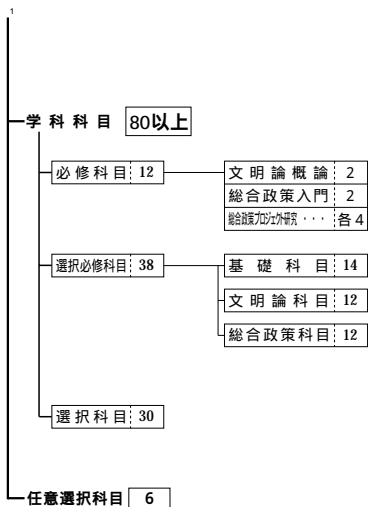
外国語科目 20

必修外国語科目 20

日本語 20

日本語 (読解)	4
日本語 (表現技術)	4
日本語 (総合)	2
日本語 (読解)	4
日本語 (表現技術 A)	2
日本語 (表現技術 B)	2
日本語 (総合)	2

総合政策学部 総合政策学科



卒業に必要な単位数〔日本語上級者〕

総合政策学部総合政策学科

総単位数 130

共通教育科目 38以上

必修科目: 10

宗教科目

宗教論: 2

キリスト教概論: 2

体育科目

基礎体育 A: 1

基礎体育 B: 1

アカデミックリテラシー科目

基礎演習: 2

コンピュータ基礎演習: 1

コンピュータ基礎演習: 1

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目: 各2

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い: 各2

生命と環境: 各2

知識・言語と情報社会: 各2

モダンの系譜: 各2

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得。
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得。
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、
政治学、文化人類学、社会学、経済学、
数学、物理学、生物学、化学、心理学、
地球科学、スポーツ科学論、健康科学論
各2

体育科目

スポーツ実技: 各1

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2

外国語科目: 12

必修外国語科目: 10

日本語: 10

日本語(読解): 4

日本語(表現技術A): 2

日本語(表現技術B): 2

日本語(総合): 2

選択必修外国語科目: 2

英語リーディング: 1

英語リーディング: 1

英語リーディング: 2

英語コミュニケーション A: 3

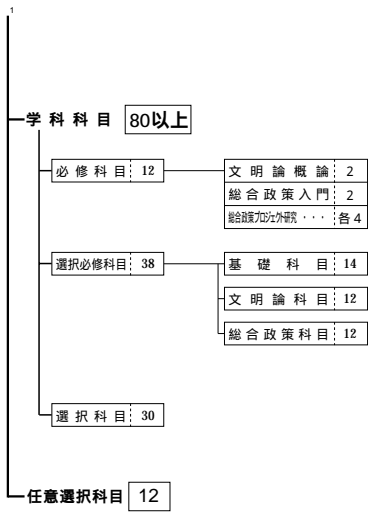
英語コミュニケーション A: 3

上級英語 A・B・C・D: 各1

総合政策学部

(日本語履修者)

総合政策学部 総合政策学科



数理情報学部履修要項

1. 数理情報学部学生は、卒業のためには136単位以上を修得しなければならない。
2. 数理情報学部学生は、共通教育科目を30単位以上を修得しなければならない。履修方法は別に定める。(共通教育科目履修要項参照)
3. 数理情報学部学生は、学部必修科目を42単位、学部選択必修科目を12単位以上修得しなければならない。
4. 数理情報学部学生は、各自の所属する学科の必修科目、選択科目をそれぞれ所定の単位数以上修得しなければならない。(各学科の履修要項参照)
5. 卒業に必要な総単位数136単位のうち、上記2、3および4で定めた単位数で不足する単位は、各学科が定める任意選択科目の中から修得しなければならない。
6. 任意選択科目としては、共通教育科目、学科科目、総合政策学科科目および名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)から履修可能の指定のある科目を任意に選ぶ。
7. 各学科の履修年次は、各自の所属する学科の履修要項に定める。
8. 科目登録時に履修登録できる単位数は、各自の所属する学科の履修要項に定める。
9. 他学部・他学科開講科目を履修する場合は、当該学部・学科において定められる履修年次を遵守しなければならない。

情報通信学科履修要項 ()内は単位数

数理情報学部情報通信学科学学生は、共通教育科目を30単位以上、学部共通科目を54単以上、学科科目を44単位以上、任意選択科目を8単位以上、合計136単位以上を、卒業に必要な単位として修得しなければならない。

・ 共通教育科目 (30)

情報通信学科学学生は、共通教育科目として合計30単位以上を修得しなければならない。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位以上を修得するか、または2テーマを選択して5科目10単位以上を修得する(但し、各テーマは2科目以上)。

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得する。

必修外国語科目 (10)

第1年次

英語コミュニケーション B (2) 英語コミュニケーション B (2)

英語リーディング (1) 英語リーディング (1)

第2年次

英 語 A (1) 英 語 B (1)

英 語 A (1) 英 語 B (1)

選択科目

分野科目、必修科目でない体育科目、外国語科目およびインターンシップ科目などの履修可能な科目は、卒業に

必要な単位としては任意選択科目となる。“ . 任意選択科目 ” の節を参照。

. 学部共通科目 (54)

学部共通科目は学部必修科目と学部選択必修科目に分類される。

情報通信学科学生は、学部必修科目を42単位、学部選択必修科目を12単位以上修得しなければならない。

必修科目 (42)

第1年次

微積分学 (2)	微積分学 (2)
線形代数学 (2)	線形代数学 (2)
プログラミング (2)	プログラミング (2)
数理情報学概論A (2)	情報倫理 (2)
数学演習 (2)	数学演習 (2)
プログラミング実習 (2)	プログラミング実習 (2)

第2年次

確率・統計 (2)	情報数学 (2)
プログラミング (2)	通信システム基礎 (2)
数理情報学概論B (2)	情報技術倫理 (2)
情報表現論 (2)	数学演習 (2)
プログラミング実習 (2)	

選択必修科目 (12)

第2年次

統計的方法 (2)	OR概論 (2)
システム工学概論 (2)	集合と位相 (2)
通信工学 (2)	通信理論 (2)
情報社会と倫理 (2)	コンピュータ-テクチャ (2)

. 学科科目 (44)

学科科目は学科必修科目と学科選択科目に分類される。

情報通信学科学生は、学科必修科目を20単位、学科選択科目を24単位以上修得しなければならない。

数理情報学部 情報通信学科

必修科目 (20)

第3年次

情報通信学実習 (2)	情報通信学実習 (2)
情報通信学演習 (2)	情報通信学演習 (2)

第4年次

情報通信学演習 (4)	卒業研究 (8)
-------------	----------

選択科目 (24)

第3年次

データベース (2)	オペレーティングシステム (2)
アルゴリズム論 (2)	オブジェクト指向プログラミング (2)
形式手法 (2)	プログラミング言語処理 (2)
ソフトウェア工学 (2)	ソフトウェア開発技術 (2)
通信プロトコル (2)	マルチメディア情報通信 (2)
無線通信ネットワーク (2)	ネットワークシステム性能評価 (2)
情報通信セキュリティ (2)	コンピュータグラフィックス (2)
人工知能 (2)	ネットワークソフトウェア工学 (2)
通信ネットワークアーキテクチャ (2)	情報通信学特別講義A (2) (情報科学)
情報通信学特別講義B (2) (情報科学)	情報通信学特別講義A (2) (ソフトウェア工学)
情報通信学特別講義B (2) (ソフトウェア工学)	情報通信学特別講義A (2) (通信工学)
情報通信学特別講義B (2) (通信工学)	情報通信学特別講義A (2) (コンピュータネットワーク)
情報通信学特別講義B (2) (コンピュータネットワーク)	「履修可能な数理科学科開講科目」

任意選択科目 (8)

情報通信学科学生は、任意選択科目として8単位以上を修得しなければならない。

「履修可能な共通教育科目」

「履修可能な総合政策学科科目」

「履修可能な名古屋キャンパス開講科目 (資格関連科目は除く)」

「大学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの」

・自由科目

自由科目は次の科目である（卒業に必要な単位に参入されない科目）。

- 「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、
「司書・司書教諭に関する科目」

・単位の振替え

1. 学部選択必修科目のうち12単位を超過して修得した単位は、学科選択科目の単位に振り替えることができる。
2. 学科選択科目のうち24単位を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。
3. 履修可能な数理科学科科目は12単位まで学科選択科目の単位として認め、12単位を超過して修得した単位は任意選択科目の単位に振り替えることができる。
4. 共通教育科目で所定の単位を超えて修得した単位数は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。
5. 履修可能な総合政策学科科目および履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）は、あわせて8単位まで任意選択科目の単位として認める。

・履修の条件

1. 第2年次の学部共通科目を履修するためには、学部必修科目を12単位以上修得していなければならない。
2. 第3年次の学科科目を履修するためには、卒業に必要な単位を68単位以上修得し、学部必修科目を32単位以上修得していなければならない。
3. 情報通信学演習 を履修するためには、情報通信学演習 、情報通信学演習 、情報通信学実習 、情報通信学実習 のいずれの単位も修得していなければならない。
4. 卒業研究を履修するためには、卒業に必要な単位を102単位以上修得し、学部必修科目の単位を42単位すべて修得しなければならない。
5. 卒業研究を履修するためには、情報通信学演習 を同時に履修するか、すでにその単位を修得していなければならない。

数理情報学部 情報通信学科

6. 情報通信学演習、情報通信学演習及び卒業研究は、原則として同一担当者の科目を履修するものとする。

. その他

1. 情報通信学科学生が登録を許される単位数は、自由科目を除いて、入学年度は春学期秋学期ともに24単位までとし、2年目以降は各学期28単位までとする。ただし、各年次において春学期秋学期の登録単位数の合計が48単位を超えてはならない。通年科目を登録したときは、春学期にその単位数の半分を、秋学期に残り半分を登録したものとする。

数理情報学部情報通信学科カリキュラム表

【数理情報学部 情報通信学科】

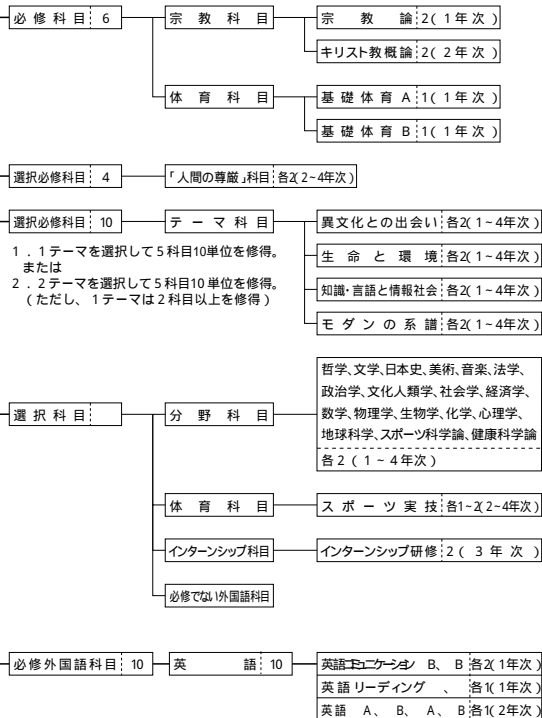
区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		30単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	基礎科目	微積分学 ・ (各2) 線形代数 ・ (各2) プログラミング ・ (各2) 数理情報学概論A(2)	確率・統計(2) 情報数学(2) プログラミング(2) 通信システム基礎(2) 数理情報学概論B(2) 情報表現論(2)		
	情報倫理 教育科目	情報倫理(2)	情報技術倫理(2)		
	実習・演習	数学演習 ・ (各2) プログラミング実習 ・ (各2)	数学演習 (2) プログラミング実習 (2)		
(54)	選択必修科目	12単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 12単位を超えて修得した単位は、学科選択科目の単位に振り替えることができる。			
学 科 目	必修科目			情報通信学実習 ・ (各2) 情報通信学演習 ・ (各2)	情報通信学演習 (4) 卒業研究(8)
	選択科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 履修可能な数理科学科科目は、12単位まで選択科目として認め、12単位を超えて修得した単位は任意選択科目の単位に振り替えることができる。 24単位を超えて修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。			
	任意選択科目	8単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 履修可能な総合政策学科科目および履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)はあわせて8単位まで任意選択科目の単位として認める。 共通教育科目及び学科科目で所定の単位を超えて修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。			
	自由科目	「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」 (卒業に必要な単位には算入されない。)			

卒業に必要な単位数

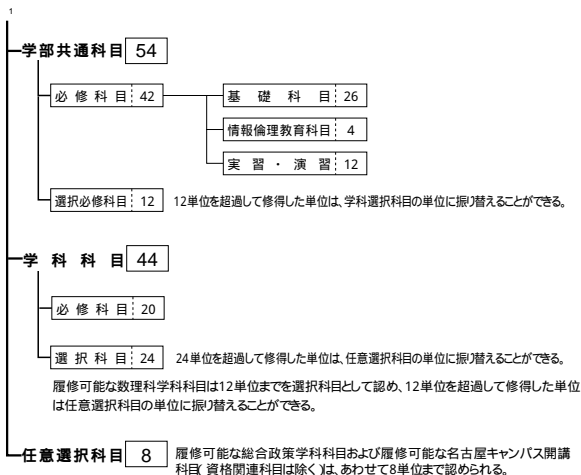
数理情報学部情報通信学科

総単位数 136

共通教育科目 30以上



共通教育科目のうち必要単位数を超えた修得単位数は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。



数理科学科履修要項 ()内は単位数

数理情報学部数理科学科学生は、共通教育科目を30単位以上、学部共通科目を54単位、学科科目を40単位以上、任意選択科目を12単位以上、合計136単位以上を、卒業に必要な単位として修得しなければならない。

・ 共通教育科目 (30)

数理科学科学生は、共通教育科目として合計30単位以上を修得しなければならない。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次のテーマ科目の中から、1テーマを選択して5科目10単位以上を修得するか、

または2テーマを選択して5科目10単位以上を修得する

(但し、各テーマは2科目以上)

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得する。

必修外国語科目 (10)

第1年次

英語コミュニケーション B (2) 英語コミュニケーション B (2)

英語リーディング (1) 英語リーディング (1)

第2年次

英 語 A (1) 英 語 B (1)

英 語 A (1) 英 語 B (1)

選択科目

分野科目、必修科目でない体育科目、必修科目でない外国語科目、インターンシップ科目などの履修可能な科目は、卒業に必要な単位としては任意選択科目となる。“任意選択科目”の節を参照。

学部共通科目（54）

学部共通科目は学部必修科目と学部選択必修科目に分類される。

数理科学科学生は、学部必修科目を42単位、学部選択必修科目を12単位以上修得しなければならない。

必修科目（42）

第1年次

微積分学	(2)	微積分学	(2)
線形代数学	(2)	線形代数学	(2)
プログラミング	(2)	プログラミング	(2)
数理情報学概論A	(2)	情報倫理	(2)
数学演習	(2)	数学演習	(2)
プログラミング実習	(2)	プログラミング実習	(2)

第2年次

確率・統計	(2)	情報数学	(2)
プログラミング	(2)	情報システム基礎	(2)
数理情報学概論B	(2)	情報技術倫理	(2)
情報表現論	(2)	数学演習	(2)
プログラミング実習	(2)		

選択必修科目（12）

第2年次

統計的方法	(2)	OR概論	(2)
システム工学概論	(2)	集合と位相	(2)
通信工学	(2)	通信理論	(2)
情報社会と倫理	(2)	コンピュータアーキテクチャ	(2)

学科科目（40）

学科科目は学科必修科目と学科選択科目に分類される。

数理科学科学生は、学科必修科目を16単位、学科選択科目

数理情報学部 数理科学科

を24単位以上修得しなければならない。

必修科目(16)

第3年次

数理科学演習 (2) 数理科学演習 (2)

第4年次

数理科学演習 (4) 卒業研究 (8)

選択科目(24)

第3年次以降

OR概論 (2) 線形計画法 (2)
非線形・整数計画法 (2) 確率モデル (2)
数理ファイナンス (2) 決定分析 (2)
システム工学概論 (2) 情報システム工学 (2)
社会システム工学 (2) 制御理論 (2)
信頼性理論 (2) シミュレーション (2)
統計的方法 (2) 数理統計学 (2)
多変量解析 (2) データ解析 (2)
統計調査法 (2) 応用統計学 (2)
解析学 (2) 応用解析学 (2)
数値解析 (2) 数理論理学 (2)
応用数学 A (2) 応用数学 B (2)
確率論とその応用 (2) 集合論とその応用 (2)
幾何学入門 (2) 代数系入門 (2)
数理科学特別講義 (OR) (2) 数理科学特別講義 (システム工学) (2)
数理科学特別講義 (統計) (2) 数理科学特別講義 (情報数学) (2)
「履修可能な情報通信学科開講科目」

任意選択科目(12)

数理科学科学生は、任意選択科目として12単位以上を修得しなければならない。

「履修可能な共通教育科目」

「履修可能な総合政策学教科目」

「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目を除く)」

「大学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの」

・自由科目

自由科目は次の科目である（卒業に必要な単位に参入されない科目）。

- 「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、
「司書・司書教諭に関する科目」

・単位の振替え

1. 学部選択必修科目のうち12単位を超過して修得した単位は、学科選択科目の単位に振り替えることができる。
2. 学科選択科目のうち24単位を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。
3. 履修可能な情報通信学科科目は12単位まで学科選択科目の単位として認め、12単位を超過して修得した単位は任意選択科目の単位に振り替えることができる。
4. 共通教育科目で所定の単位を超えて修得した単位数は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。
5. 履修可能な総合政策学科科目および履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目を除く）は、あわせて8単位まで任意選択科目の単位として認める。

・履修の条件

1. 第2年次の学部共通科目を履修するためには、学部必修科目を12単位以上修得していなければならない。
2. 第3年次の学科科目を履修するためには、卒業に必要な単位を68単位以上修得し、学部必修科目を32単位以上修得していなければならない。
3. 数理科学演習 を履修するためには、数理科学演習 、数理科学演習 の単位を修得していなければならない。
4. 卒業研究を履修するためには、卒業に必要な単位を102単位以上修得し、学部必修科目の単位を42単位すべて修得しなければならない。
5. 卒業研究を履修するためには、数理科学演習 を同時に履修するか、すでにその単位を修得していなければならない。
6. 数理科学演習 、数理科学演習 及び卒業研究は、原則として同一担当者の科目を履修するものとする。

・その他

1. 数理科学科学生が登録を許される単位数は、自由科目を除いて、入学年度は春学期秋学期ともに24単位までとし、2年目以降は各学期28単位までとする。ただし、各年次において春学期秋学期の登録単位数の合計が48単位を超えてはならない。通年科目を登録したときは、春学期にその単位数の半分を、秋学期に残り半分を登録したものとする。

数理情報学部数理科学科カリキュラム表

【数理情報学部 数理科学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		30単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目 (54)	基礎科目	微積分学 ・ (各2) 線形代数学 ・ (各2) プログラミング ・ (各2) 数理情報学概論A(2)	確率・統計(2) 情報数学(2) プログラミング(2) 通信システム基礎(2) 数理情報学概論B(2) 情報表現論(2)		
	情報倫理教育科目	情報倫理(2)	情報技術倫理(2)		
	実習・演習	数学演習 ・ (各2) プログラミング実習 ・ (各2)	数学演習(2) プログラミング実習 (2)		
選択必修科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 12単位を超えて修得した単位は、学科選択科目の単位に振り替えることができる。			
学 科 目 (40)	必修科目			数理科学演習 ・ (各2)	数理科学演習(4) 卒業研究(8)
	選択科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 履修可能な情報通信学科科目は、12単位まで選択科目として認め、12単位を超えて修得した単位は任意選択科目の単位に振り替えることができる。 24単位を超えて修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。			
任意選択科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 履修可能な総合政策学科科目、および履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)はあわせて8単位まで、任意選択科目の単位として認める。 共通教育科目及び学科科目で所定の単位を超えて修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。			
自由科目		「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」 (卒業に必要な単位には算入されない。)			

卒業に必要な単位数

数理情報学部数理科学科

総単位数 136

共通教育科目 30以上

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A: 1(1年次)

基礎体育 B: 1(1年次)

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目: 各2-4年次

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い: 各2(1-4年次)

生命と環境: 各2(1-4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1-4年次)

モダンの系譜: 各2(1-4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得。
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得。
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、
政治学、文化人類学、社会学、経済学、
数学、物理学、生物学、化学、心理学、
地球科学、スポーツ科学論、健康科学論
各2(1-4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1-2-4年次

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

必修でない外国語科目

必修外国語科目: 10

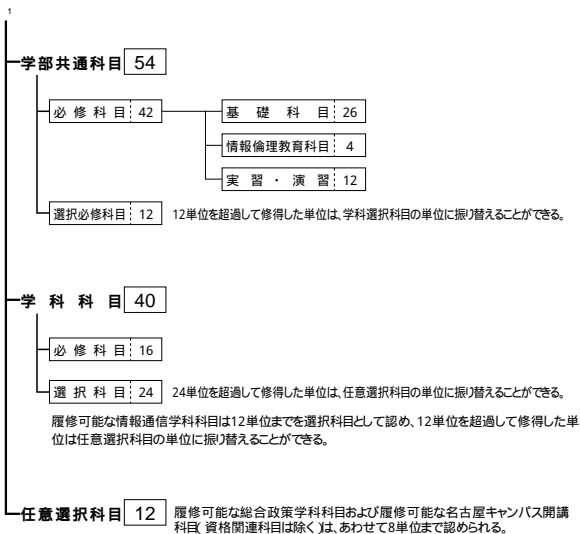
英語: 10

英語コミュニケーション B、B: 各2(1年次)

英語リーディング、: 各1(1年次)

英語 A、B、A、B: 各2(2年次)

共通教育科目のうち必要単位数を超えた修得単位数は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。



卒業論文等提出についての注意事項

(人文・外国語・経済・経営・法学部)

卒業論文提出にあたっては、以下の諸事項について十分注意してください。

卒業論文題目の提出

論文を提出しようとする学生は、論文題目を決定し、各学科の指示に従い、期日までに届けてください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります。)

人文学部生

人文学部生の研究プロジェクト報告書(卒業論文)作成は指導教員の指示に従ってください。また、表紙については、12月中旬に所定の「表紙用添付用紙」を教務課で配布しますので、それを表紙に貼って提出してください。

外国語学部生

外国語学部生の論文作成は各学科並びに指導教員の指示に従ってください。

経済学部生

経済学部生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) A4判用紙、字数は原則として20,000字以上。ただし必要に応じてグラフや表を含めることも可。
- (2) 外国語で作成する場合は指導教員の指示に従ってください。
- (3) 論文のタイトルページは別表の様式を参考にしてください。
- (4) 大学指定ファイルの表紙に教務課提供の「表紙用添付用紙」を貼り、必要事項を記載してください。

経営学部生

経営学部経営学科生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) ワープロ・ソフトあるいはワープロ専用機を使用して、A4判用紙に印刷してください。
- (2) 字数は20,000文字以上。
- (3) 欧文でも作成することができますが、作成要領については指導教員の指示に従ってください。

- (4) 指導教員の上承を前提に共同論文を認めます。その際、下記の要領に従ってください。
- (ア) 各自の担当部分を必ず明確にしてください。
 - (イ) 各自の担当部分の字数は20,000字以上。
 - (ウ) 論文の提出の際には、代表者でなく各自が論文全体あるいは担当部分を提出してください。どちらを提出するかについては指導教員の指示に従ってください。
- (5) 論文には、12月中旬に教務課で配布する「表紙用添付用紙」を受け取り表紙に貼って提出してください。また、扉には別表の様式により必要事項を記載してください。

法学部生

法学部生は、下記の要領に従って卒業論文を提出してください。

- (1) 用紙は、ワープロ使用の場合A4判用紙を、やむをえず手書きをする場合は400字詰または800字詰の原稿用紙を用いてください。
- (2) 論文作成枚数は、ワープロ使用の場合20,000字以上、手書きの場合は400字詰50枚以上または800字詰25枚以上になっています。
- (3) 論文には、12月中旬に教務課で配布する「表紙用添付用紙」を受け取り表紙に貼って提出してください。また、扉は別表の様式に従ってください。

筆記用具等

筆記用具に関しては218頁の表を参照してください。

論文題目の変更

届け出た論文題目を変更する必要がある場合は、各学部の指示に従って、届け出てください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります)

論文提出期限

論文提出期限は「授業日予定表」を参照すること。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、期日間際になってあわてないように注意して準備してください。

別表

(縦書の場合)

提出 年 月 日	南山大学 学生番号 氏名	学部	学科	論文 題目	卒業論文 教授演習	南山大学 学部
-------------------	--------------------	----	----	----------	--------------	------------

(横書の場合)

南山大学 学生番号 氏名	南山大学 学部 学科	卒業論文	教授演習	論文題目	提出年月日
--------------------	------------------	------	------	------	-------

作成筆記用具並びに装丁等について

学部	学 科	筆 記 用 具 等	装丁(ファイル形式等)
人 文	キリスト教	ワードプロセッサ―	大学指定ファイル
	人類文化	ワードプロセッサ―	大学指定ファイル
	心理人間	ワードプロセッサ―	大学指定ファイル
	日本文化	ワードプロセッサ―	大学指定ファイル
外 国 語	英 米	ワードプロセッサ―	学科指定ファイル
	スペイン・ラテンアメリカ	ワードプロセッサ―	学科指定ファイル
	フランス	ワードプロセッサ―	指導教員の 指定するファイル
	ドイツ	ワードプロセッサ―	学科指定ファイル
	アジア	ワードプロセッサ―	学科指定ファイル
経 済	経 済	原則として、ワードプロセッサ―。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル
経 営	経 営	ワードプロセッサ―	大学指定ファイル
法	法 律	原則として、ワードプロセッサ―。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル

卒業論文等提出についての注意事項

(総合政策・数理情報学部)

卒業論文等の提出にあたっては、以下の諸事項について十分注意してください。

総合政策学部生

卒業研究題目の提出

卒業研究(卒業論文もしくはそれに代替するリサーチペーパー、調査報告書、プロジェクト計画等)を提出しようとする学生は、その題目を卒業研究題目提出用紙に記入し、指導教員の捺印を受け、期日までに第2課(教務担当)に提出してください(5月の掲示に注意)。題目提出期限は、「授業日予定表」を参照すること。

題目の変更

卒業研究題目を変更する必要がある場合には、すみやかに指導教員に届け出て、承認を得てください。

卒業研究作成要領

総合政策学部生の卒業研究作成は、以下の要領に従ってください。

- (1) 用紙 A4版横書き ワードプロセッサを使用すること。原則として、和文の場合40字程度×35行程度、欧文の場合ダブルスペースで本文を作成すること。詳細については、指導教員の指示に従ってください。
- (2) 枚数 おおむね20,000字を目安とする。研究分野の事情を勘案し、枚数については指導教員の指示に従ってください。
- (3) 表紙 別図の様式に従って卒業研究の表紙を作成すること。
- (4) 装丁 指定のファイルに綴じて提出すること。
- (5) 提出用紙 12月中旬に第2課(教務担当)で配布する卒業研究提出用紙に必要事項を記入し、卒業研究と一

緒に提出すること。

- (6) 単独提出 卒業研究は原則として単独で作成し、各人が単独で提出すること。共同作成・共同執筆の可否については、指導教員の指示に従ってください。
- (7) その他 使用する言語については指導教員の指示に従ってください。また、文書以外の形式（図版、写真、絵画、動画、プログラム、音楽など）で提出される資料についても、指導教員の指示に従ってください。

提出先

卒業研究は期限までに第2課（教務担当）に提出すること。

提出期限

卒業研究提出期限は「授業日予定表」を参照すること。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、提出期限や第2課（教務担当）窓口終了時間間際になってあわてないように注意してください。

9月入学者については、原則として、卒業年度7月の卒業研究提出期限に提出すること（5月の掲示に注意）。ただし、卒業前年度1月の卒業研究提出期限に提出することもできます。

別図

和文の場合

南山大学総合政策学部 総合政策プロジェクト研究 卒業研究 担当者 (助)教授
研究題目 (- 副題 -)
南山大学 総合政策学部 総合政策学科 学生番号 20××PP××× 氏名 提出日 20××年×月×日

英文の場合

Nanzan University Faculty of Policy Studies Thesis for Policy Studies Project Research II Professor
Title
Nanzan University Faculty of Policy Studies 20××PP××× Name Month Day, 20××

数理情報学部生

- ・ 第2課(教務担当)への卒業論文提出期限は「授業日予定表」を参照してください。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、期限間際になってあわてないように注意して準備してください。
- ・ 卒業論文の表紙および卒業論文をとじるためのファイルについては第2課(教務担当)で指定したものを利用してください。
- ・ 上記以外については、各学科並びに指導教員の指示に従ってください。

南山大学早期卒業規程

第1条 南山大学学則第21条第2項により、早期卒業に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2条 本大学に3年以上在学し、本大学の定める単位を優秀な成績で修得した場合には、南山大学学則第21条第1項の定めにかかわらず、卒業できるものとする。

第3条 前条に定める卒業については、次の学部において行うものとする。

- 1 総合政策学部

第4条 前条に定める学部の学生が、第2条に定める卒業を希望する場合は、別に定める規則に従うものとする。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

総合政策学部早期卒業に関する内規

(趣旨)

第1条 この規則は、南山大学早期卒業規程第4条に基づき、南山大学総合政策学部(以下、「総合政策学部」という。)における早期卒業に関し必要な事項を定めるものとする。

(対象学生)

第2条 早期卒業は、次の各号に該当する者を対象とする。

- 1 秋学期入学の者
- 2 3年半卒業を希望する者
- 3 総合政策学部入学後3年間の評定平均(GPA)が85点以上の者。なお評定平均(GPA)は次の方法で算出する。

$$\text{評定方法} = \frac{(A^+) \times 95 + (A) \times 85 + (B) \times 75 + (C) \times 65}{(A^+, A, B, C) \text{の合計点数}}$$

認定科目、自由科目を除く

(早期卒業希望者の認定)

第3条 早期卒業を希望する者は、3年次春学期授業最終日を期限とし、学部長に、その旨を申し出るものとする。

学部長は、前項による申し出があったときは、教授会の審査を経て適格の認定をしなければならない。

(卒業の要件)

第4条 早期卒業するためには、3年半以上在学し、総合政策学部が定める履修方法に従い、130単位以上を修得しなければならない。

(学習指導)

第5条 学部および学科は、第3条第2項により適格の認定を受けた学生の授業計画等にあたっては、適切な措置および学習指導を行うこととする。

(卒業の時期)

第6条 早期卒業の時期は、4年次の3月とする。

附 則

この内規は、2005年4月1日から施行し、2002年度入学生から適用する。

派遣留学生の帰国後における 授業科目履修に関する手続等取扱要領

1. 新規登録について

(1) 春学期科目の新規登録期限は、授業開始日から21日目とする。

(2) 通年科目の新規登録期限

留学先大学の学期末が本学の新学年度の登録期間を過ぎる場合、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日の7日後まで登録延期が認められるが、授業開始日から49日目を最終期限とする。

ただし、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日が5月末日ないし6月初めの場合は、教務委員会の許可により、その7日後まで新規登録の延期が認められる。許可申請は原則として3月末までに行うこと。所定申請用紙は教務課で交付する。

(3) 集中講義科目の新規登録期限は、春学期授業終了日とする。

(4) 秋学期科目の新規登録期限は、秋学期授業開始日から21日目までとする。

2. 通年科目の継続登録について

(1) 留学前の手続

学年途中で外国に留学する学生が留学前履修中の授業科目を帰学後継続して履修するためには、留学前に教務課において、所定の手続を経、かつ2(2)に定める期日までに履修継続の登録をしなければならない。ただし、帰国後に同一科目が開講されていないときは、継続して履修することができないことがある。

(2) 継続登録の期限は、秋学期授業開始日から21日目までとする。

3. 演習等について

各学科によって異なる。『派遣留学生の「演習」等の認定方法』に定めるところによる。

なお、演習科目の登録期限・方法については上記定めによらない。

附 則

この要領は、2005年4月1日から施行する。

瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課(教務担当)と読み替える。

外国人留学生の授業科目履修に関する特例

第1条 この特例の適用を受ける外国人留学生（以下「外国人留学生」という。）とは、外国人留学生入学審査によって、本学学部学生として入学を許可された者をいう。

第2条 外国人留学生は、授業科目履修に関して、南山大学授業科目履修規程ならびに関連する諸規程のほかはこの特例に従わなければならない。

第3条 外国人留学生は、「日本語」3単位、「日本語」2単位、「日本語」3単位を履修しなければならない。ただし、これと同等以上の日本語能力を持つと学部または学科が判断した者については、その履修を免除することがある。

第4条 外国人留学生は、前条に定める「日本語」3単位、「日本語」2単位、「日本語」3単位のほか、共通教育科目として開講されている外国語科目のうち、いずれか4単位以上を履修することを原則とする。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

第5条 外国人留学生については、共通教育科目、学部共通科目および学科科目について、学部および学科での修得すべき単位数のうち12単位までを「日本語」、「日本語」、「日本語」および「総合日本語A」、「総合日本語B」についての単位で代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

第6条 学部または学科が教育上必要と判断した場合は、帰国生徒にこの特例を準用することができる。

第7条 数理情報学部に在籍する外国人留学生については、別に定める細則に従うものとする。

第8条 この特例に定めのない事項については、学部長または
学科長と教務委員会委員長が協議の上、決定する。

附 則

この特例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和53年9月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成16年4月1日から施行する。

数理情報学部 に在籍する外国人留学生の 授業科目履修に関する細則

第1条 外国人留学生の授業科目履修に関する特例第7条の規定により、本細則を制定する。

第2条 外国人留学生の授業科目履修に関する特例第7条に規定する「数理情報学部 に在籍する外国人留学生（以下「数理の外国人留学生」という。）」とは、外国人留学生入学審査によって、本学数理情報学部学生として入学を許可された者をいう。

第3条 数理の外国人留学生は、授業科目履修に関して「南山大学授業科目履修規程」および関連する諸規程の他に、この細則に従わなければならない。

第4条 数理の外国人留学生で、数理情報学部から「日本語能力が不十分である」と判断された者は、総合政策学部共通教育科目の「日本語 Ⅰ」「日本語 Ⅱ」「日本語 Ⅲ」の全部または一部の単位を修得しなければならない。

第5条 前条の「日本語 Ⅰ」「日本語 Ⅱ」「日本語 Ⅲ」の科目には、「文法」「会話・運用」「作文・読解」「聴解・会話」「総合」の分野が用意されているので、数理の外国人留学生はこれらの分野のうち日本語能力に応じ、1分野または複数分野を履修することができるものとする。

第6条 第4条の適用を受ける外国人留学生のうち、「日本語 Ⅰ」から始めた者は共通教育科目、学部共通科目および学科科目について、学部または学科での修得すべき単位数のうち10単位までを「日本語 Ⅱ」の単位で振り替えることができる。同様に「日本語 Ⅱ」から始めた者は20単位までを、「日本語 Ⅲ」から始めた者は32単位までを、それぞれ振り替えることができるものとする。ただし、その振替に関しては、在籍する学部の認定に従うものとする。

第7条 学部または学科が教育上必要と判断した場合は、帰国生徒にこの細則を準用することができるものとする。

第8条 この細則に定めのない事項については、学部長または学科長と教務委員会委員長が協議の上、決定する。

附 則

この細則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

外国語検定試験による単位認定制度について

外国語の能力を判定するために実施されている各種外国語検定試験で一定の基準に達し、かつ本学外国語担当教員による当該外国語面接試験に合格した学生に対して、以下の単位が認定される。

共通教育科目としての当該外国語（1年次）4単位が認定される場合

（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）

共通教育科目としての当該外国語（2年次）4単位が認定される場合

（2年次の開始時点までに、認定基準を満たしていること）

共通教育科目としての当該外国語（1年次および2年次）8単位が認定される場合

（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）

外国語名称	対象となる外国語検定試験		認定基準	
			の場合	との場合
英語	TOEFL * 1	Paper-based total	530点～579点	580点以上
		Computer-based total	197点～236点	237点以上
	TOEIC * 2		670点～819点	820点以上
	実用英語技能検定		準1級	1級
	ケンブリッジ大学英語検定試験		Level 3 (FCE) * 3	Level 4 (CAE) 以上 * 4
フランス語	実用フランス語技能検定 (DAPF)		3級	2級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定		3級	2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定		4級	3級以上
中国語	中国語検定		準2級	2級以上
	漢語水平考試 (HSK)		6級、7級	8級以上
	中国語コミュニケーション能力検定 (TEEC)		Cレベル (550点～669点)	Cレベル以上 (670点以上)

* 1 TOEFL = Test of English as a Foreign Language

* 3 FCE = First Certificate in English

* 2 TOEIC = Test of English for International Communication

* 4 CAE = Certificate in Advanced English

ただし、共通教育科目としての必修外国語の8単位が1年次に配当されている学科は、以下の通り読み替える。

（1年次）4単位 （1年次春学期）4単位

2年次の開始時点 1年次秋学期の開始時点

(2年次)4単位 (1年次秋学期)4単位
(1年次および2年次)8単位 (1年次春学期および
秋学期)8単位

認定を希望する学生は4月8日まで(当日が事務休業日の場合は、次の事務取扱日)に、申請書に当該外国語検定試験の得点(合格)証明書コピーを添えて、名古屋キャンパス教務課または瀬戸キャンパス第2課(教務担当)に提出すること。申請書は各窓口で配布する。

ただし、上記読み替えにより、1年次秋学期に単位認定を申請する場合(瀬戸キャンパス9月入学者を含む)は、9月26日(当日が事務休業日の場合は、次の事務取扱日)までに申請すること。なお、学年または学期の途中、あるいは学年または学期を遡っての単位認定は行わない。

愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について

愛知学長懇話会・単位互換事業は、愛知県内の他の大学が開放する特色ある授業科目を自由に履修し、単位を修得することができる制度です。この事業には南山大学を含む愛知県内すべての4年制大学が参加しており、修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

1. 出願について

資格：2年次以降(ただし、4年次生以上で、単位互換事業の開放科目を受講することによって卒業要件単位数が満たされる場合は出願することができない。)

出願時期：春学期(秋学期科目も春学期のみの出願となる)

単位数：年間8単位まで。なお、この単位数は、各学部が定める登録単位数上限や他の単位互換制度の登録単位数上限には含まれない。

出願を希望する学生は、参加大学の開放科目や履修条件等を記載した募集要項と出願票を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等詳細は別途教務課HP等に掲示する。

2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。正式な決定以前に授業が開始される場合には仮受講が認められる。なお、応募者多数の場合は相手先大学による選考が行われる場合がある。

休講情報等の連絡事項は教務課HPに掲示する。

3. 試験について

相手先大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、相手先大学の試験を優先すること。その際、相手先大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる(成績の1割減点なし、手数料無料)。

4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課(教務担当)と読み替える。

豊田工業大学との連携聴講生制度について

「南山大学と豊田工業大学における単位互換に関する包括協定書」に基づき、豊田工業大学が聴講を許可する授業科目を履修し、単位を修得することができます。修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

1. 出願について

資格：2年次以降（ただし、4年次生以上で、連携聴講生制度による科目を受講することによって卒業要件単位が満たされる場合は、出願することができない。）

出願時期：春・秋各学期に出願が可能。

単位数：各学期4単位まで出願できる。なお、この単位数は、各学部が定める学期あたりの登録単位数上限や他の単位互換事業の登録単位数上限には含まれない。

出願を希望する学生は、開放科目や履修条件等が記された書類と『連携（特別）聴講生願』を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等詳細は別途教務課HP等に掲示する。

2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。なお、応募者多数の場合は豊田工業大学による選考が行われる場合がある。休講情報等の連絡事項は教務課HPに掲示する。

3. 試験について

豊田工業大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、豊田工業大学の試験を優先すること。その際、豊田工業大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる（成績の1割減点なし、手数料無料）。

4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課（教務担当）と読み替える。

名古屋 / 瀬戸キャンパス間履修について

2004年度以降の名古屋 / 瀬戸キャンパス間履修の取り扱いは以下の通りとする。なおこの取り扱いは入学年度を問わず、全ての学生に適用する。

1. 単位の認定方法

- ・ 共通教育科目、学部・学科科目とも任意選択科目として、卒業に必要な単位に算入することができる（ただし2003年度までに自由科目として修得済みの他キャンパス科目の単位は遡って算入することはできない）。
- ・ 自由科目として履修する資格関係の科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入することはできない。

2. 履修

- ・ 学期ごとの履修の上限単位数は、別表の通りとする（各学部が定める学期ごとの上限単位数に含まれる）。ただし自由科目として履修する資格関係の科目は含まれない。
- ・ 履修年次は、別表の通りとする（科目毎の年次制限が優先される）。ただし資格関係の科目を除く。
- ・ 他学科履修不可の科目は履修することができない。

3. 定期試験

- ・ 他キャンパス科目と所属キャンパス科目の定期試験時間割が同一日に配置された場合は、「追試験受験許可願」の提出により、受験できなかった科目の追試験が認められる（1割減点なし、手数料無料）。ただし原則として所属キャンパス科目の試験を優先すること。

4. 登録手続

- ・ 登録は登録システム（Web）を使用して行う。履修登録カード（マークシート）での登録は受け付けない。登録にあたっては、移動時間を含めて、確実に授業に参加できる時間が確保できるように計画すること。

学部	学期ごとの履修登録の上限単位数(注)	履修年次
人文学部	設けない	2年次以上
外国語学部	設けない	2年次以上
経済学部	設けない	3年次以上
経営学部	1学期4単位まで (年間8単位まで)	2年次以上
法学部	設けない	3年次以上
総合政策学部	設けない	2年次以上
数理情報学部	設けない	2年次以上

(注：各学部が定める学期ごとの上限単位数に含まれる)

その他、詳細については教務課 / 第2課(教務担当)に問い合わせること。